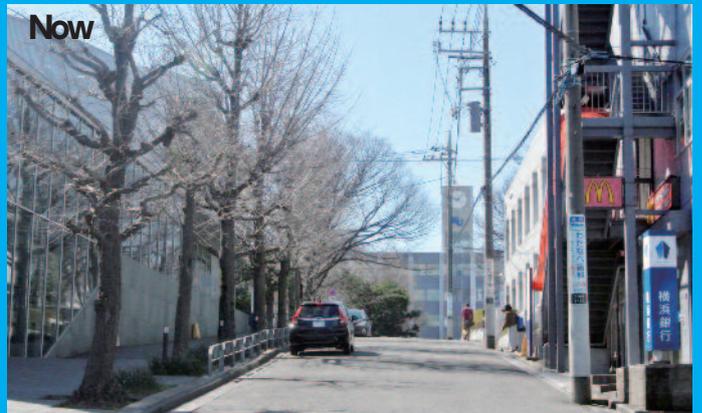


# 宮陵

# Kyuu-Ryoo

NO.64



神 大 ● 今 昔



# CONTENTS

- 01 会長あいさつ 一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 狩野七郎
- 02 理事長あいさつ 学校法人神奈川大学 理事長 正野幸延
- 03 学長あいさつ 神奈川大学 学長 石積 勝
- 04 大学ニュース
- 06 活躍する卒業生  
Part 1 ●企業で、世界で活躍するOB・OG  
Part 2 ●行ってみよう! OB・OGの繁盛店
- 24 大連宮陵会の現役学生に対する支援・応援活動
- 25 課外活動ニュース
- 28 神大の歴史
- 30 宮陵会だより
- 34 「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」寄付者ご芳名
- 36 「ブロック会要領」の制定について
- 37 全地域組織のホームページ(HP)立上げ事業について
- 38 大学院トライアルコースのご案内
- 40 地域組織だより
- 57 事務局よりのお願い
- 60 神大百景
- 62 地域組織一覧



### Advertising

- 50 ●株式会社ディーエムエス
- 51 ●株式会社千代田
- 52 ●株式会社カレンズ
- 53 ●ベスト資材株式会社
- 54 ●明立工業株式会社
- 55 ●横浜信用金庫
- 56 ●神奈川大学会計人宮陵会
- 59 ●神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター
- 65 ●不二サッシ株式会社
- 65 ●SKY総合法律事務所
- 裏表紙 ●神奈川大学生協同組合
- 裏表紙 ●宇久田進治税理士事務所/株式会社経営センターグループ

## 横浜専門学校校歌

一、近代日本の文化の曙光  
初めてまばゆく照し、港  
港に基おく我等の母校  
栄えよ横浜専門学校

二、基は新たな昭和の御代に  
四海の思潮の寄せる時に  
経世実用めあてとなして  
栄えよ横浜専門学校

三、狂と暗とは暫しの悩み  
正義は世界の力の本と  
信じて勉むる健児のやどり  
栄えよ横浜専門学校

四、祖国の誉れと世界の平和  
目指して日に日に希望にみちて  
向上無窮の使命に進む  
栄えよ横浜専門学校



## 神奈川大学校歌

一、岩をうち ところら返す  
真白なる 波のゆくえよ  
あけそめし 日本の未来  
湧きおこる あかつきの歌  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ  
ひかりはここに  
われら われら 神奈川大学

二、空あおく 涯てなくあおく  
船は航く 遠きわたつみ  
ひとすじの 真理の潮路  
相寄りて今日も究めん  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ  
ひかりはここに  
われら われら 神奈川大学

三、丘に立ち 祖国を想う  
混沌の 雲のゆきかい  
日に烈し ほのほの決意  
あたらしき 歴史の朝よ  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ  
ひかりはここに  
われら われら 神奈川大学



# 会長あいさつ

一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 狩野七郎



## 宮陵会館建設に向けて

3月の学校法人の評議員会及び理事会で、大学として宮陵会館を建設することが正式に決定されました。私は、学校法人の評議員会議長として決定に関わり、学校法人と評議員の皆様感謝の言葉を述べさせていただきました。

宮陵会館の建設は、宮陵会としてかねて伊藤理事長時代に大学にお願してきたところで、このたび正野理事長によって早期に希望に添えて頂いたことに改めて感謝したいと思います。

建設は平成30年度の予定ですが、その間大学として、この建設に要する約3億5千万円の資金を毎年度積み立てることも決定されたところです。建設予定地は、大学の東門に接する21号館に並ぶ駐輪場として利用されている校地です。宮陵会事務室がある16号館に面しており、白楽方面からはちょうど大学入口に位置する場所に東門へのプロムナードとともに計画されており、平成29年が宮陵会創立80年になりますので、会館建設はその記念的事業になると考えております。

私は、いくつかの大学の同窓会館を訪ねる機会がありましたが、それぞれに立派で、有効に利用運営されているように思われました。

神奈川大学の卒業生はすでに21万人を超え、毎年約4000名を加えることとなりますので、これに相応しい会館にしたいと願っています。

宮陵会では、先に会館建設特別委員会を立上げたところで、これから研究

して宮陵会の希望を取りまとめ、大学と協議していくこととなります。多くの会員が集う会館として相応しい建物となるよう大いに期待しているところです。

◆ 一般社団法人になって2年になりました。従前の社団法人と異なり代議員選任などに厳格化が求められました。

選挙管理委員会の委員などを引き受けていただいた皆様には大変なご苦労をおかけしましたが、宮陵会運営の態勢が整いました。

組織委員会、事業委員会、広報委員会、女性委員会、総務財政委員会も、従来に増して活発化してきています。

◆ また、それまでの支部組織をそれぞれ独立した宮陵会に組織替えるなどして頂きました。各地域の宮陵会もそれぞれ工夫を凝らして活動をしていただいております。

◆ 圧倒的に会員が多い神奈川県は、これまで全体の会はありませんでしたが、ようやく神奈川県ブロック会としての活動も始めることになりました。ブロック会の運営についても、大まかな要領をつくり、大学との関係を含めて、それぞれによりよい工夫を凝らしていただきたいと思います。

◆ 平成23年、東北大地震という未曾有の困難に遭遇した中で、宮陵会として、佐藤福島県知事、本田遠野市長、亀山

石巻市長、藤田福島県棚倉町長にお見舞いに伺ってまいりました。

被災地を視察し、四名の首長に宮陵会からお見舞金をお渡しして激励して頂きましたが、言葉では言い表せない心痛むばかりの被災地の困難な状況のなかで、先頭に立って奮闘している四名の首長に、逆に励まされる思いでしたし、大変誇りに思いました。

◆ しかし、4年たった現在でも、復興はまだ半ばです。

宮陵会としてできることは多くはないと思いますが、復興を支援することに知恵を絞りたいものだと考えます。

◆ 高齢化の進む中で、若い会員を宮陵会の活動に参加してもらうためには、準会員である学生と宮陵会・地域宮陵会との結びつきを強めなければならぬと考えます。そのためにも、宮陵会館を立派に立ち上げ、ゆるぎない組織固めをしたいと願っています。

◆ 10年前から、会費問題を改善し、財政基盤を堅実なものにしたいと努めてきましたが、まだまだ不十分です。宮陵会館が建設されることになれば、財政をしっかりと確立しておかなければなりません。

◆ 会員皆様の日頃のご協力に感謝申し上げますとともに、さらに宮陵会に集結して下さるようお願い申し上げます。

# 理事長あいさつ

学校法人神奈川大学理事長 正野幸延



## 神奈川大学 近況のご報告

神奈川大学宮陵会のみなさまにおかれましては、お元氣にお過ごしのことと存じます。

そして、みなさまには、日頃より本学並びに学生諸君へ変らぬご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。

さて、改めてご挨拶をさせていただきます。

昨年九月に理事長に就任いたしました正野幸延でございます。常務理事として、伊藤前理事長とともに築いてまいりました安定かつ活発な法人運営を継続し、本学がさらに発展するよう、尽力していく所存です。

就任にあたりましては、各方面の方からご意見を頂戴しました。いただいたご意見には共通点がございました。

一点目は、「神大を元氣に」という思いです。大学ですから、教育研究面で「元氣」であることはもちろんですが、学生の正課外活動やボランティア活動、ピアサポーターなどの活動で「元氣」になることもまた大事なことです。神大から宮陵会のみなさまに様々な「元氣」を発信していけるようにしていきます。

二点目は、「風通しを良くする」ということです。学内のみならず、本学には宮陵会をはじめ卒業生有志の会であるフロンティアクラブ、在学生父母の団体である後援会など、様々な支援団体があり、こうしたみなさまとの関係をさらに強化していくことは肝要であると考えます。

この二点を踏まえ、種々大学運営に取り組んでまいります。そして、何よりも学生の成長支援が第一であることは言うまでもなく、それを実現していくために、教育研究面において魅力あるものにしていくことに努めていきたいと考えています。

それでは、大学の近況をご報告させていただきます。

みなさまもご承知のように、本学園は、平成二十年の創立八十周年を機に、創立百周年に向けた将来構想を策定しました。策定から六年が経過し、現在、「将来構想第一期中期実行計画(改訂版)」に基づき計画を推進しています。具体的には、横浜キャンパスマスタープランの策定と実行、中長期財政計画の策定、理学部・工学部再構築、国際センター・教育支援センターの設置、米田吉盛教育奨学金の創設、危機管理体制の整備など、様々な施策を実行して参りましたが、必ずしも充分な内容のものばかりではありません。PDC AサイクルでいうところのC Aが重要であり、推進状況をしっかりと検証し、次の第二期中期実行計画に繋げていくことが肝要であると考えています。

そのために、昨年末に発足いたしました将来構想推進委員会では、第二期中期実行計画の策定にあたり、第一期中期実行計画をブラッシュアップするだけではなく、新しい視点が必要だと感じ、学内の委員だけではなく、外部からも二名の委員にご就任いただき、策定に向けて鋭意作業を進めているところです。

横浜キャンパスマスタープラン(施設整備計画)においては、その最初の建物である三号館がご承知のように昨年三月に完成いたしました。三号館に続いて各事業を進めるべきところですが、東日本大震災、消費税増税、平成三十二年東京オリンピック・パラリンピック開催の決定など、当初には想定していなかった様々な事案が発生し、建築資材、建築に係る人件費などの高騰があり、マスタープランを見直す必要も生じていますが、工事の内容、優先順位を改めマスタープ

ランの推進に努めてまいります。

さてそのような折、先の評議員会・理事会において、平成二十七年予算が承認、決定されました。実は、この予算と事業計画にはマスタープランの一環として宮陵会館建設に係る基本金組み入れ計画と設計経費を計上してございます。予てより宮陵会よりご要望がございました宮陵会館建設への着手について、ここにようやくご報告できました。

最後になりますが、学生と卒業生の活躍についてです。

シード権を目指していた箱根駅伝は残念な結果でしたが、更なる強化策を検討しています。一方で、様々な部活動等において、在学生、卒業生で活躍をしていることを大変誇らしく思うとともに、みなさまにも是非ご興味をもつていただき、応援していただければと思います。例えば、水泳部では日本学生選手権水泳競技大会で個人での優勝や女子団体での三冠、レスリングではオリンピックに向けての強化指定となる選手がおり、スケートのショートトラックでは卒業生も含め数名が日本のトップクラスとして活躍し、吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクールにおいて通算二十六回の金賞を受賞しています。また、在学中に公認会計士に合格する者や学会等で表彰されるなど本来の勉強においても活躍しています。マスメディアでの扱いも異なり、宮陵会のみなさまには、なかなか情報が伝わらず、残念に思うとともに、本学としても工夫が必要かと考えています。在学生、卒業生の多方面での活躍に引き続きご支援、ご声援をいただければ幸いです。

終わりに、宮陵会の発展と卒業生のみなさまのご健勝を心からお祈り申し上げます。

# 学長あいさつ

神奈川大学 学長 石積 勝



宮陵会会員への皆様には日頃から本学の動きに大きな関心を持っていただき、また様々なご支援をいただいておりますこと、誠にありがとうございます。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。さて前回（昨年4月）にはこのページをお借りして、学長就任以来の宮陵会関連の様々な会合への出席などについてもご報告させていただきました。今回はそれらの会合出席についてのご報告は省略させていただきますが、昨年度も皆様に各地でお会いし、親しくお話しさせていただきました。皆様にお会いするたびに、お一人おひとりの神大に対する変わらぬ愛情、期待を再認識し私自身もしっかりと大学を前に進めるべく、全力投球しなければと改めて気を引き締めているところです。

さて2月3月は学生にとっては春休みですが、大学では昨年末から各種入学試験が続いており、またこの時期だからこそできる行事も多数組み込まれており、私自身も大学の顔としてできる限り出席するように努めている次第です。先日もOB・OGによる現役学生に対する就職活動アドバイスの会で挨拶をいたしました。

そのOB・OGによる現役学生に対する就職説明会ですが、今年も例年同様、土曜日に終日、一部上場企業を中心に29社、29名の方々においでいただきました。殆ど全員20代のOB・OGで、対象は現

役の3年生。参加者数は約700名。やはり現役学生にとっては、ついこの前まで同じキャンパスに通っていた先輩たちからの話にはリアリティーがあります。今年も熱心に耳を傾けていたようです。実は似たようなことを宮陵会幹部の皆さんのお力を借りて全国各地で行っております。毎年、全国約30か所で開催されている「父母懇談会」（現役学生の父母の皆さんがご出席です）の場をお借りし、比較的若い卒業生にご登壇いただいております。各地の宮陵会幹部の方々と、若手OB・OGの方々の組み合わせでお話いただくケースが多いわけですが、たいへん好評です。今後とも協力方お願ひ申し上げます。

ところで、「東京一極集中」では日本の未来は暗いということで、政府も「地方創生」の掛け声の下で、様々な具体的な施策を打ちだしつつあること、皆様ご存じのとおりです。全国型大学を標榜し、全国各地でしっかりと根を張った多数の卒業生が存在する本学も、そうした流れを追い風にしたいものです。長年にわたる熱心に宮陵会活動を維持してこられた皆さんの努力を礎に、卒業生ネットワークを一層充実させ、大学の大きな力としたいものです。今までもOB・OGの皆様の直接・間接のご尽力により地方での就職を実現した数多くの卒業生がいるわけですが、今後は益々その面での実績が学生諸君の励みにもなれば、また、ひいて

は神奈川大学を希望する志願者の増加に繋がることになろうかと思えます。そのためにはやはり若い卒業生の積極的な宮陵会活動への参加がもっとも必要であると感じます。各地の宮陵会でも、なんとか宮陵会の活動に若い方々に参加して欲しいと様々に工夫して下さっております。実際その効果が上がっているところもあるのではないのでしょうか。その動きを加速させたいものです。いずれにせよ、これからの大学運営においてはOB・OGの皆さんのご協力がこれまで以上に必要になってくるのではないかと思います。どうか宜しくお願ひ申し上げます。

皆様の母校、神奈川大学は今年で87年の歴史を刻むこととなります。13年後は100周年ということになります。大学間の競争がいよいよ厳しくなり、首都圏にある総合大学である本学として、この大学間競争から逃れることはできません。実際、改革を進める大学と、危機感を持たず安穩としている大学の間で、かなり明確に社会的評価における違いが、ここ数年でも生まれてきているのではないかと思います。現役として神大に身を置く私たち教職員も、OB・OGの皆さんからの声も含め、関係者からの声、時には厳しい声も率直に受け止め、100周年を迎えた時、神大関係者の多くが胸を張って、誇りをもって神大のことを語ることができるよう全力を尽くして参りたいと思います。引き続き皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

# 大学 ニュース

Kanagawa University News

● 横浜キャンパス国際センター（新棟）の工事を開始 ●

● “生命のアイデアを、化学する” 神奈川大学理学部化学科 上村大輔教授 ●

● 電気電子情報工学科の穴田哲夫教授 EST研究会から2014年度論文優秀賞を受賞 ●



## 横浜キャンパス国際センター（新棟） 工事開始される。

本学は2010年（平成22年）度に横浜キャンパスマスタープランを策定し、将来構想の実現に向けて、現在キャンパスの整備事業に取り組んでいます。

今回工事が開始された横浜キャンパス国際センター（新棟）は、「日本らしい国際センター」をテーマに、材料に「木」を採用。この木造化、木質化への取り組みが、先進性・普及性があると評価され、国土交通省平成26年度木造建築技術先導事業に採択されました。

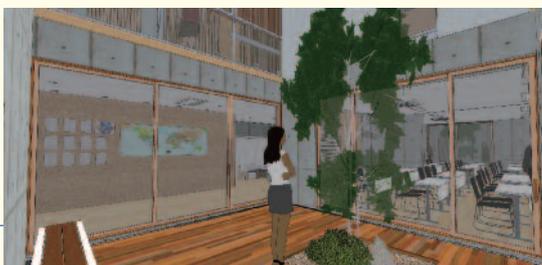
木造というと火災に弱いイメージがありますが、今回の建物は木の仕上げを室内にすべて見せながら、準耐火構造の認定を取得しているのが特長です。「もえしる設計」（「燃

えてもなくならないくらい  
の厚み」を木材にもたせる  
特殊な設計）  
という手法を採用し、完成後は、まるで木の塊のような室内空間となる予定です。  
また、今回の建築工事は、環境負荷の低減にも取り組んでいます。  
環境への配

慮として、カーボンオフセットを建築行為によって実施することは神奈川大学にとって初めての試みとなります。  
なお、横浜キャンパス国際センター（新棟）の計画・設計には、3号館および28号館に引き続き、本学工学部建築学科の教員と本学工学部建築学科卒業生が携わっています。

### 横浜キャンパス国際センター （新棟）新築工事概要

- 名称 .. 横浜キャンパス（仮称）国際センター 新築工事
- 工期 2015年1月～9月
- 延床面積 771・82㎡
- 構造 木造+RCC造
- デザイン監修 神奈川大学工学部建築学科 内田青蔵教授、重村力教授、曾我部昌史教授、山家京子教授、中井邦夫准教授
- 設計監理 有限会社鈴木アトリエ 一級建築士事務所 鈴木信弘
- 施工業者 岡山建設株式会社



## ■生命のアイデアを、化学する

理学部化学科 上村大輔教授

地球上に繁栄している生命は、誕生してから35億年間もの時間の中で繰り返されてきた生存のための試行錯誤によって獲得したアイデアを使って、今を生きています。生物が持つ「天然有機化合物」は、その卓越した「生命のアイデア」が記された“書物”であり、その化学構造を読み解き、創薬につなげていくことが、「化合物ハンター」上村教授の仕事です。先般、その上村教授がTBS系列「夢の扉+」に出演されました。

番組では、海洋生物から乳がんの治療薬につながる物質を発見したことや、沖縄の石垣島の海中に生息する藍藻類（バクテリアの一種）由来の抗肥満薬リード『ヨシノンA』の発見等について、上村教授の研究実績や研究者としてのこだわりが紹介されています。

「ヨシノンAは、胃などの消化器官にも副作用を与えず、脂肪肝も発症しません。まさに理想的な抗肥満薬となり得るでしょう。まず、極端な肥満で悩んでおられる患者に届けばいいなと思います。」と上村教授は話されます。

### 【放送局・タイトル】

2015年1月11日(日) 18:30~19:00

TBS系列「夢の扉+」

脂肪が消える!?海の生物から肥満治療薬をつくる!

日本の海は宝の山!新物質を発見し夢の新薬開発へ!

### ●上村大輔教授の略歴

1973年 名古屋大学大学院理学研究科 博士課程単位取得満期退学  
1975年 理学博士(名古屋大学) 取得



1982年 ハーバード大学客員研究員  
1997年 名古屋大学大学院理学研究科教授

2008年 慶應義塾大学理工学部生命情報学科教授  
2009年 紫綬褒章受章  
2011年 神奈川大学理学部化学科教授・天然医療リード探索研究所長、名古屋大学名誉教授、慶應義塾大学特選塾員

(文責:専務理事 佐藤 武)

## ■工学部 電気電子情報工学科の穴田哲夫教授が平成26年度電子情報通信学会エレクトロニクスシミュレーション研究会(EEST研究会)から2014年優秀賞を受賞。

この賞は、エレクトロニクスシミュレーション分野における優れた萌芽的研究を提案した研究者に贈られるもので、穴田哲夫研究室は「テラヘルツ波フォトニック結晶を利用した新しい電磁波回路の開発」に関する新研究分野を提案しました。情報通信量は、10年後には現在の1000倍以上になると予測されており、超広帯域を利用できるテラヘルツ波帯域を開拓し、従来技術に比較して100倍

程度の超高速伝送速度(10~100Gbps)を実現するとともに、単位情報量あたりのデータ伝送に要する消費電力を1/10程度に削減するために必要な電磁波回路を提案しました。パソコンや携帯電話などのモバイル無線通信技術は我々の生活に必要な不可欠の電子デバイスとなりました。その超高速無線通信におけるフォトニック結晶構造を用いた新しい高周波回路技術を高く評価していただいた結果だと思えます。今後も夢のある電磁波回路・測定技術を研究し、世界に情報発信し、また「ナノテクノロジー」の発展に貢献したいと思えます。これまで、支えていただいた穴田研究室の卒論生、大学院生、ならびに共同研究者の皆様へ深く感謝します。

ここに簡単に研究の概要の紹介をさせていただきます。

移動通信による無線通信技術は現代社会において不可欠な社会基盤として携帯電話(携帯電話は無線方式の通信を用いることにより、屋外に持ち歩けるようにした電話機のこと。メール・通話以外の機能が多々盛り込まれた高機能な端末。しかしインターフェースの標準化を無視して日本独自仕様のためガラパゴス化のため世界から孤立)、スマートフォン



(Smartphone、2010年の秋頃から急速に普及し始め、インターネットとの親和性が高い多機能携帯電話のこと。大きな液晶画面と、指で画面を直接触って操作できるのが特徴)、無線LAN、RFIDや車載レーダーなどの幅広く無線通信が使われています。それに伴って、周波数帯域の逼迫が現実の問題となっており、まだ通信に利用されていない未利用周波数帯を開発することが内外から要求されるようになってきました。例えば、北京オリンピックにおいて、NHK、民放とNTTの共同開発による120GHz帯を利用した非圧縮ハイビジョン信号の6チャンネル伝送による中継などで無線による複数カメラのハイビジョン映像伝送に成功しています。また欧州を中心に自動車のベントツに79GHz帯の車載レーダーの開発も進められています。このように超高速周波数であるテラヘルツ波は、エレクトロニクス技術とフォトニクス技術の境界領域にある技術分野であり、両方の技術分野から、通信、計測、テロ対策リーダー、医療、生化学等への広範な応用が期待されており、日本がアメリカ・欧州・韓国などに勝る技術となり得る成長分野として発展することを確信しています。

なお、本研究は、国の科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)による援助を受けたことを記し謝意を表します。

1. 2012年4月1日
2. 2015年3月31日

2. 2015年4月1日

2017年3月31日(交付内定)

昭和44年工学部電気工学科卒業。昭和47年工学研究科電気工学専攻修了。

# 活躍する卒業生



株式会社せん  
代表取締役社長  
水野 千夏さん



カシオペア  
氷上スポーツクラブ  
村竹 啓恒さん



株式会社カルラ  
取締役会長  
井上 修一さん



ホッカンホールディングス株式会社  
代表取締役社長  
工藤常史さん



富士変速機株式会社  
元代表取締役会長  
中島 寿和さん

## Part 1 ● インタビュー 企業で、世界で活躍するOB・OG



辰巳織布株式会社  
代表取締役会長  
辰巳 美績さん



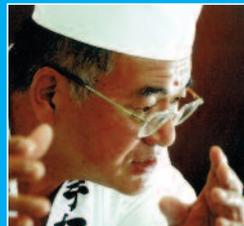
株式会社 大広  
取締役会長 安東達雄さん  
社長 安東大志さん



ジャパンファインスチール株式会社  
代表取締役  
杉村 隆士さん



祖谷深温泉観光株式会社  
代表取締役社長  
植田 佳宏さん



さめき麺業株式会社  
代表取締役社長  
香川政明さん



18U  
フィリピン代表監督  
高橋 将人さん



大田精工株式会社  
マレーシア現地法人生産アドバイザー  
塚田 尚さん



シンガポール  
プロサッカー選手  
中武 駿介さん

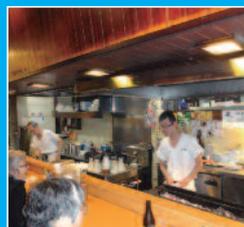


日立刀具(上海)有限公司  
セールスマネージャー  
藤高 涼さん



ライブハウス  
くう COO  
山本 弘市さん

## Part 2 ● インタビュー 行ってみよう! OB・OGの繁盛店



鳥辰本店  
堀江 忠義さん



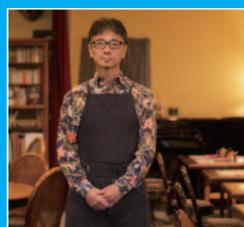
牛肉料理 味心  
小形 和彦さん



割烹 濱作  
笹木 一平さん



魁楽 もりかわ  
森川 知治さん



箱崎水族館喫茶室  
花田 宏毅さん

# 株式会社せん

代表取締役社長 水野千夏さん

Chinatsu Mizuno

## ●社長の経歴

・昭和63年11月23日生れ

秋田県大仙市出身、幼少時に秋田市に引越  
し、小・中・高校は秋田市で育つ

・平成23年3月

神奈川県経済学部経済学科卒業

・平成23年4月

東京都内にある化粧品会社に就職、ビュー  
ティースタylistとして勤務

・平成24年3月

秋田での起業を決意して秋田へUターン  
し、ひとまず4月に秋田県の食をプロモ  
ーションする会社へ就職。起業のコンテン  
ツを研究、起業準備開始

・平成26年4月

(株)せん（あきた舞妓事業の運営会社）を  
設立代表取締役社長就任

## ●会社の紹介

秋田の良さを全国に発信するために、観光



PRの手  
段として  
設立した  
会社で  
す。社名  
は、名前  
の千夏か  
ら「千」  
を取り、  
表現を柔  
らかくす  
るため平  
仮名にし

ました。そして、「千（たくさん）」の魅力を  
作り出し、「点と点を線（せん）で結ぶ」で  
人と人との繋がりを持たせるという意味を社  
名に持たせました。京都ではお姐さんから名  
前を貰うという風習がありますので、それに  
習って3名の舞妓さんの名前にもすべて  
「千」を使って名付けました。

## ●「あきた舞妓事業」の発想

大学卒業後、東京で働き始めましたが、東  
京で働く意味に疑問を感じ始め、郷里の秋田  
に戻り、秋田のためになる仕事をしたいと思  
うようになりました。しかし、秋田では働い  
てみたいという仕事がありませんでした。そ  
こで、秋田で起業してみようという決心しまし  
た。まずは、秋田に戻って就職し、秋田の現  
状を自分自身で感じてみることにしました。  
秋田でまず感じたことは、公に出ている情報  
が人口減1万人、少子高齢化急速に進展、賃  
金全国平均で下位等々ネガティブなものばか  
りでした。秋田には魅力的な食べ物・場所・  
文化が沢山あり、面白い人が大勢いる。この  
魅力をどのように全国に発信して秋田の印象  
を良くし、沢山の人間にきていて秋田  
を活性化し豊かにさせられるか、その仕組み  
作りをどうすれば作れるのかを考えました。  
人口が少なく情報発信力の弱い中では、大  
きな投資をする事業は困難ですので、秋田に  
元々ある何かを利用して秋田の魅力を発信で  
きるものはないか考えました。そして、ぱ  
つと閃いたのが「秋田美人」という言葉でし  
た。この言葉を事業化しようと考え、ヒント  
を得るため図書館に通って秋田の街の移り変

わりやどのような産業が発達していたのか  
等々を勉強しました。その中でたまたま秋田  
にはかつて「川反（かわばた）芸者」がいた  
という歴史を知りました。芸者・舞妓は京都  
というイメージがありましたので、知って驚  
きました。「これだ！」秋田美人という抽象  
的なイメージを見える化するためには、この  
文化を是非復活させようと思いました。しか  
し、ただ復活させても秋田の新しい観光資源  
にはなりません。そこで半人前でも「会える  
秋田美人」としてお客様の前に出ることがで  
きる「あきた舞妓」という事業を思いつきま  
した。

## ●起業の経緯

起業のコンテンツが定まりましたので、ま  
ず3年間の事業計画と収支計画を懇意にして  
いる方や起業を応援している行政機関「あき  
た企業活性化センター」等に相談して作りま  
した。何しろ手元には必死で貯めた100万  
円しかありませんし、人脈も皆無でしたが、  
いろいろな伝手やご紹介を受けて川反芸者を  
ひいきにされていた料亭・組合等のオーナー  
様に直接事業計画を説明させていただき、出  
資のお願いをしました。その結果、個人2名  
法人9社、合わせて650万円の資本金でス  
タートすることになりました。出資者は、事  
業に賛同して下さった方で、今後も秋田の活  
性化に協力して下さる方にあえて限定させ  
ていただきました。資本金に見合った事業規  
模として、舞妓は3名と決め、会社設立日の  
昨年4月14日にテレビ・新聞社10社程度の報  
道関係者をお招きして記者会見し、あきた舞  
妓の研究生を募集しました。ありがたいこと  
に40名の応募があり、7名に絞り込んで5月  
から私も含めて稽古を始め、最終的には3名  
で8月1日にデビューしました。3名とも  
「舞妓の姿をして秋田の情報を発信する」を  
使命としていますので、私の思いと通じてい

ると考えています。お陰様で事業は順調な滑  
り出しですので、話題性だけで終わらせない  
よう日々奮闘しています。

## ●起業のアドバイス

起業したいと思ったら夢で終わらせないよ  
うにしてください。実現させるためには、大  
変な覚悟と様々な問題に立ち向かう強い気持  
ちが必要です。簡単ではありません。ま  
た起業後、経営する・経営を続けるといっ  
プleshiaは相当のものです。その時は、  
「楽しんでやろう」と言い聞かせています。  
私の人生のキーワードは「楽」という言葉で  
すので、苦しい時も辛い時も「楽」をイメー  
ジして歩んでいきたいと考えています。

「女性社長はかっこいいな！」と言ってい  
ただけるよう、これからの人生設計もしっか  
り立てて、楽しみながら過ごしていこうと考  
えています。

## ●神大時代の反省

授業に出た時には、教授の話をしっかり聞  
いておけばよかったと反省しています。つい  
板書のことばかり気にしていましたが、学生  
時代の4年間ほど体系立った話をまとめて聞  
けるチャンスはありません。4年間という自  
由な時間がありますので、勉強と社会勉強の  
両立を目指して、大学生活を楽しんでくださ  
い。

## ●子供のUターンを熱望している親御様へ

「郷里に戻って来てほしい」という親御様  
は多いと思います。実は就職で親を頼りにし  
ている学生は多いのではないかと思います。  
しかし、「ただ戻って来い」では説得力があ  
りません。秋田で開催された父母懇談会に出  
席する機会がありましたので、「郷里の良さ  
や郷里に何があるのかをお子様方はきつと知  
りたがっています。親御様から直接じっくり  
教えてあげてください」と、お話しさせてい  
ただきました。（取材・文責／内藤）

# カシオペア氷上スポーツクラブ

村竹啓恒さん

Hironobu Muratake

村竹啓恒さんは昨年度まで神奈川県学スケート部スピード部門に所属しており神奈川県在籍時代から輝かしい実績を残していた。現在も競技者として実績を残し続けている。村竹さんのモットーから、学生から社会人になっても結果を残し続ける秘訣に迫り現在の状況を伺った。

## 経歴

1990年8月28日生の24歳です。小学校低学年の時、家の近くのスケートリンクで市民を対象に行っていたスケート教室に参加していました。そこで、ショートトラック競技のチームである相模原SSCと出会い、スピードスケーターとしての人生が始まりました。先にクラブに加入した兄の後を追うように、1998年の小学校3年生時から本格的に競技を始めました。以降、高校卒業まで10年間相模原SSCで活動し、卒業後は神奈川県立入間科学部人間科学科に在籍しました。神奈川県学スケート部スピード部門に在籍し、昨年度まで活動していました。昨年2014年3月に大学を卒業し、2014年4月より現在のカシオペア氷上スポーツクラブに所属しています。

## 実績

- ・2014 全日本選抜ショートトラック選手権大会 総合4位
- ・2013 ソチオリンピック日本代表選手選考競技会

500m①6位、500m②4位

・2013

東日本ショートトラック選手権大会

総合優勝

・2013

全日本ショートトラック距離別選手権大会

1000m①6位、1000m②5位

・2013

全日本選抜ショートトラック選手権大会

総合3位

・2012

全日本ショートトラック選手権大会

総合8位

・2012

東日本ショートトラック選手権大会

総合優勝

・2011

全日本選抜ショートトラック選手権大会

総合5位

・2010

東日本ショートトラック選手権大会

総合優勝

・2010

日本学生ショートトラック選手権大会

1500m2位

## カシオペア氷上スポーツクラブの紹介

岩手県二戸市に活動拠点を構え、2006年7月8日に設立されました。氷上スポーツの普及振興、競技力の向上を図り、岩手県から氷上スポーツの魅力についての情報発信を目指している地域総合型スポーツクラブです。活動種目はアイスホッケー・カーリン

グ・スピードスケート(ショートトラック)・ソフトテニス等多岐にわたっています。クラブの活動会員は210人に及んでいます(2014年4月1日現在)。

## どのような経緯で

カシオペア氷上スポーツクラブに入ったか  
大学卒業後に競技を続けていくため、支援してくれる団体を探していたところ、2016年国民体育大会の開催地である岩手県がショートトラックの選手を探しており、話し合いをさせていただきました。その結果、縁があつて、ショートトラック競技の開催地である二戸市のカシオペア氷上スポーツクラブに所属させていただくことになりました。現在も競技者として活動しており、世界のトップを目指しています。

## モットー

(人生訓、仕事などを行う上でのモットー)

自分が納得するまで突き詰めることです。競技を続けていく上で壁にぶつかる場面は多々ありますが、何事も突き詰めていくことでその壁は超えられると考えています。そのときは苦しく、辛く、大変だったとしても、実際に乗り越えてみると、それほど大変なことではないと感じます。それは自分が壁に当たっていたとしても、逃げずにとことん突き詰めた結果だと思えます。神奈川県学スケート部スピード部門として、自分たちの手で部を育み、自立、成長してきたこともとことん突き詰めた結果だと感じています。

## 競技を続けるうえで大切にしていること

競技者として、見てくれている方々に希望や勇気を与えることが今の自分の立場における役割なので、それを実感できたときが非常にやりがいを感じます。また自分の役割を全うした上で、他者に影響を与えることが大切だと考えています。

自分自身全てが競技を中心に動いています。



す。スピードスケートという競技を通じて人とつながり、そのつながりを大切にすることで、ひいては自分の世界の広がりにつながっています。

## 現役学生へアドバイス

何にでもチャレンジする、やってみるのだと思います。何事にも挑戦する中で、それぞれに興味の持てる「何か」がいろいろ見つかると思います。その興味のあることを自分が納得いくまで掘り下げて突き詰めてほしいです。神奈川県立入間科学部にはそういった興味のあることをとことん突き詰められる設備・環境が揃っているので、自分の基準を持ち続け、どういう道に進みたいか判断をし、行動して活かしてほしいと思います。

(取材・文責/大野)

# 株式会社カルラ

取締役会長 井上修一さん

Shuichi Inoue

## ● 経歴

- 昭和16年9月21日生れ
- 宮城県仙台市出身
- 昭和39年3月 神奈川大学工学部工業経営学科卒業
- 昭和39年4月 (株)仙台トヨペット入社
- 昭和44年4月 日本そば「丸松(株)カルラの前身」二日町店経営
- 昭和54年10月 株式会社丸松に改組 代表取締役社長就任、昭和57年に和風レストラン「まるま」1号店(西多賀店 仙台市太白区)を開店
- 平成3年3月 株式会社カルラに社名変更、上場を目指して本格的に多店舗化を開始



・平成15年 日本証券業協会に株式を店頭登録(現東京証券取引所JASDAQ上場)

・平成25年5月 株式会社カルラ 代表取締役会長就任、平成26年5月から取締役会長就任(現任)

## ● 会社の紹介

明治43年に丸松そば店として祖父が個人創業したのが始まりで、平成24年に創業百周年を迎えました。「もつと美味しく、もつと楽しく、もつと便利に」を合言葉に、飲食業で社会に貢献しています。和食を中心とした日常食をロープライス&ハイクオリティで提供する「和風レストランまるま」を中心に、「ファミリィダイニングかに政宗」ほかを東北・北関東で118店舗ほど展開しています。社名の「カルラ」は、菩提寺の和尚が名付け親で、インド神話に登場する炎に包まれた聖なる鳥「迦楼羅」をカタカナにして使わせてもらいました。「カルラ」には、「人は良き助言者や仲間の助けを借りてこそことを成すことができる。仲間の協力があれば、その力は限りない可能性を持ち、宇宙までも拡げられる」という思いを表しています。

【資本金12億3898万円、売上高76億7622万円、正社員316名(平成26年2月現在)】

## ● 人生訓と運の掴み方

事業をやっていると決断しなければいけない場面が多いのですが、そのときの心境として「人生至るところに青山あり」を人生訓として、どこで死んでもいいつもりでやってきました。特に多店舗化するときは、飲食業に

従事する人達の考え方や誇りのなさを払拭したいという考え方が根底にあり、それにチャレンジしてきました。

私は、自分では「運」の良い人間だと思っています。「運」は基本的には誰にでも公平にあると思いますが、それをチャンスだと捉えられるかどうかは、一生懸命仕事に取り組んでいないと見えないと思います。一生懸命やっているのと助けてくれる人が出てきます。たとえば、銀行の人だったり、コンサルタントの先生だったり。「運」を掴むためには遊びでも仕事でも何でも、打ち込む、真面目に、正直に、そして物事に感謝しながら臨めば、どこかで必ず道が開けると思います。

## ● 当社の教育の柱

新入社員教育では、「挨拶」「返事」「靴を揃える」の3つを徹底するように言っています。明るく元気な挨拶や返事はどの会社も指導していますが、「靴を揃える」は、次の動作を常に早くするという習慣を身に付けさせるために指導しており、大変有効だと思っています。

## ● 大学時代で感謝している授業

工業経営学科で教えてもらったIndustrial Engineeringの考え方が、今でも役に立っています。飲食業は、多品種(メニューを揃え)・少量(一人から)・受注生産(オーダーが入って)でお客様に即納(出来立てを出す)する商売ですので、生産管理から言えば一番難しいシステムだと思います。さらに多店舗化するためには、複雑なシステムを標準化し、さらに誰にでもできるように単純化していかなければいけません。また、食べ物には個性があり、お客様には個人差がありますので、スタンダードをきちんと決めて提供し、支持して下さるお客様を多く集めるといふことをしなければ多店舗化は出来ません。私は、「おいしい」を定義付け、①

見た目が綺麗②いい香り③舌で感じる④後味が良い⑤廉価の5事項に決めています。商品開発は無論、スーパーバイザーが店舗を回るときには、必ずチェックさせています。価格の安い・高いには基準がありませんので、当社では、一般に思われている価格の7掛け以下を「安い」と定義付け、売価を決めてから仕入、商品開発、オペレーション、販促費に至るまで細かく見直し、どのようにすればその売価に納まるかを追求しています。これらの手法はすべてIEEの考え方が基本だと思っています。

## ● 組織を運営するうえでのポイント

人を計画的に育てることだと実感しています。そして、人を育てるのは組織で、その組織で一番重要なのが、企業文化だと思っています。企業文化をある程度浸透させれば、経営者は勇気をもって仕事を任せ、失敗させることだと思っています。人は失敗しながら学んで成長します。敗者復活戦を準備して、失敗を経験させなければだめだと考えています。

## ● 先輩へのアドバイス

・自分の強みを持つこと…たとえそれが麻雀やゴルフであっても、自信になるものの一つでも持つことが重要です。コンプレックスを解消させる大切な手段です。

・何をやるにしても思い切つてやること…遊ぶ時も仕事をやる時も異性と付き合う時も、何でもチャレンジ精神を発揮してやってほしい。一生は一回しかないのですから。

・同じ会社で3年以上は勤めること…何としても3年以上はやめるな！我慢しろ！と言いたい。必ずその中でいろいろな経験ができると思います。私も仙台トヨペット時代の経験が役立っています。3年も我慢できないようでは、何をやってもだめだと思えません。(取材・文責/内藤)

# ホッカンホールディングス株式会社

代表取締役社長 工藤常史さん

Tsunenobu Kudo

与えられた仕事を一心に、  
自分に自信を持ち、  
良い先輩と出会う事！

## ●自己紹介

昭和29年3月2日生まれ 北海道小樽市出身  
昭和52年3月 神奈川大学 経済学部  
貿易学科卒業

昭和52年4月 北海製罐株式会社（現ホッカンホールディングス株式会社）入社

平成12年6月 執行役員管理部長就任  
平成14年6月 取締役就任  
平成22年6月 代表取締役社長 現在に至る

## ●会社の紹介

当社は、大正10年10月小樽市で北海製罐倉庫（株）を設立し、缶詰用空缶の製造・販売と倉庫業を開始しました。戦争を経て昭和25年2月過度経済力集中排除法により、北海製罐（株）を設立し、5月に東京証券取引所に、翌年には札幌証券取引所に株式を上場しました。

平成17年10月会社分割により（新生）北海製罐（株）を新設し、（旧）北海製罐はホッ



カンホールディングス（株）へ商号変更のうえ純粋持株会社へ移行しました。資本金は110億8600万円。スチール缶やプラスチック容器事業、飲料等の充填事業、機械製造事業を中心に、平成26年3月期時点における当社グループは、売上高1697億円、純利益19・7億円、従業員数1714名。子会社18社・関連会社3社で構成されています。

## ●モットー（人生訓）

「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるものでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。」これは、当社の長い歴史の中で、様々な変革点を皆で乗り越えてきた経験から、進化論で有名なチャールズ・ダーウィンの名言を私のモットーとしています。

## ●組織を運営する上で苦労されたこと、そして成長できた出来事

入社して1年は現場の工場で実習し、その後は経理畑一筋。工場や本社の経理部門で数字を見ながら会社の変化を見てきました。概念は理解しているものの、ものづくりの会社は現場の存在感が大きく、組織を運営する上で数字では判断できない場面も多々ありました。ホールディングスを中心にグループ全体の中期経営計画を策定していく中で、実行面、資金面でも当然そうですが、新たな取り組みを決める基準は、「目標」を定め、そのためには何をすべきか、決めたことを実行するためには何が必要か、を考えました。また、それには人を引っ張るリーダーの教育が必要であり、そのために人事制度と教育の統一を図りました。具体的には、当社グループとし

ての人事ポリシーを打ち出し、◇従業員への期待、◇従業員への約束について明確にするとともに、階層別教育など様々な教育を実施し、将来会社を背負っていきける人材を育て上げることに力を注いでおります。会社を大きくする中で、組織には活発に意見する人間がいけないと前置しません。人は財産であり、組織の中で意見が活発に出る組織は成長します。でしゃばる位な人間がいけないと駄目だと思います。

厳しい時期に対応するため、グループ企業価値の最大化を目指して、平成17年10月に北海製罐（株）は株式分割によりホッカンホールディングス（株）に商号変更し、純粋持株会社の体制を作りました。持ち株会社となつて経理で一番大変だったことは、連結決算になったことです。単体の決算と違い、結果を見るまでは分からない部分もあり、また、飲料業界はまだまだデフレの影響が続いておりましたので、常に変革に対応する準備が必要でした。

## ●企業人として成長できた仕事・次なる戦略

会社は、常に変革を繰り返していかねればいけません。市場の動向に注視し変革に取り組んでいる中、三菱マテリアル（株）と共同してユニバーサル製罐を設立しましたが、グループ事業の分離作業は非常に大きな仕事でした。全従業員が総出で喧々譁々しながら丸となり、まず、担当する作業体制を整えて目標を明確にしました。それらを実行するために強いリーダーシップを発揮しました。1年という短い時間で達成し、スピード感ある変革を実行しました。次なる戦略としては、現在、ACTIVE5を目標に掲げ、基本戦略を加速しています。その一つとして、海外事業への進出（既存事業の着実な成長）に力を入れているため、毎年海外で開催されているボストンキャリアフォーラムにも参加するなど、語学力を持った人材の確保もおこな

ております。

## ●学生時代の思い出

昭和48年に入学し当時を振り返ると、学生運動が下火とは言えロックアウトで試験が行われず、レポートで単位が取れる時代であったことを思い出します。1970年代は学費値上げ阻止闘争が本格化し、学内では内ゲバ事件もありました。北海道小樽の故郷を離れ三ツ沢に6畳一間1万円のアパートで独り暮らしが始まり、私の周りには、札幌、秋田、栃木、長野、鹿児島と全国各地からの地方出身者が多く居ました。そんな激動の時代背景の中、全国各地の出身者が集まり、育った環境の違う人達との出会い、恩師や先輩・後輩との出会いもあり、人との付き合いの中で感性が自然と身に付いたのではないかと思います。

## ●学生・先輩・神奈川大学に対するメッセージ

勉強でもスポーツでも文化活動でも集中してやるのが大切です。就活面接の際、アルバイトで得た経験談を話す学生がいますが、それは働けば経験できることです。是非学生の時にやるべきことをやってほしいと思います。色々な経験をすれば、社会に出たときに伸び代があるということになります。ともかく、社会に出たら与えられた仕事を一心にやることです。自分で出来るものを見つけて、初めて人に教えることが出来ます。自分に自信を持つためにも一心に集中してください。また、良い先輩と出会い、人との付き合いを大切にしたいと思えます。さらにもう一言。挫折は常にあるものですので、何とか乗り越えたいの気持ちの余裕が必要ではないでしょうか。

活字で神奈川大学の名前が出ると心が躍ります。箱根駅伝をはじめ様々な課外活動の活躍を応援しています。

（取材・文責／内藤・栗林）

## 富士変速機株式会社

元代表取締役会長 中島寿和さん

Toshikazu Nakajima

## ●経歴

- 昭和19年1月1日生まれ
- 東京都大田区出身
- 昭和41年3月 神奈川大学工学部工業経営学科卒業
- 昭和41年4月 立川ブラインド工業株入社
- 昭和62年3月 立川ブラインド工業株(取締役東京支店長 営業第一部長就任)
- 平成3年10月 立川装備株(常務取締役)に就任後、同社および立川ブラインド工業株の取締役として活躍



## ●富士変速機株の紹介

富士変速機株は、昭和22年創業の富士電化

工業株を前身として昭和40年に設立されました。昭和51年3月には、立川ブラインド工業株と業務資本提携を結びタチカワグループの一員となり、平成5年6月に名古屋証券取引所市場第二部に上場しました。現在は岐阜県岐阜市に本社を置き、美濃市に二つの工場を構え、減速機(ギヤードモーター)の設計・開発・製造をしています。また、減速機の技術を応用しパーキング事業や室内外装品装置(スライディングドア)などの製造販売も行っていきます。

パーキング事業として取り組む機械式立体駐車装置は、一般的なパレット方式ではなく当社の特許であるクシ歯方式を採用しています。この方式により昇降路での車の受け渡しに無駄が無くなり、入庫時間の短縮に役立っています。また、耐震面でも他社と差をつける製品となっています。

## ●特に記憶に残っている仕事

学生時代は機械について学んでいましたので、営業を経験したことが私の人生の転機になりました。大学時代にはゼミでも勧められたことから、初めは設計部門で働くことを考えていましたが、設計という職種ではなかなか外に出る機会がありません。多種多様な業界の人と出会いその知識を吸収したい、人と違う自分だけの経験をしたいという気持ちから営業をやりたいと思うようになりました。そして昭和41年4月に立川ブラインド工業株へ入社し、営業として尽力することになりました。やはり大学で専門的に学んだ内容とは

違う分野であったため、苦勞することは多くありましたが、自分を変えるという目標を持っていたためぶれることなく懸命に取り組むことが出来ました。この経験がきっかけで物を様々な側面から見る力が身に付きました。また、その際に学んだ営業をする上での大事なポイント、特に地方へ赴任する場合には県民性や町の特色などの地域を知ることができた。時には観光を交えつつ情報収集をしていました。

## ●組織を運営する上でのポイント

私が社長時代に会社を運営するために行っていったことは、まず、社員の育成ということ。岐阜県には人材を育てることを目的とした経営者協会があり、この協会が行う若手向けの研修を積極的に利用していました。年間スケジュールを決め、個人に合ったスキルアップ方法を提示しながら社員を育てるといったサービスをローコストで受けることが出来るのです。岐阜県は経済団体、企業に協力的な環境であると言えるでしょう。会社が置かれている環境を有効的に利用していきましょう。

また、社員との距離を縮める工夫として、1ヶ月に1度社長としての声を発信し、課題や方針を社員全員で話し合う場を設けていました。そして社員からは中間報告として1週間に1度直接メールを受け取り、問題や課題がないかを確認していました。社員と直接連絡を取り合うことで会社の細かい状況を把握し、風通しの良い職場環境を作ろうと考えたのです。社員全員が顔を合わせて意見を交換し、会社の経営状況を理解するということ、いざ行動に移すとすると実はとても難しいことです。しかし私は有言実行をモットーとしていますので、思いついたことはすぐに行動に移して実行することを常に心がけてきました。結果的にはこの心がけが、コミュニ

ケーションの円滑な職場を生み出してきた基本だったと考えています。

## ●後輩たちへのメッセージ

勉強も遊びも仕事も思い切ってやるのが大事です。頭の中で考えていることを実際に行動に移す能力を身に付けるべきでしょう。とにかく行動すること、実行することを心掛けると良いと思います。また、常に問題意識を持って欲しいものです。社会で必要なコミュニケーション能力は自ら問題提起した内容を発信すること、他者の意見を理解することだと私は考えています。今の社会、特に若者の周りには多くの情報が溢れています。それをどのように選択して、どのように扱うのが重要なことです。自分に直接関係のない分野の情報にも目を向け、意見を持つことも皆さんの糧になるはずですよ。

現役学生の皆さんへのアドバイスとしては、神奈川大学の特色をもっと出して欲しいということです。大学の強みを自らが作り、外部へ発信する方法を学生自身が考えて取り組むことが出来たら良いと思います。勉強についても主体的に学んでください。時代とともにめまぐるしく技術が進歩している今、特に専門的な分野や最先端技術に目を向けて自分から追いかけていくような姿勢が無いと、取り残されてしまいます。頑張ってください。

## ●神大時代の思い出

卒業研究は松村ゼミで生産管理について取り組みました。その際教授の紹介で、当時では珍しい、今で言うところのインターンシップに行きました。3週間程の期間を2社分体験しました。その際に社員の方が仕事について色々教えてくれたことは、良い経験になりました。現役学生も是非、積極的にインターンシップを活用することをお勧めします。

(取材・文責/内藤・吉川)

# 辰巳織布株式会社

代表取締役会長 辰巳美績さん

Yoshitsugu  
Tatsumi

## ●会長の経歴

- 大正13年10月10日生まれ  
三重県出身
- 昭和19年9月  
横浜専門学校高等商業科卒業
- 昭和19年10月  
住友通信株式会社入社(昭和21年3月退社)
- 仙台陸軍予備士官学校入校(終戦まで軍隊生活を送る)
- 昭和21年4月  
五十嵐貿易株式会社入社
- 同年7月  
池田辰雄氏と五十嵐貿易株式会社大阪支店を設立(昭和27年9月退社)
- 昭和27年10月  
池田織維株式会社設立、専務取締役就任(昭和35年9月退社)
- 昭和35年4月  
辰巳織布株式会社設立
- 昭和36年9月  
辰巳織布株式会社代表取締役社長就任
- 昭和61年10月



## ●辰巳織布株式会社代表取締役会長就任

### ●会社の紹介

辰巳織布株式会社は、日本の伝統的な織物産地である大阪・泉州にて綿織物業を営む会社です。会社は、綿の細番手・高密度織物を中心に、麻やシルク、合繊・維との交織織物を得意として生産・開発・販売し、製品は、高級婦人服を中心に紳士服、寝具、カーテンなど暮らしのなかで幅広く使用されています。なかでも高密度織物の品質は、その繊細さから、国内だけではなく、世界の一流ブランドからも高く評価され、高級衣料の生地としてファッションシーンを支えています。関連会社の株式会社りのりつけやでは、織布の準備工程であるサイジング(＝「糊付け」。一本の糸はたくさん細い糸からできている。その細い糸は、織るときなどに切れたりしないよう接着させる必要がある。)を行ない、サイジング機能を有していない綿布業者約40社に製品を提供しています。

### ●学生時代の思い出

横浜専門学校には無試験で入学しました。学校は旧制の専門学校で優秀な教員を揃えている、校長の林頼三郎、朝比奈宗源、園田貫、中山伊知郎、久武雅夫など多士済々でした。英語担当の江本茂夫陸軍大佐は、授業で一言も日本語を話さない教育方法でよく憶えています。横専は、E.S.Sが全国でも盛んな学校で、英語での弁論大会ではしばしば優勝していました。そのイングリッシュスピーチの練習はとても難しいものですが、後年の仕事の際には多少とも役立つと思います。ま

た、専門学校としてはめずらしく文系と理系の学科があり、皆で校内体育大会を盛り上げ、バレーボール、バスケットボールで奮闘したことを思い出します。

### ●仕事をこなすうえでのモットー

私はこれまで、言葉は悪いですが「なにくそ」の精神で頑張ってきたように思います。これは、辛抱強く、そして負けず嫌いともいえます。この気質は祖母の教育によるところが大きく、小学校低学年の頃、当時家業は木炭の卸、小売業をしておりましたので、大阪に発送するため、名張駅のプラットホームで寒風吹きさらしのなか、炭俵への検査証紙の貼り付けを我慢して手伝ったことが思い出されます。小学校から上級学校へ進学する際や、仙台陸軍予備士官学校のと きなど、教師や教官からの指導には「なにくそ」で応えました。あるとき仕事で同僚と比べられたとき、人のやらないことをしなければと思い、ある織物に着目して勉強し、その織物で採算が出せるのは私一人だけになることができました。これは、勤めていた会社から独立する際の実力と自信に繋がりが、今日の辰巳織布があるのもこのエピソードのおかげです。

また、仕事も人生も長期計画で行なつて、「近欲」をしないことは大事です。そして、新しい機械を入れてみたら不具合が多かったという経験もあり、「新物」には手を出さずに慎重に事を運ぶということも私のモットーといえると思います。前に、アルジェリア向けの商品が先方の都合で納められなくなったとき、多数の在庫を抱えて頭が真っ白になりましたが、輸出用の見本を作つて宣伝したところ、これが逆に大いに当たりました。「なにくそ」の精神が、災い転じて福となすになりました。

### ●組織を運営するうえでのポイント

昔は、お盆や年末には全従業員の家訪問

を行なつたりしました。また、皆で一泊旅行に出かけたり、当時、綿織物業は女性の活躍に支えられていたので、退職金として洋服ダンスや和ダンス、下駄箱、三面鏡、布団など「嫁入り道具」を出したりしました。それらを送り届ける写真を学校に張り出したりすると、女子の就職者が後をたちませんでした。ともかく、何とか永く会社に居てくれることを願っていて、盆暮れどきの帰省では、全員会社に帰ってきてくれるか心配したものです。また、中途採用を行なつたとき、会社にとって都合の悪いことも最初から正直に言った者を採用したりしました。うわべだけで会社に迎合しようとする人物を入れると失敗すると思います。

### ●現役学生・後輩へのメッセージ

実社会に出て、大事なことは次の二つであると思います。

一つ目は、「努力」の一言です。私は、人生には一回幸運がやって来ると思っていて、しかもその幸運は99%の努力をした人のみにやって来ます。先ず行動を起こして、努力をして、その目の前の幸運をつかまえることが重要だと思っています。

二つ目は、人生は自分一人では何もできないもので、仕事でも私生活でも良いパートナーが必要であるということです。それは、軍隊生活を体験していますので、パートナーは「副官」ともいえるでしょうか。自分が良い副官となることも大事で、それは会社では、信頼できる部下を求めるということにもなり、また、求められる部下になるよう努めることも心がけるべきです。

故郷を離れて知らない土地であった岸和田で商売をはじめたにあたって、「出る杭は打たれる」というようなこともありましたが、皆さんには辛抱強さと負けず嫌いで頑張つてほしいと思います。(取材・文責/齊藤)

# 株式会社大広

取締役会長 安東達雄さん・社長 安東大志さん

Tatsuo Ando  
Daishi Ando

岡山県北東部に位置する美作地方中心にホテル事業と外食事業を展開する「株式会社大広」の会長、社長として活躍されている昭和45年経済、平成7年経済卒の親子ともども神大卒業生である岡山県宮崎会々長の安東達雄さんとご子息の大志さんにお会いした。

成熟業界といわれる飲食サービス業界の企業の中で売り上げが十数億円、従業員300名を擁するグループ会社で今日の厳しい環境の中でも増益を続けている岡山県内トップを走る企業で、いま、まさにこの業界の有力企業の経営者として注目されている二人である。また女子サッカー日本代表キャプテン宮間あや選手や神大OGであるFW松岡実希(平21経済卒)、DF水島久美(平24経済卒)の両選手が所属し活躍中の「なでしこリーグ岡山湯郷ベル」のスポンサーの一員で、率先して選手を会社の従業員として雇い入れ、チームはもちろん地域全体の振興、活性化にも多に貢献されている。つまり地元ではなくてはならない企業であり経営者である所以だ。

会長の達雄さんは大学在学中に父親が他界され、4人兄妹だが2人の兄がすでに上



左：会長達雄さん 右：社長大志さん

場会社に勤務していたため実家の面倒を見ることになり卒業と同時に地元に戻り、転勤のない津山信用金庫に入職、早くから業務精通に邁進していたが生来の独立心のある強烈な起業精神旺盛さから2年半で「なぜ急に辞めるの？」との引き止める声を多く聴くも惜しまれつつ26歳で退職、その翌日まず手始めとして「弁当、仕出し」業を買収、開店し独立。その後ゴルフ場の社員食堂の運営も引き受けていたが業績としては満足とはいえない中、当時29歳の昭和50年11月、岡山県美作三湯のひとつで平安時代に開湯した歴史ある湯郷温泉郷の高台に「ペンション湯郷」(現 リゾートイン湯郷)をオープンすることになった。

当時はオイルショック後でその後遺症といえるガソリン価格の2倍以上の上昇はじめ原材料の値上げによる大幅なコストアップがひびき、長年続いてきた高度経済成長に急ブレーキがかかり、美作地方でも周辺のホテルや旅館はじめ多くの会社の倒産や廃業が相次ぐ疲弊した世の中で、新たなホテルオープンに多くの人が「やめとけ!」「何もこんな時に?」と反対する人が多く、賛同する人はほとんどいなかったが近くに「湯郷石橋ゴルフ倶楽部」のゴルフ場のオープンもあり、また日ごろからの信用力から開業を強く依頼されたこともありまだこの若さ、人生「イチかバチか」の賭け勝負に打って出てオープンにこぎつけた。

ところが開業後3か月の毎日はお客様が少ない日が続き、全くの不振で赤字のたれ流し、「これは失敗したかなあ」と思い込み、いかに赤字から脱却すべきか悩んだ末に月々の借入金返済支払の減額のお断りを無理を承

知で申し出た。ところがそれがこれまで些細なことでも「約束を守る」ということを実践してきたため信用の積み重ねの厚みもあってすんなり認められた。本人自ら自宅に帰らずホテルに寝泊まりしながら、率先垂範の言葉通り、セールスし来館いただけるお客様の開拓に日夜休まず努めることを実践した。新規のお客様が増え始めた時を同じくして業績の大底が見え、急激な反転に移り、黒字が軌道に乗っていった。そこへ日頃の従業員教育の成果もあって「おもしろかった。又来るよ!」と話され帰られたお客様が多くが再び繰り返し利用いただける、リピーターが多くなり、また、世の中はオイルショックの後遺症も消えオープン直後の心配事は全くなり順調な成長を歩んでいった。

流行りものに飛びつかず、バブル経済にも踊らず、めまぐるしく変化する時代に対応した経営のかじ取りで業績は順調に進んでいた。昭和58年には新たにホテル事業との二本柱になる外食事業の「ゆのごう本陣」の1号店をオープンさせ、その後も次々と計4店舗までオープンさせ着実な成長をしていたが平成8年に大きな事件が起きた。

現社長の達雄さんは平成4年、湘南ひらつかキャンパスにある経営学部国際経営学科に入学。同時に創部間もないゴルフ部に入学した。キャンパスでの講義、三村真人ゼミと勉学はもちろん、ゴルフ部運営会議のため横浜キャンパスまで足を運び、チーム一員として出場のため大会場へと東奔西走の大活躍し平成7年に卒業、Uターンせず都内でサラリーマン生活をスタートしていた二年目の秋、父親の達雄さんからの電話が突然あった。その内容は「ペンション湯郷」(現 リゾートイン湯郷)が火災に遭い営業不可能になったとのこと。驚きと同時に父親である社長のもとで修業し、家業を継ぐ決意し直ちに帰郷、翌年2月に(株)大広に入社した。

大志さん入社後、親子の二人三脚で、火災に遭ったホテルは「リゾートイン湯郷」に名称を変えリニューアルオープン、その後も

次々と新店舗のオープン、業態の変換の改装をさせつつ『脱水商売だ!』との思いから、店舗の新装、改装の際は東京のデザイナーを招き、中途半端なものを作らず高級感を出すため資本投下を高く設定している。また従業員の意識改革・労働環境の改善を行いここで従業員自身が働く喜びを体感し『外食産業』に変えたい思いを経営に持ち込んだ。しかし、逆に「水商売」の大切さも醸し出している。従業員が汗をかき、泥臭さのある現場こそ充実感が出て来て、帰られるお客様から「おもしろかったよ。又来るよ」といただく言葉に感謝し、やりがいをも感じさせている。

外食産業の地位向上に貢献するため『地域の食文化を創造する』を経営理念に掲げているが平成15年、達雄社長が会長に、30歳になった大志さんが社長就任した。その後、次々と混迷を極めたリーマンショック、デフレスパイラル等の難問が出たがその度「時代の変化はチャンス」の姿勢で対処したため業績のブレは小さく、地域一番店をめざしお客様から喜ばれ、従業員のやる気も日々上昇し若き社長はまさに面目躍如だ。

会長は常々「運」「鈍」「根」をモットーとしている。「運」とは徳を積むこと。具体的にはボランティアで前掲の岡山湯郷ベルのスポンサー、開店の新店舗に身障者を招待し食事をしてもらうなど。「鈍」とは先走りは絶対せず目立つ流行りものにも飛びつかない。人の後をついておこぼれでも良い。「根」とは夢を持ったら達成するまで絶対あきらめない。趣味のゴルフは会長就任後に封印解除、ハンディは64歳でシングルになった。

箱根駅伝の活躍復帰の期待もありますが、学生本分の勉学に力を入れてほしい。特に「ゼミの神大」を再興し入学時とは違って卒業時には優秀生になり社会貢献できる学生が多く輩出するよう教授は厳しく指導し神大の知名向上を狙い、そして「神大の卒業生」と自信を持った社会人になってほしい。また、一度くらいは「人生勝負の時は賭けに出よ」と檄をいただいた。(取材・文責/S.S)

# ジャパンファインスチール株式会社

Takashi Sugimura

代表取締役社長 杉村隆士さん

## 経歴

- ・1950 (昭和25) 年8月 兵庫県尼崎市生まれ 64歳
- ・1969 (昭和44) 年3月 兵庫県立尼崎高等学校卒
- ・1975 (昭和50) 年3月 神奈川大学法学部法律学科卒
- ・1975 (昭和50) 年4月 トクセン工業 (株) 入社 (人事、企画、名古屋・大阪・東京営業と営業畑を歩む。)
- ・2003 (平成13) 年6月 トクセン工業 (株) 取締役特殊鋼線事業部長に就任
- ・2009 (平成21) 年6月 ジャパンファインスチール (株) 代表取締役社長に就任し、現在に至る (同社は山口県山陽小野田市にあります。全てが漢字による5文字の市名は現在、日本唯一のこと。)
- ・2015 (平成27) 年6月 トクセン工業 (株) 常務取締役任に就任予定

## ●金井・トクセングループの紹介

金井・トクセングループは9社で構成しており、従業員は約2000名(外国人約40%)。1894 (明治27) 年創業の金井重



要工業から1973 (昭和48) 年に特殊鋼線事業が分離独立して、トクセン工業 (株) が誕生しました。そし

て1996 (平成8) 年に大手企業の丸紅 (株) とコマツNTC (株) の共同出資で設立された「丸紅ファインスチール (株)」の経営権を2001 (平成13) 年にトクセン工業 (株) が取得して、社名をジャパンファインスチール (株) と改名しました。

トクセン工業 (株) 出身の杉村氏が2009 (平成21) 年に代表取締役社長に就任し、本年6月には、出身母体であるトクセン工業 (株) の常務取締役に就任する予定です。

ジャパンファインスチール (株) は、社是として「品質方針」や「環境方針」を明確に打ち出しており、国内シェア約7割を誇る「ソーワイヤ」をはじめとした特殊金属線のスペシャリストです。また、環境負荷の低減を図りながら21世紀の地球と地域社会に貢献することを方針にしており、独自の技術で世界をリードし続ける企業になることを理念としています。2012年には新工場を増設しており、今後は、医療分野や自動車部品の軽量化等に活路を見出すべく、伸びやかな雰囲気職場で積極的に技術開発に取り組んでいます。

(注)「ソーワイヤ」の「ソー」はSaw (のこぎり) のことで、半導体や太陽電池用シリコンインゴットのスライスに欠かせないワイヤです。直径約0・1mm以下の髪の毛ほどの極細ワイヤの線径の公差が0・0005mmといえますから、まさに想像を絶したミクロの世界です。

## ●杉村社長のモットー

メーカーの代表者らしく「ものづくりで世界一になれ！」をモットーとしており、職場でもスタッフ50名 (社員約150名) と同じ

フロアで執務するなど、まさに「現場主義」を貫かれています。(筆者も、元メーカーに勤務していた関係で、この社長のお考えが社員にとっていかに心強く一体感を醸し出すものであるかが分かります。)

## ●特に記憶に残っている仕事

太陽電池分野では、弊社のお客様が安い中国製品に押され、オーダーがピーク時の三分の一にまで落ち込みましたが、この危機感が社員全体の気を引き締めることになり、ピンチをチャンスに転じる気運が生まれたことです。このことが社長のモットーである「ものづくりで世界一になれ！」に繋がっています。当時、奥様から「あちらこちらでメガソーラーがどんどん作られているのに、なんでお父さんの会社はダメなの？」と「おこと」を頂戴したとのこと(笑)。

## ●組織を運営するうえでのポイント

社長の方針に基づき、スタッフ一人ひとりの方針をあげさせ、ブレイクダウンさせていきます。その活動結果を3か月に一度のペースで発表させています。このことにより「課題解決型思考力」をつけさせており、プレゼンテーション能力 (自己表現力) の向上を図っています。

また、会社組織は、CS部 (顧客満足)、新商品開発部、生産部といった6部門にマネージャー (部長クラス)、グループリーダー、スタッフを配置していますが、そこに現場長をスーパーバイザーとして参画させ、現場主義を徹底しています。

また、「安全は会社の原点」と考え、最優先で取り組んでおり、本年2月末に「無災害1000日」を達成し、継続中です。安全をはじめ社員の功労に、年2回の社長表彰をおこなっており、昨年は弓道で団体優勝した社員を横断幕で讃える等、従業員全員のモチベーションアップを図っています。

## ●後輩や現役学生へのアドバイス

社員を採用する者として、学生時代のアルバイトは「社会人見習い」として意義がある

と思います。そして新人は、「好奇心」を常に持ち、「素直さ」で他人の話をよく聞き、「負けず嫌い」の気持ちを強く持つてほしいです。さらに、何でもネットで情報が得られる便利な社会になりましたが、実際に自分自身で「見て、触る」経験がこういう社会だからこそ大切だと思います。常に「現場・現物・現実」にこだわってください。

## ●神大時代の思い出

学生時代は軟式テニス部に所属し、3年次の春からキャプテンを任せられました。キャプテン就任中に関東リーグ3部から5部まで落してしまっただけを大変申し訳なく思っています。部の先輩には、宮陵会本部の吉村蒔子副会長 (昭40応化・兵庫県出身) や兵庫県宮陵会の陸井 (くがい) 隆夫会長 (昭41経) がおられ、お二人をはじめ先輩方のお顔は今でもまともに見ることができませんと言いがらズケズケともの言っています(笑)。今も先輩方や後輩たちとお酒を飲むなど親しい関係が続いています。現在、部は関東リーグの4部 (11部のうち) におり、3部復帰を目標に日々精進していますので、達成することを願っています。

## (編集後記)

杉村先輩とは、今回の取材を通じて初めておめにかかりましたが、お写真からも分かるように、温和で真摯な方が第一印象でした。そのお人柄から、会社でも「伸びやかな雰囲気職場づくり」に心がけられていることが容易に想像できました。仕事上現在は宇部市にお住まいで山口防長宮陵会の会員でいらっしやいますが、ご自宅は兵庫県にあり、頻繁にはお帰りにはなれないとのこと。社長と同じ文系出身の筆者も、過去にメーカー勤務の経験があるため、インタビュ中に、お話し上手の社長のお話について聞き入ってしまうことがありました。国内シェア約7割を誇る世界をリードするジャパンファインスチール (株) に期待しましょう。

(文責) 専務理事 佐藤 武

# 祖谷溪温泉観光株式会社

代表取締役社長 植田佳宏さん

Yoshihiro Ueda



徳島県三好市に平家落人伝説が残る大歩危、祖谷地区は岐阜の白川郷、宮崎の椎葉村とともに日本三大秘境と呼ばれる地域のひとつで、溪谷に架かる「かずら橋」はこの地区のシンボルだ。ここに植田佳宏さんが経営する（平元経卒）「和の宿（なのやど）」ホテル祖谷温泉がある。植田さんは前回の東京五輪があった昭和39年に高松で祖父、父が県議という旧家の兄、姉の3人きょうだいの末っ子として生まれ、58年に神大経済学部に入學、同郷の同期と下宿生活を始めた。在学中、海外に出て勉強し、日本を外から見直す決意で一時期休学し米国内にて2年にわたり留学し（本人は遊学と話されているが）平成元年に卒業、航空会社であるエア・ニッポン（現ANA）に入社、鹿児島、東京、札幌と、主に営業、空港勤務に就かれ、特に札幌には6年間労働組の役員を兼任されながらの勤務をした。在社中に頻りに「帰ってこい」と話している父が体調不良との連絡を聞き10年勤務した会社をやむなく退社し高松にUターンした。

今年で祖谷地区は温泉開湯50年、開業43年になる「ホテル祖谷温泉」の経営母体である祖谷溪温泉観光株式会社に期待され、エア・ニッポン退社後直ちに入社した。入

社早々、父親が経営するホテルを引き継いだ途端あまりのぼろぼろの荒れ状態に驚き、どこから手を付けようかと考え、まず、従業員個々に面談し問題点を絞り出させ、改善すべき点をひろいあげた。13年に社長就任する前より「自分のところだけ潤うのではなく地域全体が潤う。そのために研鑽する」ことを航空会社勤務中に教えられたことを思い起こし、お客様はもちろん、従業員、出入り業者、地域住民など全ての人々を大切にしようとする経営理念「和敬静寂」（茶の湯の世界を一言に表わすといわれている禅語）つまり、人と人とのつながりを最も大切に、すべてのお客様に対して敬意と感謝の気持ちを持ち、自然の恵みと共生した地域社会に貢献でき、全従業員の物心両面の幸福を追求する企業とならんという実践から始まった。ハード面である設備等のリニューアルは主に社長が、おもてなしのソフト面はお客様と接する従業員中心に行い、お客様の視点からアイデアを出し、料理、玄関入り口、客室からトイレと隅々まで検分、検証し改善を続け、特に女性デザイナーのアドバイスを受け「和」を基調とした客室は露天風呂付きにして付加価値のある高級化路線で運営可能になった。

植田さんにはもう一つ「大歩危・祖谷いつてみる会」会長としての顔もある。父親から引き継いだ時から、航空会社勤務中に教えられたこと、前掲の通り「共生」「切磋」するため大歩危・祖谷地区の各々の旅館、ホテルが単独で集客し、また、お客様の奪い合いをせず、同業者を敵と考えず共に地域の魅力、イメージアップをはかり地域活性化をはかる。入社当時よりこの提唱を語り続け、その

年の秋に大歩危・祖谷地区のホテル・旅館5社の正会員とタクシー会社、酒造会社、観光施設などの賛助会員27社で設立し初代会長に就任した。発足と同時に地区の認知度アップを狙い「大歩危・祖谷温泉郷」と命名し全国に発信、地道に旅行会社に売り込み、関西からの観光客からは当然、人の多く住む関東からの観光客を増やし、また全国に先駆けインバウンド（外国人観光客の誘致）を取り組む活動、そしてこの会の単独事業から徳島県、地元市町と連携し官民一体となり売り込みするなどの活動が全国各地の同業者やマスコミの注目を浴びるようになった。20年には二泊三日の滞在型の魅力ある観光地づくりを目指し観光圏整備法が施行され観光庁より「歴史や伝統に彩られた日本の原風景の中で過ごす心豊かな時間の創造」をテーマとしたこの地域を含む「にし阿波観光圏」が認定を受け、25年からの新観光圏でも「にし阿波・剣山・吉野川観光圏」として認定され、いつてみる会はこの組織の中心的役割を果たし、先導して官民一体で事業を推進している。まさに、いつてみる会は民間のシンクタンクの立場にいる。

さらに一段の成果を求め四国全域に「山の秘境と海の秘境」と銘うって協力、提携を進め海岸地区、山間地区の両方への観光客誘致をしている。特に最近の外国人宿泊客は政府の「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に乗じて伸びている。大歩危・祖谷地区では平成20年には約1150人だったのが25年には約3800人になり昨年は6000人を超え5倍近く伸びたようだ。外国人宿泊客は主に香港、台湾、米国、フランス、豪からで、宿泊客全体の1割でまだまだ増えそう。特に個人客グループ主体の欧米人はせっかくなりに来たからには自分たちの欧米文化がない大歩危・祖谷地区にたくさん残っている日本の原風景、美味しい和食、ベッドでなく畳の上で布団での就寝などを求めて来られるようだ。植田さんは忙しい中、さらなる外国人宿泊客誘致のため自ら香港へ年2回はじめロサンゼルスなどにおもむきトップセールスしている。

このように植田さんは超繁忙の日々を自社ホテルの経営、「大歩危・祖谷いつてみる会」会長、官庁関係の諮問委員として観光庁はじめ政府、徳島県、市町、業界との会合、打ち合わせと東奔西走されている。常々自分のところだけ良いのではなく、地域全体が共生をしていかなばどの強い思いからここ数年のうち国内外から選考され、国際競争力の高い魅力ある観光地にし、「祖谷のかずら橋」にみえる客を40万人（現在35万人）、うち外国人を3万人（現在6000人）にする目標達成のため、過疎化による地元担い手不足、交通機関の不便さ、民間・自治体の財政的限界、光の当たらないルート等の課題もあるが、民の力で官を引っぱり連携し解決に導き、この小さな観光地「にし阿波観光圏」を国際競争力の高い地域に特に日本の秘境「大歩危・祖谷」を世界の秘境に「を」をテーマに活躍中でこの地域のオピニオンリーダー、いや、日本の観光業界の将来を背負っていく、まさになくてはならない若きリーダーだ。

後輩の学生には、父親に日頃より「よく学び、よく遊べ」と言われ、3年次で卒業単位を取った経験からまず学生には、学内外問わず勉学に励むこと。特に「旅をしてほしい」。学生の特権である時間がたっぷりある時こそ海外、特に発展途上の勢いあるエネルギーで将来日本の競争相手かパートナーになる地域を見て来てほしい。そして、逆に外から日本を見つめて来てほしい。また、同期はもちろん先輩、後輩との縦、横の太い繋がりを築いてほしい。そのためにはいろいろある社会で活躍中の同窓生のちよっとした事かもしれないがあふれ出た情報、知恵を得られる各地の宮陵会に積極的に出席し他人を知り、自分を知ってもらう機会を作り、出会いを大切にしたいとのメッセージが寄せられた。

# さぬき麺業株式会社

代表取締役社長 香川政明さん

Masaaki Kagawa

## ●社長の経歴

- ・昭和22年4月30日生れ
- ・香川県高松市出身
- ・昭和45年3月
- ・神奈川大学経済学部経済学科卒業
- ・昭和45年3月
- ・さぬき麺業(株)入社
- ・平成元年6月
- ・さぬき麺業(株)専務取締役就任
- ・平成5年6月
- ・さぬき麺業(株)代表取締役社長就任(3代目社長)

香川県食品産業協議会会長、全国麺類業厚生年金基金代議員、さぬきうどん研究会副会長、高松観光協会理事、香川県日中友好協会理事ほか多数の役職を兼務

## ●会社の紹介

しょうゆ職人だった祖父菊次が、大正15年に高松市川部町にうどん店「香川屋」を開店したのが始まりです。昭和39年、香川県から麵の伝統製法であった「足踏み」を禁止するという話が持ち上がり、危機感を抱いた高松市周辺の製麺業者30数社が出資して、さぬき麺業を起し、2代目で父の



政義が社長になりました。結局「足踏み」が禁止されなかったため倒産寸前まで追い込まれましたが、昭和45年の大阪万博出店を契機に外食産業に進出し、土産用の半生うどんがヒットして会社の経営が安定しました。現在10店舗(高松市内7・大阪3)を展開中。資本金3060万円、従業員101名。

## ●香川社長のモットー

私のモットーは、「さぬき麺業で働いている101名の仲間と一緒に仕事をして、現場主義に徹する」と「うどん作りは自分の真心が間違いなく伝わる。伝統の製法は、頑固に守る」の2つです。香川県は日本一面積が狭く人口100万人弱の県ですが、うどん屋が750軒もあります。製麺機でおいしいうどんが作れるようにはなりませんが、さらにおいしいうどんを作るため、伝統の製法(足踏みをして熟成し、麺棒で延ばして包丁で切る)にとことんこだわり、守っています。毎日、工場で作るすべての商品は、今でも製造ラインに職人の「足踏み・手打ち」の工程を残しています。讃岐うどんはうどん屋だけでなく香川県人のもの、という信念のもと高松市内の小学6年生の最後のイベントでうどん教室を開き、うどんの作り方を指導しています。小学生が一生懸命作るうどんはうまい。一生懸命の気持ちがあふれるように、一生の思い出になるイベントとして喜ばれています。

## ●企業人として成長できたこと

大学卒業後は、商社に就職が決まっていたが、父から就職は諦めて大阪万博でうどんの店をやってくれと頼まれました。さぬき麺業は、設立以来経営が芳しくないことは知

っていましたので、家業を手伝おうと思い商社は諦め、昭和45年3月14日の大阪万博開幕の5日前に入社しました。大阪万博では、東京日本橋のすし屋「京樽」と組んで3店舗で販売。1杯100円のうどんが飛ぶように売れ、1日1店舗で3000食、計9000食を毎日売り切りました。大阪万博開催の6か月間で会社の赤字を無くすことができただけでなく、うどんが売れることを目の当たりにして、うどん玉を卸すだけでなく、飲食店への進出に自信ができました。この大阪万博という貴重な体験が転機となり、高松市内に初のうどん店を出店しました。さらに、神戸と高松を結ぶジャンボフェリーの高松側待合室の食堂の一角でうどん店を始め、半生麺とスープを入れたお土産を開発して販売し、モーターゼーションの波に乗って大ヒットしました。その成功から会社の経営が軌道に乗るようになりました。

もう一つ、平成12年に讃岐うどんのために開発した「さぬきの夢2000」という大きなプロジェクトに参画させていただきました。うどん屋をやっていると、どうしてもこだわったうどんを作りたい。こだわったうどんとは、香川県で採れた小麦を伝統の製法で作るということで、県にもいろいろお願いして小麦を開発してもらいました。初めて試食した時、小学生のころ祖父が作っていた風味と香りのするうどんだと直感しました。プロジェクトに参画し、「さぬきの夢2000」を開発したことを今でも鮮明に覚えていますし、誇りに思っています。現在この小麦を使っているお店は、13店ほど県が認証しています

## ●組織を運営するうえでのポイント

これまでお客様が一番上にあり、従業員全員で会社を支えようと言って家族的な経営をしてきました。組織の重要性は認識していま

すので「人の繋がり」や「人との絆」を大切にしたい組織を作っていきたいと考えています。

## ●先輩へのアドバイス

大学2年生の時、高松市で吹奏楽部が演奏会をする事になり、当時大学で県人会の世話人をしていて関係でチケットを販売することになりました。大学から卒業生の名簿をもらい30~40名の大先輩を訪ねて回った時、先輩が来たということで大変嬉しがつて歓迎してくださり、すぐに完売することができました。皆さんが思っている以上に、卒業生は母校に対して思い入れが強く、先輩・後輩の絆が強いことを教わりました。私もそうですが、先輩達は今でも基本的にはその思いは変わらないと思います。

もう一つ、自分の得意とするものを見つけてください。私は、「うどん」を知っているから人との出会いが始まり、いろいろな人と会って、さらに人との関係が広がりました。現在、全国各地へ出掛けたり、商店街や香川県の地域活性化のお手伝いをしています。が、「うどん」という強みがあればこそ、と考えています。また、人と人との出会いを大切にすることは、自分を大きく成長させてくれるものだと考えています。

## ●現役学生へのアドバイス

自分の周りの人達を大切にしてください。若い人達はメール一本で用件を済ませてしまっていますが、いろいろな人達に実際に会って接してもらいたいと思います。

## ●神大時代の思い出

ともかく、大学2年生の吹奏楽部のチケットを売るために大先輩を訪ねて回ったことが、一番印象にあります。人前で話をするのが大の不得意で、大先輩の前で挨拶して命が縮まる思いでしたが、今では良い経験をしたと思っています。学生時代にいやなことや辛いことを経験することは、後々良い思い出となるのではないのでしょうか。

# 18 U フィリピン代表監督

高橋将人さん

Masato Takahashi

夢は、2017年の  
WBC フィリピン代表出場、  
そして母の故郷へ野球で恩返し

●自己紹介

- 小学 小学2年で横浜都岡今宿ライオンズに入団
- 中学 横浜の都岡中で投手。「横浜市体育活動優秀生」に選ばれる。
- 高校 横浜市立桜丘高校ではエースで4番。
- 大学 神奈川大学に進学し硬式野球部に入部するが、奨学金と合わせて学費を工面するため軟式野球部に転部し、アルバイトをしながらの野球人生が始まる。
- 休学 2013全日本学生軟式野球選手権で優勝、1番センターを務めベストナイン選出
- 休学 大学を休学し母の母国フィリピンへ単身語学留学、現地クラブチームに入るのをきっかけに野球人生が大きく回り出す。



- 復学 3月〜9月半年間の語学留学とフィリピン代表監督を経て復学
- 現在 「OKYOMETSU」にプレイ中。将来は単身アメリカに渡り、メジャーリーグへと繋がる米国プロ野球で武者修行をして、母の母国フィリピン野球界に恩返しを誓う。

●出会い

- 一、軟式野球部が全国制覇した時の掛け替えのない仲間が常に私の傍にいて、単身フィリピンに渡った時も仲間が応援して励ましてくれました。
- 二、大学3年の時に学内で開催されていた「内定獲得塾」に入り、講師陣に将来の夢を何気なく相談した時に、夢を追いかけるよう背中を押していただき一歩踏み出すきっかけになりました。
- 三、語学留学中のフィリピンで、地元クラブチームに英語で直談判した時の警備員さん、そして受け入れてくれたナショナルチームの監督、縁が縁を結び野球協会、日本の名球会の方々が応援してくれました。

●挫折とターニングポイント

自分自身がナショナルチームの練習に参加させて頂いたこともあり18 U代表監督を引き受けました。しかし、基本に忠実な組織力の日本野球に対し、慣れ合い野球が定着し反復

練習を好まない、ダッシュがジョグに、ジョグがウォーキングになるフィリピン野球の取り組む姿勢を自分の野球人生と重ね合わせ日々、伝えたいことが伝わらないもどかしさが続きました。国民性の違いとは言え、ゼロからのスタートを余儀なくされ、絶望感に近かったかもしれません。

それでも根気強く粘り強く指導を続けていく中で、自らも選手と一緒に走り始めること2ヶ月、自主的に走る選手が現れました。一筋の光が見えた瞬間です。

そして、国民性の壁に少し変化が現れたこのタイミングに日本の集団行動を伝え、道具を意識した練習メニューに切り替えました。

18 U代表監督の背番号は48番。この番号は大好きな「AKB48」からきていますが、この背番号と彼女たちのステージと重ね合わせ、自分も頑張らなければと背中を押される重みがあるんです。

●夢に向かって

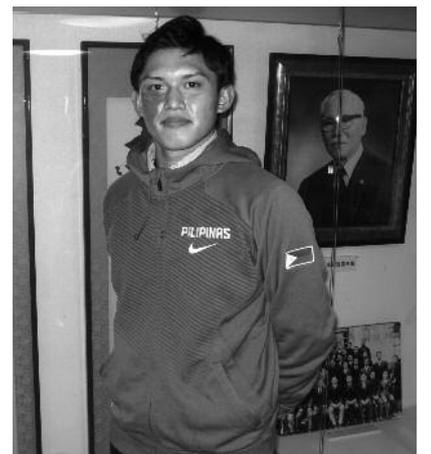
フィリピンが好む野球スタイルはパワーがあり、型にはまらないメジャーリーグです。しかし、体格的には小さいため、日本の野球スタイルとの融合が必要と感じました。

彼らに教えるコツは、同じ目線でメリハリをつけて、ほめて、叱って、そして課題を与えて気づかせることです。気づきは本人も周りも動かすパワーがあります。

指導者は自分にも厳しくなければなりません。そして、選手と一緒に実践で学び考える姿勢も必要です。

私は、選手の成長を間近で見えてきて彼らの底知れぬ可能性を感じました。もしかしたら彼ら自身が自らの可能性に気づいていないかもしれません。

私の夢は、そんな彼らを夢のベースボールクラシック(WBC)の本選に出場させる



事です。そして私自らもフィリピン代表選手として彼らと一緒にWBCに出場することです。

将来は、もっとフィリピン野球人口を増やし、日本やメジャーリーグで活躍できる選手を育てる指導者となる事です。これまで母と野球に育ててもらった事に感謝し、母が育った故郷の野球界に貢献することこそが恩返しだと思っています。そして最終的にはフィリピンと日本をスポーツと言う架け橋で、国際交流の一役を担えればと思います。また、野球と言うスポーツの国際交流を通じて、指導者としての自分の姿を見た子供たちが、夢をもってチャレンジすることに繋がればと願っています。

帰国後、昨年10月末「スモークマウンテン少年野球育成プロジェクト」に参加した際、日本プロ野球名球会の北別府学さん、駒田徳広さんらの通訳を務めたことで交流も生まれました。多くの方々に出会い、多大なご支援をいただき現在があることに感謝します。

●メッセージ

「やりたいと思ったら、やってみる!」「続けていけば必ずいいことがある。自分の可能性を信じてあげる」ことです。

(取材・文責/平能・栗林)

# 大田精工株式会社

マレーシア現地法人生産アドバイザー 塚田 尚さん

Takashi Tsukada

## ●経歴

- 昭和16年3月25日生れ  
神奈川県横須賀市出身
- 昭和38年3月  
神奈川県工学部機械工学科卒業
- 昭和38年4月  
(株)岡村製作所入社 産業車両用自動変速機の製造部門、販売・生産・経理システム設計部門、生産管理部門等を経験
- 昭和62年8月  
NSKマイクロプレシジョン(株)入社 ミニチュアベアリングの製造・販売を担当後、マレーシア工場設立準備室長として携わり、現地法人に赴任。平成11年現地法人取締役社長就任
- 平成13年6月  
前述会社の定年退職を契機に(株)エフエムシー(NSKマイクロプレシジョン(株)の子会社でミニチュアベアリングを製造)入社、インド現地法人に意向し、取締役社長就任
- 平成26年1月  
カメラや医療機器用精密歯車の製造会社



大田精工(株)マレーシア現地法人に生産全般の

アドバイザーとして入社、現在、単身でマレーシアに赴任

## ●モットー

(株)岡村製作所に入社し、一週間の新人教育期間中に先輩から言われた2つの言葉が、働くうえでの一生涯の指針になりました。一つは、「担当する仕事では会社一、日本一、世界一にならなさい」。二つ目は、「給与やボーナスにどんなときでも不満を言わないように。もらう金額より2倍・3倍働いて、会社に貸しを作りなさい」でした。今でもその考え方を踏襲し、生涯現役で仕事をしていきます。

## ●後輩たちへのメッセージ

私は、子供時代、学生時代には受験勉強を含めてほとんど勉強した記憶がありません。入社して先輩から言われた言葉を表現するために何をしなければいけないか考えた末、とにかく勉強することを決めました。この時人生で初めて勉強をする意義を理解しました。入社当初の配属は生産管理でしたが、品質管理や工程管理の通信教育による勉強をスタートし、経理も含めて自分の専門以外にも広がっていきました。おおよそ48年間製造会社で働いていますが、経営全般、生産管理全般、生産工程管理・品質管理等の知識が身に付いたので、私一人で全ての分野が管理出来ます。最近、富士通のSITA1級認定講師の資格を取得し、パソコンの講師もできるようになりました。仕事・趣味すべてに前向き

きに取り組み、出来ない、分からない事は自分で調べ、人に聞いて常に勉強し、自分のものにするよう心がけています。3月に74歳になりましたが、心身ともに健康です。体の続く限り人様のお役に立ちたいと考えています。

## ●海外で仕事をしようになったきっかけ

NSKマイクロプレシジョン(株)でPCのハードディスク用部品であるミニチュアベアリングを作っていた時、お客様のそばで製造するという会社の方針からマレーシアのクアラルンプールに進出することが決まり、マレーシア工場設立準備室長として設立準備に係りました。工場完成後、現地法人の取締役工場長として赴任し、マレーシアを皮切りに、インドそしてマレーシアと海外赴任を17年間経験し、現在はマレーシア現地製造会社の経営全般、生産・品質管理に関する指導等を現地の社員に行っています。

## ●現地の社員の指導で苦労した点

自分の仕事に対して責任感を持たせる事に苦労しました。現地法人の社長をしていた時、客先でクレームが発生しました。自分が作った製品でクレームを出してはいけないことを現地の社員に理解させる方法を考えた末、最終責任者は現地法人の社長だ、ということから、日本の本社宛てに始末書を書き、彼らにも知らせ自分の給与だけを減給しました。社長自身が身を切ったということを、現地の社員が知り驚いたようです。この事を通じて彼らに仕事に対する責任を持たせることが出来ました。もう一つ、「悪い情報は上司に隠さないで報告する!」をしつこく言い続けています。これらは皆さん一人一人に当てはまるでしょう。

## ●海外赴任者へのアドバイス

二つアドバイスがあります。一つは、海外に赴任したらいかに早く語学をマスターする

かが仕事をスムーズにするうえで大切になります。私の場合、50歳近くで海外に出ましたが、1~2年間英語を猛特訓すると同時に、辞書を片手に現地の人と直接接触する場所に進んで出かけたがり、日本人のいない場所にあえて住みました。日本人がいらない、日本語を話せない環境を自分から積極的に作っていくことが、語学を早く上達させる鍵だと思います。また、そのような環境にいと、現地の人達のことを早く理解できるのではないかと思います。二つ目は健康管理です。健康管理の基本である十分な睡眠時間を取るよう心掛けてください。私は今では9時には就寝し、7・5時間は寝るようにしています。精神的にも体力的にも十分な休養をとることが大切です。

## ●現役学生へのアドバイス

学生時代は学業より社会勉強を多く体験してもらいたいと思います。社会に出てから自分で必要性を感じて勉強する事身につく、生涯役立ちます。前述のように、私は勉強が嫌いでしたが、大学では興味を持つことを探そうと考え、1年生の時から松本先生の材料学研究部に入れてもらい、4年間松本先生と先輩達に学業以外の事も教えて頂きました。授業が終わった夕方からは麻雀・パチンコを楽しみ、友達と伊勢佐木町の喫茶店に入りびたり等々、勉強はしませんでした。一通りの遊びと社会勉強は経験しました。また学生時代には、一生涯の友達を作ることで。私達昭和38年機械科卒業の仲間はまだまりがよく、今でも横浜周辺で隔月に夕食会を開き、毎年11月には熱海で全国から集まって同期会を行っています。この年齢になりましたが、若い時代に戻り話に花が咲き時が過ぎるのを忘れず。本当に楽しいです。私も時間が合えば参加して親交を深めています。

(取材・文責/内藤)

# シンガポールで活躍するプロサッカー選手

中武駿介さん

Shunsuke Nakatake

シンガポールリーグ(通称Sリーグ。以下Sリーグと表記)は全12チームからなるシンガポール国内最高峰のリーグである。そのような最上位のリーグの中心選手として活躍し、Sリーグ選抜にも選出されるほど結果を残しているのが中武駿介さんだ。何故異国で挑戦することを選んだのか。何故異国で活躍が続けられているのか。

波乱万丈な道のりを一つずつ乗り越えて、プロサッカー選手になる夢を叶えた中武選手に話を伺った。

●このままサッカーから離れていいのかもしれないという想いも抱えていた

—シンガポールという異国でプロサッカー選手を目指した経緯を教えてください。  
 カー選手を自指した経緯を教えてください。大学在学時、体育会サッカー部に所属し、4年生の時には柄にもなくキャプテンになりました(笑)自分としては大学でサッカーの世界とは一線を引き、社会人として新たな道に進むことを決意して、サッカーに打ち込む傍ら、就職活動もしました。一度は企業から内定もいただきましたが、「このままサッカーから離れていいのかもしれない」と同時に抱えていました。企業からの内定を断り、サッカーで生活することを決意したのが4年生の夏頃です。そこから日本でプロサッカー選手になる道を模索しました



左：中武駿介選手

が、結局はプロチームから声が届きませんでした。途方に暮れていた際に、たまたま後輩のツテでシンガ

ポールのEUNOS CRECENTというアマチュアリーグでプレーする機会を得ました。ここで思い切った挑戦してみようと思ったのがきっかけです。

●練習が週に2回、その練習に来る選手は2、3人という全くやる気のないチーム

—実際にアマチュアリーグからスタートし、加えて異国の地となると苦労が多かったのではないのでしょうか。  
 まず、言葉の壁が大きかったです。何を話しているか単語レベルでしかわからない。しかもサッカーはコミュニケーションのスポーツなので言葉を話せないと意思疎通も難しい。今もそんなに話せませんが身振り手振りでやってコミュニケーションを取っています。

また、一年間はアマチュアのサッカーチームに所属し、子供たちのサッカースクールのコーチ、カフェで働きながらサッカーをするという生活をしました。練習が週に2回、その練習に来る選手は2、3人という全くやる気のないチームでした(笑)そして練習以前にサッカースクールのコーチ、カフェでの仕事もあり一年間サッカーをする時間がほぼなかったため、「本当にこのままでプロになれるのか」と不安な日々を過ごしました。

—そんな困難な状況の中、いかにして中武さんの夢であるプロサッカー選手になることが出来たのでしょうか。  
 アマチュアリーグである程度活躍も出来、上々の手ごたえを得て最初のシーズンを終えた後、Hougang United(現・所属チーム。Sリーグ所属)へ練習参加する機会を得ました。「このチャンス逃したら一生プロになれない」と断固たる決意で臨みました。前年の実

績と練習参加での確かな手ごたえと評価を得て、契約へとこぎつけました。とにかく必死でした。

●サッカーができる環境があることへの感謝を込めてプレーする

—夢を実現できた要因は一体何だったのでしょうか。  
 私自身のモットーは、感謝の気持ちを忘れない、ということなんです。サッカーができる今の状況に感謝しています。かつては週に2回しか練習がないチームにいたわけですし(笑)日本にいる親、応援してくれている友達にはサッカーをするためにシンガポールに行っていると言っているのです、そういった人への感謝、単純にサッカーができる環境があることへの感謝を込めて常にプレーしています。

また、信頼を得ることが大切です。特に私の場合、国籍も言葉も考え方も違うと、なかなか信頼されるのが難しいと感じることもあります。私自身も言葉が通じない相手を信頼するのに最初は抵抗がありました。しかし、チームスポーツなのでお互いを信頼すること、リスベクトすることは大切だと思います。信頼を築くためにも、チームへの献身性、積極的な練習態度、時には自己犠牲をしてもチームに貢献する意思を見せることは必要であり、それを継続して取り組むことが出来たのが、信頼を得た要因だという実感があります。

●子供に夢を与えられるプレーができるよう、日々トレーニングに励む意識を常に持つこと

—自分の仕事はプロサッカー選手を全うするために心がけていることを教えてください。  
 様々な人に大きな影響を及ぼしているという実感を持つことです。昨年10月にSリーグ選抜に選ばれての試合でその重要さを感じました。Sリーグ選抜に選ばれ、マレーシアのチームとの試合を7万人近い観客の中に行いました。私のプレー一つで7万人の観客が沸き、ため息をつくというようなスタジアムの圧倒的な雰囲気や、試合後もファンにサイ

ン、写真、握手を求められるといった経験を通して、自分の仕事の影響力の大きさというものを実感しました。お金を払って観に来ていただいているので、最高のプレーで応える必要がありますし、子供に夢を与えられるプレーができるよう、日々トレーニングに励む意識を常に持つことが大切だと思います。

—現役学生へアドバイスをお願いします。  
 いろいろな経験をすることです。大学生でも社会人でも同じだと思いますが、友人との交流、旅行に行く等、いろいろな場所へ向うき、その環境、そこでの人との出会いを経験することで、自己成長につながると思います。

—最後に今後の抱負をお願いします。  
 今プロとして生活できていることを誇りに感じています。まさかシンガポールとは思っていませんでした。幼いころからの夢だったので、それを実現できたのはよかったです。とはいえ、全く満足していません。違う国でもプロサッカー選手として挑戦したいという欲もあるので今後もステップアップを目指して頑張ります！

●プロフィール  
 1990年6月19日生。宮城県出身。外国語学部国際文化交流学科卒(2013年)。豊富な運動量を持ち味とし、DF、MFと幅広くプレーができる万能型の選手。神奈川県在籍時はキャプテンとしてチームを引っ張る。現在はシンガポールリーグのプロ選手として活躍している。

- ・1998-2002 松森SSS
  - ・2003-2005 FCみやぎバルセロナジュニアユース
  - ・2006 FCみやぎバルセロナユース
  - ・2006-2008 仙台FC
  - ・2009-2012 神奈川大学体育会サッカー部
  - ・2013 EUNOS CRECENT (Singapore) ※アマチュアリーグ
  - ・2014 Hougang United FC (Singapore) ※トップリーグ
- (取材・文責/大野)

# 日立刀具（上海）有限公司

セールスマネージャー 藤高 涼さん

Ryo Fujitaka

失敗は前進する、

何もしないのは進歩しない。

失敗を恐れずチャレンジしよう

●自己紹介

・父の仕事の関係でベルギー、オーストリアで生活

・1998年3月

神奈川大学 経済学部経済学科卒業

・1998年4月

株式会社ドトールコーヒー入社

・2002年

株式会社ダイオーズ (DAIICHS CORP. RATION)

・2005年

日立ツール株式会社に入社

・2010年

日立刀具（上海）有限公司へ出向



●学生時代の思い出

学生時代を振り返ると、友人らとサークルを作り、季節に応じたテニスや海やBBOなどを主とするサークルを作って行動を共にしていました。仲間の入退部が頻繁になり活動ができなくなるたびに、設立時の友人と新たなサークルを立ち上げ、常に刺激あることにチャレンジしていたように思います。

また、大学の周りには雀荘が立ち並び、昼夜問わず雀卓を囲んで友人と将来を語り、時に白楽商店街のパチンコ屋で夢を見たり、自由と言う時間の中で、見えない将来と現実の自分と重ね、青春を謳歌していた学生時代でした。

●現在に至るまでの道のり

学生時代に居酒屋でアルバイトをし、狭い空間の中で飛び交う些細な会話が、人と人との結び、時に激しく、時に楽しく、人生の縮図を見ることで接客業の奥深さと面白さを知りました。そして、卒業と同時にオフィスコーヒールのドトールに入社しました。

ドトール、ダイオーズで約8年間勤務し、オフィスコーヒールを通じて接客業のいろはを学ばせていただいた最中、コーヒール業界が自社機械から自動販売機へ切り替えの時代に突入しました。自販機移行を機に、オフィスコーヒールにピリオドをつけ、そして、次なる自分ステージへチャレンジする決意で、現在の

日立ツール株式会社へ転職しました。

群馬営業所勤務で5年勤務していたある日、会社から中国転勤の指名を受け、単身一人で大連に向かうことになりました。なぜ中国勤務の指名を受けたかは定かではありませんが、海外生活の経験が目に留まったのかもかもしれません。父の仕事の関係とは言え、海外で生活した経験が、このような形でチャンスに転じるとは思いもしませんでした。経験すると言うことは、凄い財産だと思っています。

右も左も分からない初めての中国で、現地で採用した通訳と私の二人で仕事することになるのですが、営業する際の通訳の女性に専門用語を伝えるために、日本語を更に分かり易い日本語にして説明する必要があり、彼女が日本語検定を取得したとは言え、習得した訳ではないので苦労は尽きませんでした。微妙なニュアンスを如何に伝えるか、日本語の表現力の豊かさが逆に難しい場面もありました。

●転機は自分で起こす

中国に渡り引継ぎを受け、いよいよ始動するわけですが、ここで学生時代のチャレンジ精神が湧き上がり、既存の顧客だけでは売り上げを伸ばすことはできないため、新規顧客獲得に動き出しました。そして、現地の日系企業で働く日本人との交流に努めました。彼らは私を同志として快く受け入れてくださいました。

また、神奈川大学の卒業生団体である宮陵会が、大連にある事を知ったのもこの頃です。異国の地に単身赴任し、今までのやり方からの脱却として、人との出会いから人間関

係を構築し、人と人との繋がりで紹介され、助けたり助けられたり信頼関係に繋がっていききました。

海外での生活経験があったものの、言葉の問題、文化の違い、環境の違い、この環境の中でただ一つ言えることは、自分で動くと言う行動です。日系企業が2割、ローカル企業が8割の営業活動では、日本と違い広大な面積の中国での出張は、ほぼ1週間の旅行規模になってしまいう移動距離でした。この営業活動が私を更に強くしたと思います。

海外では、戸惑いも不安もありますが、チャレンジできる環境でもあります。人との出会いを大切に、出会いからの人間関係がビジネスチャンスになります。そして、そのチャンスを見逃さないために考えてアクションすることです。行動力こそが転機だと思います。

●先輩へのメッセージ

働くと言う事は『稼ぐ』ことです。日本人は考えて行動する賢い民族です。稼ぐために何をすべきか考えるのです。チャンスはいつ訪れるか分かりませんが、そのチャンスを見逃さないことです。海外旅行でも留学でもいいですから海外に出てみましょう。その経験が自分の可能性の引き出しになると思います。

失敗は必ず前進します。しかし、何もしないと反省も生まれませんので前進もしません。チャレンジし続けて、たくさん失敗もして、経験を重ねることで自分の可能性にまたチャレンジしてください。私もこれからもまたチャレンジしていきます。

(取材・文責/平能・栗林)

**ライブハウスくう**  
山本 弘市さん  
(昭和62年3月法学部法律学科卒業)



▲山本さん (前列左より2番目)

山本さんは大学卒業後、横浜で行政書士事務所、東京と大阪で技術系社会人向けの教育会社に勤務。その後、地方で、自らの判断と責任による仕事をしようと思ひ札幌にライブハウスを開きました。

店名は「くう」です。英語表記は「COO」。形態はライブハウスですが、飲み物と軽食はお出しします。

通常はドリンク40種以上(ビール、ワイン、コーヒ他)。

混雑時やテーブル撤去時は、缶、瓶、ペットボトルにて10種類です。

食事は枝豆、ポテトフライ、ピザ等で、混雑時はミニスナックやベビーチーズを提供しています。

平均的な客単価は公演プログラムにより、2,000円〜5,500円でワンドリンク付です。

全国のローンや札幌市内のプレイガイ

ドでチケットを購入出来る場合もあります。飲み物の追加オーダーはキャッシュオンデリバリーで、ほとんどが500円です。

ライブは毎年300公演以上を開催し、地元札幌のミュージシャンから、東京在住者、世界各国で活躍する外国ミュージシャンまで、年間1,000人以上の方が出演しています。

ジャズ、ポップ、フォーク、ロック、その他ノンジャンルです。

アジア、中近東、欧州、北欧、北米、南米等世界各国の演奏者も来ています。

弊社ホームページの「今までの出演者」をご覧頂ければ、知ってる名前が必ずあると思います。

お客様同士の会話を楽しむ店ではありませんが、身近で良い音楽を感じる時間を提供することを目指します。

店舗は、札幌市営地下鉄西18丁目駅出口1番から徒歩2分です。

宮陵会へは1度だけ総会に出席したことがあります。(取材・文責/永田)

■場所/札幌市中央区南1条西20丁目1-25 (南大通り沿い北向き) アウルビルB1

■アクセス/札幌市営地下鉄西18丁目駅出口1番

■営業時間/平日19:30開場・20:00開演  
土日祝18:30開場・19:00開演

■定休日/不定休

■客席数/15席から70席まで対応

■特徴/ジャズからロックまで幅広いライブを開催、ノンジャンル

■予算の目安/2,000円〜5,500円でドリンク付  
追加オーダーほとんども500円  
■連絡先/011-218-1656  
HP: <http://www.sapporo-coo.com/>

**「室蘭やきとり」ゆうパック考案**  
・開発販売第一号店  
鳥辰本店  
堀江 忠義さん  
(昭和41年3月工学部工業経営学科卒業)



堀江さんは、一度は一般企業を目指しましたが、家業を継ぐ為ウターンしました。昭和26年先代のお父様が室蘭のこの地にラーメン店を開業。

時代の流れに対応し焼き鳥店に業態を変更し、鳥辰本店を創設しました。一時はクラブ経営もしていたそうです。最寄駅は室蘭で、徒歩5分位の商店街にあります。

老舗焼き鳥屋さんで、店内は日本料亭を思わせるたたまみです。

室蘭は鉄鋼と共に、焼き鳥のまちです。自慢はもちろん室蘭やきとりです。

精選された北海道の豚肩ロースと、玉ねぎを交互に串に刺し、秘伝のたれと、洋から食べる焼き鳥は絶品でした。驚いたことに、室蘭やきとりは、鳥肉でなく、豚肉なのです。

その室蘭やきとりを、ゆうパックで送ることを考案、考案した第一号店が、この伝説ある名店鳥辰本店です。

おいしさをそのままに、遠方へも送り届

けることが出来るのです。

開発者は堀江さんで、日本郵政公社北海道支局長賞を二度受賞しました。

地元を離れて学びたい一心で、神大に入学生し大学近くの斉藤分町に住み、将棋部で活躍した堀江さん。近くに住む、プロの指導も受けたそうです。

大学時代は本当に良い仲間に出会ったと楽しそうに話して下さいました。

ゆうパック開発時の苦労話を聞き出そうとしましたが、周りが難しいと言うのを、先入観を持たずに挑戦した結果だと、さらりと謙虚に語るだけでした。

室蘭やきとりで、もっと町おこしをしたいと語る姿は、建学の精神、積極進取を感じます。

宮陵会では、相談役として新人の勧誘、紹介、総会の場を提供などし、会を支えています。

店に伺えば、室蘭の伝統の味に感動しながら、神大の思い出話も聞けるでしょう。(取材・文責/永田)

■場所/室蘭市中央町2-4-17 (アーケード内)

■アクセス/JR室蘭駅より徒歩5分

■営業時間/平日 17:00〜24:00  
土日祝 16:30〜24:00

■定休日/毎月 月曜3回 不定休

■客席数/カウンター1台  
テーブル9つ 約60席

■特徴/焼き鳥だけでなく一品料理宴会料理を幅広く対応

■予算の目安/2,000円〜  
■連絡先/TEL 0143-22-2078  
HP: <http://www3.pala.or.jp/tori-tatuhonnten/index.html>

## 牛肉料理 味心

小形 和彦さん  
(平成3年3月経済学部経済学科卒業)



神大卒業生  
デザートサービス

小形さんは、親戚が経営する小形畜産グループのレストラン部門「小形牧場直営レストラン 牛肉料理 味心」の料理長として、平成7年の開店以来20年間、牛肉料理一筋でお店を切り盛りしてきました。平成23年の東北大震災では、建物が大きな被害を受け、1年4か月間も休業しましたが、その間、東京の百貨店で「がんばろう東北」のイベントに参加したり、陸前高田市で炊き出しのボランティアにも参加しました。

平成3年3月に神大を卒業後、精肉の知識を深めるために群馬県佐波郡にある公益社団法人全国食肉学校で精肉の基本から勉強し、仙台・大阪の焼肉店、すき焼き・しゃぶしゃぶ店で修業を重ね、腕を磨きました。

岩手前沢牛は、日本を代表するブランド牛で、品評会で最優秀賞やブランドチャンピオン賞を始め、農林水産大臣賞も受賞する折り紙つきのお肉です。「味心」では、前沢牛は勿論、自社の牧場で育て上げた自社ブランド牛「牛匠 小形牧場牛」も提供し

ています。

店舗は、1階が精肉店「前沢牛オガタ総本店」、2階がレストラン「牛肉料理 味心」で、観光地「平泉の中尊寺」から車で10分、東北自動車道 平泉前沢ICより車で3分の便利な場所にあります。観光シーズンには、本物のブランド牛を安価に食べられると大好評です。

今回は、岩手県宮陵会の宮澤会長様よりご紹介いただきました。今後は、会の催しがあるときには、時間の都合が付けば出席して下さるとのことでした。

卒業生への特典ですが、「神奈川大学の卒業生」と言っていたら、デザートもサービスさせていただきます。是非一度、本物のブランド牛をご賞味ください。

(取材・文責/内藤)

■場所/岩手県奥州市前沢区塔ヶ崎102-4

■アクセス/東北本線前沢駅下車 徒歩15分、東北自動車道 平泉前沢ICより車で3分

■営業時間/11:30~15:00

17:00~21:00 (ラストオーダー各30分前)

■定休日/木曜日

■客席数/お座敷24、テーブル席30

■特徴/ステーキ・焼肉は遠赤外線効果のある溶岩石で焼き、地元の生わさびと岩手の宮古で採れた海塩でお召し上がりください

■予算の目安/昼 1,650~2,500円、夜 3,100~4,150円 (税込)

■連絡先/0197-56-7298

(カーナビにセットしてお越しください)

HP: <http://www.mesawagyugata.co.jp/>

■姉妹店/前沢牛オガタ駅東店「肉料理 おがた」、盛岡駅ビルフェザン南館地下「牛進」、ビッグハウス天巾タウン内「牛進」

## 割烹 濱作

笛木 一平さん  
(平成13年3月経営学部国際経営学科卒業)



神大卒業生  
生ビールor吟醸酒1杯無料

笛木さんが三代目として店主の父と切り盛りする「割烹濱作」は温かいおもてなしと笑顔が魅力の、和食の良さを満喫できるお店です。お店の外観からは店内の賑やかさが伝わってきます。ご当地の浜松では今、市の肝煎りで「料理会」を結成し、お料理で街を盛り上げる活動が進行中です。笛木さんもその一員として街中の活性化に力を入れています。

「濱作」の前身は祖父が昭和20年に創業したとんかつ店。確かな技術だからできる手間暇かけて揚げる厚みのあるとんかつは当店自慢の人気メニューの一つです。大学卒業後、笛木さんは京都で修業し、日本料理の基本について学びました。このときの経験は現在の「濱作」のお料理にも活かされています。とくに地元の人々の口に合うように味付けに工夫をしながら調理されたカウスターに並ぶ多彩なメニューは圧巻です。

地元ブランドの竜神豚の特製とんかつのほか、遠州灘舞阪漁港に水揚げされる生しらすの刺身、甘みのある新玉ねぎのスライス

や天ぷら、おろしニンニクやしょうが醤油で食べるかつお、あさりの酒蒸しやフライが、冬の鍋物に代わってこれからの季節を彩る旬のお料理としておすすめです。

お料理に合った日本酒を飲みながら舌鼓を打つのも、銘酒を厳選し、豊富な品揃えを誇る吟醸酒専門店「濱作」ならではの醍醐味です。このほか特筆すべきこととして、ゲストを招いてお話を聴き、語り合う「夜楽(やがく)」を開催。心も満腹にする楽しい企画として評判です。

当店はまた静岡西部宮陵会の新年会や会合の際、卒業生が集い、心尽くしのお料理を楽しみながら大いに語らうなじみのお店でもあります。

卒業生への特典ですが、「神奈川大学の卒業生」と言っていたら、生ビール一杯もしくは吟醸酒一杯をサービスさせていただきます。是非お気軽にお立ち寄りください。

(取材・文責/川口)

■場所/静岡県浜松市中区田町331-8

■アクセス/JR浜松駅北口より徒歩5分

■営業時間/17:00~24:00

(ラストオーダー23:00)

■定休日/毎週日曜日

■客席数/1Fカウンター9席、テーブル8席、2F和室5室(2名様~8名様和室宴会は全て個室)

■特徴/季節の地元食材を素材の良さを活かす職人技で提供

■予算の目安/1F料理5,000円(税・飲物込)

2F宴会コース6,000円(税・飲物込)

■連絡先/フリーダイヤル: 0120-17-8039

TEL: 053-454-4851

HP: <http://www.hamazaku.jp>

HP: <http://www.hamazaku.jp>

HP: <http://www.hamazaku.jp>

HP: <http://www.hamazaku.jp>

## 魁楽 もりかわ

森川 知治さん  
(昭和47年3月工学部機械工学科卒業)



神大卒業生  
一品サービス

▲森川知治さん(右)と料理長の上垣内清春さん

関西空港を降り立ち、日野根駅からJR紀州路快速にて今回の取材地へ。トンネルを抜けると自然豊かな風景が開けてきました。そこは、果樹の栽培が非常に盛んな和歌山県。紹介する森川さんがオーナーをつとめる「魁楽 もりかわ」は、和歌山市内にある和食料理店です。

森川さんのご卒業は機械工学科。事前の調べでは森川鉄工(株)を経営しているということで不思議に思ってお店について伺ってみると、平成26年10月、友人の父親が営んでいた割烹料理店を引き継ぐかたちでオープンしたのがこのお店を持った経緯だそうです。

その割烹料理店は事情でしばらく休んでいましたが、友人からのお店を有効に使ってもらいたいという思いと、仲間の応援にも押され、白羽の矢が立ってオーナーとな

った森川さん。まだ半年の新しいお店ですが、森川さんは食べることは元々興味があったようで、長年お寿司を握ってきた料理長とこれからの意気込みを語っていただきました。

料理長のお話しでは、お寿司をまじえながら、地のお魚や野菜による和食料理のお店を目指していきたいとのこと。森川さんは、お昼ときにも営業すること、女性が入りやすいお店にすること、看板メニューを作ってリピーターを増やすことなどが今考えている課題ですと述べられました。そして、縁あってオープンとなったことから、お客さん、スタッフ、仲間達にお店を開いてよかったと思われるようになりたいと決意をあらたにしてくださいました。

新しいお店ということで色々チャレンジしているこの時期、恐縮にも神奈川大学卒業生への特典をお伺いすると、一品はサービスいただけるそうです。和歌山県宮陵会の新年会でも「魁楽 もりかわ」を使われたようで、森川さんからお店の展望をお伺いすると是非応援したくなりました。

取材当日は夜の仕込みのためお忙しいところ、インタビューの時間をお取りいただきましてありがとうございます。

(取材・文責/齊藤)

- 場所/和歌山市畑屋敷袋町3番地
- アクセス/JR和歌山駅から車で5分
- 営業時間/17:00~22:00
- 定休日/日曜日
- 客席数/23席
- 特徴/地の物の食材にこだわった和食料理
- 予算の目安/5,000円程度
- 連絡先/電話073-423-3508

## 箱崎水族館喫茶室

花田 宏毅さん  
(昭和54年法学部法律学科卒業)



神大卒業生  
飲物10%OFF

花田さんは、広く芸術活動を行なっている皆さんに、喫茶店の持つサロンのような居心地のよい空間の場を提供したかったので、お店を開きました。

JR箱崎駅下車7分の場所で、喫茶兼ミニライブハウスをやっています。

「福岡市健康・食育サポート店」「福岡市栄養成分表示の店」「ふくおかの農業支援の店」として登録されている店舗です。

食材はできるだけ地元箱崎や近郊の有機栽培、無農薬のものを使うようにしています。(有機栽培コーヒー、無農薬紅茶等々)

「箱崎水族館喫茶室」という名前は、箱崎の地に100年以上前実際にあった水族館に由来しています。

多目的に使用できるスペースを持つユニークな喫茶店で、貸しホールとして、コーヒーを飲みながらのミニライブや各種コンサートに、ジャンルを問わず国内外のアーティスト、アマチュアからプロフェッショナルな演奏家まで幅広く利用していただいています。

また地域の文化活動の拠点として弦楽器のサークル活動から、さまざまな講演会まで開いています。

店内には、沢山の本が本棚に並んでいて自由に読む事ができ、学生から、年配の方まで喫茶をしながら、ゆったりとした空間でゆっくりとした時間を過ごせます。

さらにコミュニティビジネスとしては地元NPO団体やボランティア団体と交流しながら、「文化・アート」を切り口に地域活性、文化活動を行なっています。

卒業生、神大生の皆様、福岡周辺でカフェや貸しホール、ミニライブ、講演会場などお探しの方は、ぜひ気軽にご利用下さい。昨年は「宮陵会女子の会」を開催しました。卒業生が利用した時の特典としては、2015年より卒業生の場合、飲み物料金1割引(10円未満切捨て)で利用できます。

(取材・文責/永田)

- 場所/福岡市東区箱崎1-37-21 児島ビル1F
- アクセス/JR箱崎駅徒歩7分 福岡市営地下鉄 箱崎宮前駅 下車徒歩6分
- 営業時間/12:00~18:00 西鉄バス 箱崎下車 徒歩5分
- 定休日/火曜日 ※ミニライブなどのイベント開催時には、喫茶営業時間に変更になります。
- 客席数/通常喫茶時25席 最大54席
- 特徴/多目的スペース 喫茶 ミニライブ 貸しホールとして使用
- 予算の目安/飲み物500円・食事1,000円
- 連絡先/092-986-4134 (FAX同番) メールアドレス hakosujikissas@gmail.com HP <http://www.hakosui.net/>
- 大学 宮陵会 後輩に贈るメッセージ 九州に住んでいてもお正月はやっぱり箱根駅伝で奮闘する後輩たちを応援します。夢を目指して、神奈川大学がんばれ。

# 大連宮陵会の現役学生に対する支援・応援活動

本年度も大連での企業見学が、  
神奈川大学同窓会大連宮陵会の会員による全面的な協力により開催されました。  
大連宮陵会の奮闘ぶりの紹介と課題を記載いたします。

## 大連企業見学 概要

- 【主催】 神奈川大学外国語学部
- 【目的】 国際情勢を肌で感じ、国際的な視野を身に付ける
- 【期 日】 2014年9月14日（日）～9月18日（木）4泊5日
- 【引率者】 外国語学部 山口学部長、孫教授
- 【参加者】 7学科（うち技術系2学科）1～4年生20名（男性:11名、女性9名）
- 【見学企業】 大連市内の6か所（うち卒業生在籍企業3か所、残り3社は卒業生の紹介）



大連宮陵会による大連見学会の支援・応援活動は、大連宮陵会設立1年目から武井会長（2006年中国語学科卒）を中心に行われ、今回で2回目です（1回目は2012年3月）。支援・応援の内容は、大連滞在前の企画段階から参加者の滞在中のお世話までと全般に亘ります。具体的には、訪問企業の選定、学生受け入れの依頼、スケジュール調整、引率教授や会員・協力者への連絡、行程作成、飲食店の手配等の前段階から始まり、空港への送迎、滞在中の同行、訪問企業への連絡、飲食店での発注・支払い等、ツアーコンダクターのようなきめ細かな支援を会員が手分けして行っています。20名の現役学生の手話を引率教授とするのですから、それはもう大変です。

9月14日大連到着のフライトが1時間遅れた関係で、早速いろいろ調整することになりました。空港からホテルに回ると、予定している大連宮陵会との交流会会場の到着が大幅に遅れるため行程を急ぎ変更し、星海広場の見学を差し込んで時間を調整し、ホテルには交流会後に向かうことにしまし

た。また、星海公園では集合時間になっても2名が戻ってこない、といったトラブルも発生しました。それ以外にも、海外初体験の学生も多く、慌てさせられました。

しかし、このような苦勞をしても、参加した学生から「将来何をやりたいのかを決めていなかったが、今回の企業見学に参加してヒントが掴めた」とか、「海外の企業を実際に見て、就職するためのスタートをこれから切りたい」という前向きな話を聞くと、苦勞した甲斐があります。

会員の皆さんがこのように協力してくれる最大の理由は、海外にいるとなおさら神大が懐かしく、母校のために少しでも役に立ちたいという気持ちになるようです。今はその気持ちに甘えています。会員には時間だけでなく金銭的にも負担をかけていますので、大学の対応や宮陵会本部の支援の在り方を考え直す時期にきていると思います。大連宮陵会の学生に対する支援・応援は、今後もぜひ続けてもらいたい貴重な事案です。今回の取材で、長く続けるために皆で知恵を出す必要があると率直に感じました。

「文責 内藤」

# 硬式野球部

## 神大旋風を巻き起こした硬式野球部の絶対的エース 大学野球日本代表メンバー入りを果たす

2014年の夏、第63回全日本大学野球選手権大会（以下全日本大会）が神宮球場で行われ、本学硬式野球部は創部初となる決勝進出となり、見事準優勝という好成績を収めた。春のリーグ戦では、2009年秋季リーグ戦以来9季ぶり通算50回目の優勝を果たし、全日本大会に挑んだが、近年低迷が続いていた同部にとっては、準優勝までの道のりは決して楽なものではなかった。硬式野球部は、新チームとなり、意識改革や勝利への貪欲さをテーマに、チームスローガンを「欲」にしたという。この勝利への貪欲さが、同部の最後まであきらめないという粘り強さに繋がった。春のリーグ戦優勝や全日本大会準優勝の立役者となったのが、エース濱口遥大選手（人間科学科・現3年）である。今回は、硬式野球部エースの濱口選手に野球を通じて経験してきた貴重な体験談を話してもらった。

濱口選手は、小学校1年生の時に野球を始めた。きっかけは近所の親しいお兄さんの誘いだっただけという。野球を始めた当初から憧れていたポジションはピッチャーだった。ピッチャーとしてマウンドに立つようになったのは小学校5年生だった。しかし、「周りの選手と比べても、特段秀でた選手ではなかった」と当時を振り返った。

中学校へ進学後はピッチャーと外野手の両ポジションで試合に出場した。県でベスト8という戦績を収めたが、その時は外野手での出場だったという。やはりピッチャーとして試合に出場したいという



気持ち強く話してくれた。

甲子園を目指して進学した高校では、高校2年の夏の大会、3年の春の大会で共にベスト8という悔いの残る成績で高校野球の幕を閉じた。甲子園に出場する夢は叶わなかったが、上下関係が厳しい中、自主性や協調性を身に付け、何よりも信頼できる仲間と同じ目標に向かい切磋琢磨出来たことはとてもいい経験になったという。「日本一になりたい、プロ選手になりたい」という野球への熱い気持ちをもち、選択した進路はやはり野球を続けることだった。濱口選手は高校3年のときから既に150kmを投げる剛腕投手にまで成長していた。野球の強い大学に行き、その後はプロへの道へ進みたいと考えていた濱口選手は、高校3年の夏に神奈川大学硬式野球部の練習に参加し、進学することを決めたという。

濱口選手は、大学野球はレベルが高くと感じる中でも、大学1年生の春の大会から試合に出場し、むかえた大学2年の夏には全日本大会の大舞台で大活躍をした。「あそこまで大勢の観客の前で試合を

したことがないのですごくいい経験になった。明治神宮球場はプロ選手が使用しているスタジアムなので、そのマウンドに立てたことは嬉しかった。コンディションがとても良く、自信もあつたため、緊張はしたが負ける気がしなかった。」と今大会を回想してくれた。

濱口選手は、全日本大会での活躍が高く評価され、見事敢闘賞に輝き、オランダで行われたハーレム国際大会の大学野球日本代表にも選出された。遠く離れた地元佐賀県から献身的に支え続けてくれている両親は、全日本大会へも足を運び、濱口選手の活躍を一番に喜んでくれたという。現在、国際大学スポーツ連盟が主催する世界の学生の競技大会で、別名「学生のオリンピック」と呼ばれるユニバーシアード日本代表候補にも選出されている濱口選手は、「応援してくれている家族のために、もう一度日本代表に選ばれたい。」と強い気持ちを語ってくれた。

濱口選手は、卒業後はプロ選手になりたいという大きな目標を持っている。常に一つ上の高みを目指しながら、世界の舞台へと羽ばたいていく濱口選手の今後に期待したい。  
(文責 長田)



右：濱口選手

# 体育会サッカー部



体育会サッカー部はJR東日本カップ2014第88回関東大学サッカーリーグ戦2部の12チームによるリーグ戦において13勝4引分5敗、最終順位2位という結果を残し、悲願である1部リーグへの昇格を決めた。その悲願を達成したスキルのある集団をまとめたのが、自身も本学サッカー部出身で神奈川大学の生え抜きである関森悟コーチだ。関森コーチにインタビューを行い、結果からはうかがえない昇格の裏側に迫った。

## 日々の生活から練習まで 真摯な態度で取り組んできた

1 関東大学サッカーリーグ1部(以後関東リーグ1部昇格)という悲願を達成できた要因について教えてください。

2012年に関東リーグ1部から降格してしまい、1年での1部復帰を目標として戦っていました。しかしながら、思うような結果がついて来ず、勝った負けたで一喜一憂してしまう日々が続いていました。その反省から、今年は総監督である松永道敬が「勝利は最高の結果だが、その結果を得るためにどういうプロセスを歩んできたかが大事である」とし、選手に投げかけてきました。サッカーのピッチ上のみならず、日々の生活も含め、サッカー部として真摯な態度で取り組みました。その姿勢が実を結び、個人々の意識が高まり、チーム一丸となって関東1部リーグ昇格という目標に向かって戦えたことが昇格の大きな要因だと考えています。

1 個人の成長がチームの成長につながっており、良い循環ができています。また、筆者※2008〜2012本学サッカー部出身が在籍していた当初より、選手一人一人の能力が飛躍的に高まっているように感じます。

結果を残せるだけの素晴らしい素質を持った学生が以前に比べて集まっていると思います。ただし、ひとえに素質の部分だけではなく、選手が成長しようと努力をしなければ大学生サッカーは戦えません。素質を持った選手たちが成長したからこそその結果だと感じています。努力の結果は選手自身の将来にもつながります。今年、日本プロサッカーリーグ1部(J1リーグ)に入団する選手が2名、J3リーグに入団する選手が2名出ています。1 能力の高い選手が豊富で、関東2部リーグの中では突出した存在であったように感じますが、後期のリーグ戦(※関東大学サッカーリーグは12チームによる前期・後期のリーグ戦)は苦しい戦いでした。

前期は、その持てる能力を存分に発揮し、1位で折り返すことが出来ました。しかし後

期になると対戦相手の研究により、思うような試合運びが出来ずに勝ち点を伸ばせませんでした。昇格が近づくにつれて、目に見えぬプレッシャーもかかり、苦しい日々が続きました。

## 昇格に向けてチーム一丸となって奮い立つよう雰囲気を作ってくれた

1 そんな苦しい状態の中、「1部昇格」という結果を残せた要因は何でしょうか。

関東2部リーグも残り2節というところで、順位も昇格圏内から外れる3位まで落ちてしまいました。昇格に向けて後がない状況で、チームとして出来ることは何か？を全員で考えました。その結果「これまでもプレることなく続けてきたブレースタイルは最後までやりきろう！そして、スタンドで応援してくれる仲間のためにも最後まで走り続けよう！それと同時に、スタンドで応援する仲間も同じ気持ちを持ち、熱い応援で会場を盛り上げよう！」とチーム一丸となり、昇格に向けて奮い立つような雰囲気を作りあげてくれました。こういったチーム・個人の成長があり、悲願の一部昇格を達成出来ました。

1 サッカー部のチームスローガンは「一生懸命を楽しむ」です。これは「苦しい時は何事も投げ出しがちになるが、そんな時こそ一生懸命に取り組まなければ事態は好転するはずがない。一方で、何事も一生懸命になり過ぎると視野が狭くなり、良い結果は出ない。一生懸命に取り組む、その状況を楽しむくらいの余裕があれば本当の意味で素晴らしい結果はついてこない。」という意味です。この精神は私が選手の時から今に至るまで変わることなく、あらゆるシーンにおいて選手・スタッフが持ち続けています。オン・オフ・ピッチ、オフ・ザ・ピッチを問わず、どんな場面でも一生懸命に取り組む、さらにその状況を楽しむ。一生懸命を楽しめるかどうかで結果にも大きな違いが生まれるということを肝に銘じています。

1 選手に望むことや「こうなってほしい！」

という姿を教えてください。

あつという間の4年間の中で、後悔することなく、この大学生活を一生懸命に楽しんでほしいと思います。プロになることが全てではないので、この4年間でいろんな経験を、この組織に属しても評価されるような人間性を持ってもらいたいと思います。

1 関森コーチ自身の今後の抱負を教えてください。

関東1部リーグに復帰したので、当面の目標はインカレに出場すること。総理大臣杯・天皇杯本戦出場を目指します。個人として、指導者としての知識・経験が浅いので、もっと努力をして部に貢献出来るように精進していきたいです。

◆◆◆◆◆  
来年度は関東大学1部リーグで戦うことになるが、1部リーグは関東2部リーグの時よりも強豪がひしめき合い、今年度と比べ、より厳しい戦いになることが予想される。しかし、どんなに窮地に立たされても体育会サッカー部の伝統である「一生懸命を楽しむ」気持ちを持ち続け、観る者を奮い立たせるプレーをしてくれるに違いない。今後の体育会サッカー部の活躍に期待である。

(文責 大野洋樹)

## プロフィール

●関森 悟(せきもり さとる)  
1985年12月17日生。神奈川県が丘高校から2003年に神奈川大学に進学。在学中は選手としてサッカー部に所属し、2007年には関東大学サッカー1部リーグへの昇格を経験する。2008年の卒業と同時にコーチとしてサッカー部に携わり、現在に至る。指導全般・育成、練習試合等の調整、スカウティング、地域貢献を主に担当。また、指導者でありながら、プレーヤーとしても活躍をしており、神奈川県成年国体代表として2年連続で選出された経歴を持つ。

## 全国の宮陵会の方々へメッセージ

創部86年目となりますが、サッカー部を今まで存続していただいた先輩方に感謝し、今後も更なる活躍をしていきたいと思っております。全国の宮陵会員の皆様、いつも多大なる声援を送っていただきありがとうございます。サッカー部は、日本一のチームになる！という壮大な目標に向かって、真摯に取り組んで参りますので今後も応援宜しくお願い致します。

# 山岳部

神大山岳部は、登山活動(Mountaineer)をグローバルな多様感覚でAC(Alpine Climbing)&SC(Sports Climbing)、トレラン(Trail Running)の3つの視点で捉え、この青い星、地球を舞台に活躍中です。

安田あとりさん、ワールドカップカナダ・アメリカ大会に日本代表で出場、国体では2年連続上位賞。山内 誠さん、昨年ジャパンカップ優勝、ワールドカップは中国、アゼルバイジャン、スイス、オーストリア大会、そして世界選手権出場。アルコロックマスターでは3位に入り、国体では2年連続上位入賞。今年のジャパンカップは連覇こそ逃したが堂々の第4位でした。



■第10ジャパンカップの山内 誠さん  
第4位

山岳部といえば「重い荷物を背負って山に入り、ロッククライミングや縦走を行なうものだ」というイメージを描く人は数多い。それほど詳しくない人でも、山登りを主活動とすることに疑問を持つ人はいないと思う。

そんな中であって、人工の壁に取り付けられたホールド(人工の石)を登って、到達できた高さやクリアできた課題の数を競う競技スポーツ、リードクライミングやボルダリングはやや異質に感じるかもしれませんが、ボルダリングは命綱なしで5メートル位の低い壁を登るもので、設定課題をどれだけクリアできたかで争われ、リードクライミングは命綱をつけて高い壁をどこまで登ることができたかで争われるものです。現在、神奈川大学の山岳部は主に登山を行なう「アルパイン部門(AC)」と競技スポーツとしてのクライミングを主として活動する「スポーツクライミング部門(SC)」と山岳耐久レーストレランの3部門で活動展開中です。

ロッククライミングの練習として行われていた人工壁でのクライミングは、今や一つの独立したスポーツとして世界大会が開催されるほどに普及しています。東京、横浜近辺にも数多くのクライミングジムがあります。

現在「スポーツクライミング」で大活躍する日本代表クラスの選手が神大山岳部に在籍しています。2013年度には安田あとり選手がボルダリングワールドカップカナダ・ト

ロント・アメリカバイル大会に出場、国体においてもボルダリング3位、リード6位と好成績を収めました。山内誠選手も国体においてボルダリング・リードともに3位、さらには昨年2月の第9回ボルダリングジャパンカップで初優勝を成し遂げました。日本代表の選考会優勝で昨年度にはボルダリングワールドカップに中国・重慶大会17位、アゼルバイジャン・バクー大会10位、スイス・グリンドルワルド大会8位、オーストリア・インスブルック大会47位と奮闘、さらには8月開催のドイツミュンヘン世界選手権でも厳しい予選を突破し20位に、またイタリアで行われた「アルコロックマスター2014・男子ボルダリング」で3位入賞と目覚ましい活躍を見せてくれました。今年2月の第10回ボルダリングジャパンカップでは連覇こそ逃したが堂々の4位、この結果ワールドカップ出場権を手に入れました。

また、安田、山内両選手は昨年度の国体にも出場し、安田選手はボルダリング7位、リード8位、山内選手はボルダリング8位、リード2位とやはり好成績を収めています。彼らは専らスポーツクライミングに専念しており、山に登ることはありませんが、自然石のボルダーエリアでも課題を見つけて挑戦しており、山岳部に少なからず熱い刺激を与えています。

SC部門の選手達が個々に目標を設定し、達成しているようにAC部門にも大きな目標が存在します。

山岳部は創部85年目(2015年度現在)になりますが、大学創立100周年に向けてGreat Summits&Giants Planというつものない夢無限計画を進行中です。この計画は世界の美しい山10峰(Great Summits)とヒマラヤ・カラコラムに連なる8000m峰(Giants・14座)すべてに自力で登頂しようという壮大なプランです。

「夢は無限」というコンセプトで非常に長く険しい道のりですが、現役や未来の後輩達

に夢と希望の種をまき、育むことで一歩一歩着実に有為の人材を社会に送り出し、立ちほだかる障害をブレイクして前に進むことで百年ビジョンの実現は近づきます。昨年度は10月にロールワリン山群の未踏峰偵察トレッキングを行なってきました。平成27年度は5月中旬からダウラギリレンジの未踏峰タサルツエ峰(標高6343m)登頂を目指し、今秋のポストモンスーンには日本が制覇したジャイアンツマナスル峰(標高8163m、世界第8位の高峰)へ挑戦します。

このような壮大無比なプロジェクト、国内はもとより地球規模でも見当たりません。「質実剛健 積極進取 中正堅実」を建学精神とする神大健児には正しく当を得た計画ですが、当然ながら達成には莫大な費用がかかります。「人・物・金」、強靱強力な意思と行動力のあるリーダーとメンバー、支援部隊、賛助協賛企業は必須の資源です。

そこで資金源確保のため「グレートサミッツ&ジャイアンツ(G&G)計画遠征資金募金」を神奈川大学に設置していただき、第1期募金を昨年7月から再来年3月まで皆様に寄付を募っております。少しでもご賛助・ご支援をという方がいらっしゃいましたら神奈川大学総務部募金課までお問い合わせいただけます。

## ■山岳部・山岳部の100年ビジョン

- ・マウンテンニアスピリットを練磨し、志高く心身逞しい野外活動者&指導者を育成する。
- ・旺盛な探究心と挑戦意欲を育み「文武両道」知識研鑽と気力充実・身体剛健・体力練磨をめざす。
- ・最新登山技術習得と後進指導で相互向上を図る。
- ・競技スポーツ参戦で実績をつくる。
- ・海外遠征でグローバルな視点を持った後継指導者を育成する。

## ■山岳部・山岳部の基本方針

人格尊重、相互啓発登山」という崇高な文化活動の中で学び、育み・成長する過程を大切に、最新登山技術を習得練習しつつより困難、高度な登山活動を通じて、優れた人間関係を醸成すると同時に、地球の環境保全活動に取り組んで有為な人材輩出を目標とする。

## ■神奈川大学発祥の地と記念像

市営バス「境之谷」停留所から急な坂道を上ること約一〇分。横浜市西区の境之谷公園は、住宅地の中に緑陰をつくり、園内のログハウスや遊具で遊ぶ子どもたちで賑わう。ここは、神奈川大学の礎である横浜学院が仮教場としての桜木会館（中区桜木町、二〇〇八年に解体）から一九二八（昭和三）年十二月に移転し、翌年四月に横浜専門学校としてスタートを切った場所である（当時の地名は中区西戸部町富士塚）。

創立者米田吉盛を支援した樋貝詮三らの協力によって借り受けた土地に建てられた校舎は、払い下げの部材で作った木造平屋建て、壁はボール紙というものだったが、横浜専門学校設立認可申請書には「附近二ハ老樹散在シ気清ク且ツ静寂タリ。視界ハ四方ニ開ケ遙カニ東海道線ヲ望ミ市北西前半ハ眼下ニ横ハルヲ以テ英気ヲ養ヒ学習ニ専念スルノ好適地ト謂フヘシ」とあり、当時の環境が伝わってくる。第一回の新入学者は、第二学年へ編入の横浜学院修了者も含め約三八〇名であった。将来狭隘になるとして翌年五月に六角橋へ移ったため僅か一年半足らずのキャンパスだったが、跡地は近隣では「専門広場」と呼ばれていたという。

一九七六（昭和五十一）年から横浜市の公園となっていたこの地に発祥の記念

碑を残すべきだとの同窓生らの声を受け、本学は一九八四（昭和五十九）年、園内に神奈川大学発祥の地記念像を建立した。像は右手を前方に高く掲げ、左手を腰に当てて立つ青年の姿で、像の高さ約二メートル、タイトルは《雄飛》である。像の台座石正面には米田吉盛による題字、背面には書家・堀愛泉氏（一九一四〜一九九七）の書による次の由来文が刻まれている。

「神奈川大学は米田吉盛が昭和四年この地をトして創立した横浜専門学校にはじまる 爾来 本学は「質実剛健 積極進取」を建学の精神と定め 世界の懸橋となる青年の育成を目指している ここに記念像を建立し 神奈川大学発祥の地を後世に伝えんとするものである」

当時の記録によると、企画当初は石に碑文を刻んだ記念「碑」が考えられていたが、公園管理者である横浜市の「大学発祥の地にふさわしいブロンズ像を建立し、その台座に大学の由来を明記する方法で」（大学資料『発祥の地記念像関係係』）という意向を受けて、ブロンズ製の記念「像」を作ることになったようだ。

横浜市は、一九五五（昭和三〇）年の国民総合体育大会開催を機として会場の三ツ沢公園や横浜駅周辺に彫刻を置いたのを皮切りに、その後も街づくりの一環として都市空間への彫刻設置を推進した。その代表例として横浜駅西口の商業ビル、

ジヨイナスの屋上庭園に国内外の彫刻家の作品を置いた「彫刻の森」ができたのは一九八三（昭和五十八）年のことで、この頃市全体での設置数は一〇〇件ほどのぼっていた。発祥の地の記念「碑」から記念「像」への変更は、こうした市の方針や実際の設置事業の高まりを背景としたのであろう。

記念像の作者は、彫刻家・井上信道氏（一九〇九〜二〇〇八）。信道氏は、本学に近い神奈川区中丸に住み、ちょうど横浜専門学校創立の頃に東京美術学校（現東京芸術大学）彫刻科に入学、以後亡くなるまで同地で制作を続けていた。一九四五（昭和二〇）年五月二十九日の横浜大空襲ではすぐ近くの捜真女学院が焼失するのを目撃し、自身も大火傷を負い庭の池に飛び込んで命をとりとめたという。戦後は横浜に縁ある国内外の人物の肖像や都市空間での彫刻などを手がけ、横浜文化賞を受賞している。横浜駅構内や高島屋の前などにも作品があるので、それらを日常的に目にして市民も多いだろう。本学との縁も深く、この記念像《雄飛》の他にも一九六三（昭和三十八）年に卒業生が大学に寄贈した青年像《剛健》（現在は大学資料編纂室書庫に収蔵）など、設置を確認できただけで六点の作品を大学の構内や附属校、研修所に制作している。発祥の地記念像のタイトル《雄飛》は信道氏が付けたもので、除幕に



▲境之谷公園の記念像（現在）

あたって氏は、（建学の）「精神を汲みとり、遠くみはるかす海原を望み、世界に雄飛せんとする青年の無限の決意と心意気を表した」（前掲資料）と述べている。モデルは外国語学部の学生・工藤真弘氏がつとめており、信道氏の娘・大野静子氏によれば信道氏は普段も大学にモデルのアルバイト募集の掲示をし、それに応えた神大生たちがよく自宅内のアトリエ（現存）を訪れていたという。記念像に込める思いは、自らの彫刻家人生や身近な神大生の姿と重ね合わせて格別だったのではないかと。

当初は公園のほぼ中央に作られた直径六メートルの植え込み中心部に建てられた記念像は、後に公園の再整備で中央にログハウスが建てられることになった際、元の位置から西北西方向の端に移転した。かつて東側に望めたはずの海はとうに見ることができないが、記念像は子どもたちの遊ぶ声に囲まれながら遠くを見据え、ここに学び舎があったことを伝え続けている。（J）



# 平成27年度収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 事業活動収支の部</b>			
<b>1.事業活動収入</b>			
①財産運用収入	31,000	101,000	△ 70,000
②会費収入	116,090,000	115,370,000	720,000
正会員会費収入	(6,090,000)	(5,370,000)	(720,000)
準会員会費収入	(110,000,000)	(110,000,000)	(0)
③奨学金貸付金回収収入	10,000,000	19,000,000	△ 9,000,000
④雑収入	430,000	420,000	10,000
<b>事業活動収入計</b>	<b>126,551,000</b>	<b>134,891,000</b>	<b>△ 8,340,000</b>
<b>2.事業活動支出</b>			
①事業費支出	134,295,000	130,328,000	3,967,000
給料手当支出	5,660,000	4,907,000	753,000
福利厚生費支出	1,030,000	900,000	130,000
会議費支出	2,008,000	1,226,000	782,000
旅費交通費支出	9,665,000	5,665,000	4,000,000
通信運搬費支出	32,705,000	33,265,000	△ 560,000
消耗品費支出	1,877,000	1,845,000	32,000
印刷製本費支出	6,915,000	8,080,000	△ 1,165,000
慶弔費支出	2,120,000	2,120,000	0
賃借料支出	220,000	215,000	5,000
諸謝金	695,000	745,000	△ 50,000
支払負担金支出	7,500,000	7,500,000	0
支払助成金支出	13,450,000	13,200,000	250,000
支払寄付金支出	29,000,000	29,500,000	△ 500,000
給付奨学金支出	20,000,000	20,000,000	0
委託費支出	1,200,000	1,000,000	200,000
雑支出	250,000	160,000	90,000
②奨学金貸付金支出	15,000,000	20,000,000	△ 5,000,000
③管理費支出	24,942,000	29,162,000	△ 4,220,000
給料手当支出	5,660,000	4,907,000	753,000
臨時雇用賃金支出	2,000,000	2,000,000	0
福利厚生費支出	1,030,000	900,000	130,000
会議費支出	2,632,000	2,122,000	510,000
旅費交通費支出	3,500,000	3,400,000	100,000
通信運搬費支出	1,098,000	7,260,000	△ 6,162,000
消耗什器備品費支出	200,000	200,000	0
消耗品費支出	690,000	640,000	50,000
印刷製本費支出	1,710,000	1,656,000	54,000
慶弔費支出	1,400,000	1,100,000	300,000
賃借料支出	220,000	215,000	5,000
諸謝金	35,000	35,000	0
委託費支出	3,642,000	3,462,000	180,000
雑支出	1,125,000	1,265,000	△ 140,000
<b>事業活動支出計</b>	<b>174,237,000</b>	<b>179,490,000</b>	<b>△ 5,253,000</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 47,686,000</b>	<b>△ 44,599,000</b>	<b>△ 3,087,000</b>
<b>II 投資活動収支の部</b>			
<b>1.投資活動収入</b>			
①特定資産取崩収入	49,000,000	49,000,000	0
②貸付金増減額	5,000,000	1,000,000	4,000,000
<b>投資活動収入計</b>	<b>54,000,000</b>	<b>50,000,000</b>	<b>4,000,000</b>
<b>2.投資活動支出</b>			
①設立80周年記念事業積立金	10,000,000	0	10,000,000
②特定資産取得支出(奨学積立金)	180,000	200,000	△ 20,000
<b>投資活動支出計</b>	<b>10,180,000</b>	<b>200,000</b>	<b>9,980,000</b>
<b>投資活動収支差額</b>	<b>43,820,000</b>	<b>49,800,000</b>	<b>△ 5,980,000</b>
<b>III 予備費支出</b>			
予備費支出	244,805,152	248,671,152	△ 3,866,000
当期収支差額	△ 248,671,152	△ 243,470,152	△ 5,201,000
前期繰越収支差額	248,671,152	243,470,152	5,201,000
次期繰越収支差額	0	0	0

# 宮陵会だより

平成27年度事業計画  
収支予算書  
目的別正味財産増減予算書  
理事会開催状況  
定時総会  
監査

女性会員のつどい  
各種委員会開催状況  
地域組織総会等開催状況  
その他卒業生の集い  
解散  
表彰者

新地域組織代表者紹介  
叙勲  
訃報  
地域組織総会予定  
教育研究奨励助成金採用者  
給付奨学生採用者

## 平成27年度 事業計画・予算書

### ■平成27年度事業計画

#### I 神奈川大学の進展と維持に 必要な事業

- 神奈川大学教育振興事業
- 神奈川大学事業協賛寄付等
- ① 大学一般公開講座の協賛  
神奈川大学が主催する一般公開講座への協賛  
② ホームカミングデーへの協賛等  
神奈川大学が主催するホームカミングデーへの協賛等
- ③ 卒業祝賀行事の共催  
新卒業生に対し、卒業祝賀会費用等を大学・神奈川大学後援会と分担し援助  
④ 神奈川大学在学学生課外活動等支援事業
- ① 学生課外活動助成金  
在学生特別事業  
在学生等に対する講演会及びスポーツ大会の開催
- ② 学生課外活動助成金  
体育振興事業  
競技大会参加費、卒業生指導者交通費の助成等
- ③ 神奈川大学「教育振興基金」への指定寄付  
神奈川大学教育振興基金規程第6条第1項に関する寄付
- ④ 奨学金給付 第1号  
⑤ 課外活動奨励 第2号及び第3号
- ⑥ 学校法人神奈川大学「米田吉盛教育奨学金」募金への指定寄付
- ⑦ 神奈川大学教育研究奨励助成事業
- ⑧ 神奈川大学「神大スポーツ・文化振興奨励助成金」案内への協力

### II

- 神奈川大学のクラブ・サークルに対する奨励金募金の募集
- ⑦ 学校法人神奈川大学総務部校友課との連携  
会員基本情報の整備と相互協力
- 宮陵会奨学金の給付・貸与事業
- ① 給付奨学金  
学部学生と大学院生を対象とした給付奨学金  
② 特別給付奨学金(課外活動支援特別給付金)  
神奈川大学指定強化部制度第1種・第2種指定強化部に所属し、優れた能力を有する学生を対象とし、学費等を四年間にわたりに給付
- ③ 貸与奨学金  
一時的経済困難の学部学生に対する学費の資金としての貸与奨学金  
④ 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事業
- ① 会員間の情報共有事業として、会誌「宮陵」第64号、「宮陵会報」第100・101号の発行他広報事業  
会誌は正会員に送付、会報は住所判明者全員に送付  
準会員(4年次生)に会誌を送付(保証人住所宛)
- ② 会員の連携を深めるための事業  
① 全国地域組織代表者会議の隔年開催 平成27年10月に開催  
② 地域組織の活動に対する支援・助成  
③ 地域組織総会本会出席時祝金、交通費及び地域組織総会資料発送通信費等
- ④ 地域組織総会通信費助成(職域・同期・同好を除く)、地域組織設立周年行事経費の助成、準会員地域組織総会参加費助成
- ③ 地域組織のホームページ新設支援と情報ネットワークの構築推進  
④ ブロック会議への支援  
⑤ ブロック会議開催地域組織経費助成、ブロック内参加地域組織の旅費交通費の助成
- ③ 組織基盤確立のため、地域組織の設立・再建への支援  
④ 新入生(準会員)への記念品贈呈
- ⑤ その他目的達成に必要な事業
1. III 本部関係  
法人会議  
① 平成27年度定時総会の開催  
平成27年6月6日(土)
- ② 理事会の開催  
年間6回開催
- ③ 各種委員会の開催  
総務財政・事業・組織・女性・広報 各委員会の開催
- ④ 特別委員会の開催  
役員選挙の実施

# 平成27年度目的別正味財産増減予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科目	実施事業等会計	その他会計	本部会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 財産運用益	0	0	31,000	31,000
基本財産受取利息	0	0	1,000	1,000
特定資産受取利息	0	0	30,000	30,000
② 受取会費	0	0	116,090,000	116,090,000
正会員会費	0	0	6,090,000	6,090,000
準会員会費	0	0	110,000,000	110,000,000
③ 雑収益	0	40,000	390,000	430,000
受取利息	0	40,000	10,000	50,000
雑収益	0	0	380,000	380,000
<b>経常収益計</b>	<b>0</b>	<b>40,000</b>	<b>116,511,000</b>	<b>116,551,000</b>
(2) 経常費用				
① 事業費				
給料手当	0	5,660,000		5,660,000
福利厚生費	0	1,030,000		1,030,000
会議費	0	2,008,000		2,008,000
旅費交通費	0	9,665,000		9,665,000
通信運搬費	0	32,705,000		32,705,000
消耗品費	0	1,877,000		1,877,000
印刷製本費	0	6,915,000		6,915,000
慶弔交際費	0	2,120,000		2,120,000
賃借料	0	220,000		220,000
諸謝金	0	695,000		695,000
支払負担金	0	7,500,000		7,500,000
支払助成金	0	13,450,000		13,450,000
支払寄付金	29,000,000	0		29,000,000
給付奨学金	20,000,000	0		20,000,000
委託費	0	1,200,000		1,200,000
貸倒引当金繰入額	0	3,000,000		3,000,000
雑費	0	250,000		250,000
<b>事業費計</b>	<b>49,000,000</b>	<b>88,295,000</b>	<b>0</b>	<b>137,295,000</b>
② 管理費				
給料手当			5,660,000	5,660,000
臨時雇用費			2,000,000	2,000,000
福利厚生費			1,030,000	1,030,000
会議費			2,632,000	2,632,000
旅費交通費			3,500,000	3,500,000
通信運搬費			1,098,000	1,098,000
消耗什器備品費			200,000	200,000
消耗品費			690,000	690,000
印刷製本費			1,710,000	1,710,000
慶弔交際費			1,400,000	1,400,000
賃借料			220,000	220,000
諸謝金			35,000	35,000
委託費			3,642,000	3,642,000
雑費			1,125,000	1,125,000
<b>管理費計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>24,942,000</b>	<b>24,942,000</b>
<b>経常費用計</b>	<b>49,000,000</b>	<b>88,295,000</b>	<b>24,942,000</b>	<b>162,237,000</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 49,000,000</b>	<b>△ 88,255,000</b>	<b>91,569,000</b>	<b>△ 45,686,000</b>
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
他会計振替額	49,000,000	85,295,000	△ 134,295,000	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>△ 2,960,000</b>	<b>△ 42,726,000</b>	<b>△ 45,686,000</b>
一般正味財産期首残高	0	162,116,382	169,167,205	331,283,587
一般正味財産期末残高	0	159,156,382	126,441,205	285,597,587
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	159,156,382	126,441,205	285,597,587

- 平成27・28年度の役員を選出する選挙の実施
- 財政基盤の確立
  - 会費納入の促進  
財政基盤確立のため、未納会員への継続的納入案内による未納会員の納入促進
  - 「神奈川大 友ビザカード」の加入促進  
新卒業生への案内配布及び正会員への広報
- 事務局体制の強化  
(1) 会務運営体制の強化  
(2) 各地域組織の情報ネットワーク整備の推進

## 理事会開催状況

- 平成26年5月17日(土) 議案
  - 平成25年度事業報告及び決算に関する件
- 平成26年7月19日(土) 議案
  - 代議員候補者推薦委員会委員の任命に関する件
  - 平成26年度補正予算に関する件
  - 代議員定数に関する件
  - 表彰規程にもとづく被表彰者の決定に関する件
  - 公益目的支出計画実施報告書の監査に関する件
- 平成26年10月18日(土) 議案
  - 代議員候補者推薦委員会委員の任命に関する件
  - 平成26年10月18日(土) 議案
    - 地域組織名称変更の承認に関する件
    - 地域組織解散の承認に関する件
    - 特別委員会の設置に関する件
    - 平成26年度教育研究奨励助成募集要領に関する件

- 役員定数に関する件
- 平成27年度定時総会の開催に関する件
- 役員候補者推薦委員会委員の任命に関する件
- 本部事務局体制に関する件
- 平成26年度教育研究奨励助成金採用者に関する件
- 表彰規程被表彰者推薦基準細則の改正に関する件
- 会館建設特別委員会委員の選任に関する件
- 地域組織解散の承認に関する件
- 平成27年3月7日(土) 議案
  - 平成27年度事業計画及び収支予算に関する件
  - 平成27年度定時総会の議案に関する件
  - 一般社団法人神奈川大学宮

- ## 定時総会
- 平成26年6月7日(土)
- 平成25年度(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の決算承認の件
- ## 監査
- 平成26年4月28日(月) 平成25年度監査
- ## 女性会員のつどい
- 平成26年8月30日(日) 納涼ビアパーティー&遠野市内観光(東北ブロック・岩手県宮陵会)
- 平成26年10月4日(土) フラメンコショー&懇親会

- ## 各種委員会開催状況
- 平成26年11月2日(土) 3日(日) O.Gを探せ in 神大フェスタ (横浜キャンパス)
- 平成26年
- |       |             |
|-------|-------------|
| 4月1日  | 広報委員会       |
| 22日   | 総務財政委員会     |
| 5月12日 | 表彰委員会       |
| 14日   | 広報委員会       |
| 6月11日 | 広報委員会       |
| 19日   | 事業委員会       |
| 26日   | 組織委員会       |
| 7月7日  | 広報委員会       |
| 14日   | 広報委員会       |
| 15日   | 女性委員会       |
| 18日   | 代議員選挙管理委員会  |
| 30日   | 代議員候補者推薦委員会 |

- (近畿ブロック・兵庫県宮陵会)
- 平成26年
- |       |             |
|-------|-------------|
| 8月21日 | 委員会         |
| 28日   | 代議員候補者推薦委員会 |
| 9月2日  | 代議員候補者推薦委員会 |
| 10日   | 代議員候補者推薦委員会 |
| 22日   | 代議員候補者推薦委員会 |
| 26日   | 組織委員会       |
| 10月9日 | 代議員選挙管理委員会  |
| 10日   | 広報委員会       |
| 15日   | 代議員選挙管理委員会  |
| 22日   | 代議員候補者推薦委員会 |
| 11月7日 | 広報委員会       |

12月2日	19日	15日	22日	25日	20日	13日	9日	16日	16日	24日	26日	●平成26年	4月12日	26日	5月10日	17日	18日	25日	31日	8日	14日	15日	21日						
広報委員会	表彰委員会	広報委員会	組織委員会	事業委員会	広報委員会	神奈川県内地域組織会長会議(組織委員会)	広報委員会	役員選挙管理委員会	役員候補者推薦委員会	役員候補者推薦委員会	広報委員会	戸塚・栄区総会	港南区総会	ラグビー部OB会総会	三三会総会	岡山県総会	横浜北総会	津久井総会	三重県総会	苫小牧総会	札幌総会	陸上競技部OB会総会	北見総会	和歌山県総会	南足柄市総会	愛媛県宇和島地区会	茨城県総会	三浦半島総会	愛知みやも会総会

22日	25日	28日	29日	7月5日	11日	12日	13日	13日	21日	27日	8月3日	23日	9月6日	7日	13日	19日	20日	25日	27日	25日	10月4日	5日	8日	10日	19日	10月4日															
京滋総会	学士山岳総会	神奈川大学学内総会	群馬東毛総会	保土ヶ谷・旭区総会	空手部OB会総会	群馬総会	鳥取伯耆総会	バスケットボール部OB会総会	会計人会総会	福岡総会	原陵会総会	宮城県石巻地区会	近畿ブロック会議	兵庫県総会	佐賀県総会	山形県置賜地区会	山形県庄内地区会	鳥取因幡総会	北海道ブロック会議	帯広総会	ヨット部OB会総会	大分県総会	同学会大連総会	静岡西部総会	北陸ブロック会議	福井県総会	大阪府総会	秋田県総会	岐阜県総会	写真研究部OB会総会	箱根町総会	室蘭総会	奈良県総会	高知県総会	社労士総会	西多摩総会	川本工業総会	旭川総会	三十路会総会	三三電総会	吹奏楽部OB会総会

25日	11月1日	7日	8日	9日	14日	15日	21日	22日	29日	12月6日	20日	●平成27年	1月3日	17日	25日	31日	2月6日	7日	14日	15日	21日	22日	28日	3月5日																	
九州ブロック会議	宮崎大会	山形県総会	千葉県総会	宮城県総会	レスリング部OB会総会	東北ブロック会議	青森県総会	四国ブロック会議	徳島県総会	卓球部OB会総会	硬式野球部OB会総会	総会	鹿児島県総会	函館総会	新潟県総会	同学会上海総会	福島県総会	岩手県総会	相模原総会	秋田県鹿角地区会	中国ブロック会議	広島県総会	北九州総会	ボクシング部OB会総会	神奈川区総会	柔道部OB・OG会総会	栃木県臨時総会	香川県総会	平塚市総会	愛媛県大洲・喜多・八西地区会	磯子区総会	茅ヶ崎・寒川総会	島根県総会	佐世保総会	長崎総会	筑豊総会	愛媛県総会	山口防長総会	津久井総会	熊本県総会	珊瑚の会総会

**その他卒業生の集い**

7月5日  
アメリカンフットボール部  
創部40周年祝賀会  
7月12日  
山梨中央銀行宮陵会  
9月26日  
昭和46年同期会  
10月23日  
昭和44年同期会

**表彰者**

●功労表彰  
1. 本部関係  
34法・平13法博前  
西森 秀明(元専務理事・理事)  
37機 小川 勲夫  
(元副会長・専務理事・理事)  
2. 地域組織関係  
34経 松岡 邦兆  
(元富士支部支部長)  
39電 津田 滋  
(元福岡支部支部長・事務局長)  
●感謝表彰  
1. 本部関係  
34法 重松 峰雄  
(元理事)  
52法 鈴木 朝男  
(元広報委員長)  
2. 地域組織関係  
43機 長谷川光明(故人)  
(元室蘭支部支部長)  
39機 山岸 宣彦  
(元青森支部支部長)  
34経 松尾 旨之  
(元大阪支部理事)  
39経 村松 俊彦

●特別表彰  
本部関係  
平26人間科学科  
村竹 啓恒  
第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会総合1位  
(神奈川県チーム)  
500m3位・5000mリレー(神奈川県代表)優勝  
第36回日本学生シヨートトラック選手権大会  
500m優勝・1000m優勝・5000mリレー優勝  
人間科学科2年  
弘岡 正樹  
アジアユースパラ競技大会  
2013  
1000m優勝・2000m優勝・4000m優勝  
人間科学科2年  
山内 誠  
ホルダリングジャパンカップ2014男子の部優勝  
第68回国民体育大会  
ボルダリング競技(神奈川県代表) 3位  
リード競技(神奈川県代表) 3位

**新地域組織代表者紹介**

室蘭 泉澤高光(47英)  
釧路 淀川了一(45賢)  
群馬 篠原政行(50工経)  
静岡東部 内村博隆(50建)

**叙勲**

島根県 坪内邦至(40経)  
磯子区 条 昭(41工経)  
瑞宝双光章を受章されました  
大島 敏明氏(41法)  
訃報  
謹んでお悔やみ申し上げます  
勝 巖 殿(38経)  
南区宮陵会会長  
平成26年12月28日  
鈴木 英司 殿(37経)  
札幌宮陵会会長  
平成27年1月20日  
西村 忠郎 殿(37賢)  
クリエートメディアック  
宮陵会会長  
平成27年2月25日

**地域組織総会予定**

秋田県総会 5月16日(土)  
戸塚・栄区総会 5月16日(土)  
横浜北総会 5月16日(土)  
北海道ブロック会議(札幌) 5月30日(土)  
北見総会 6月13日(土)  
茨城県総会 6月13日(土)  
岡山県総会 6月13日(土)  
京滋総会 6月21日(日)  
和歌山県総会 6月27日(土)  
兵庫県総会 7月12日(日)  
静岡西部総会 9月12日(土)  
近畿ブロック会議(奈良県) 10月3日(土)  
北陸ブロック会議(石川県) 10月10日(土)  
九州ブロック会議 10月17日(土)または24日(土)  
神奈川県ブロック会議 10月31日(土)  
東北ブロック会議(宮城県) 11月14日(土)  
中国ブロック会議(広島県) 11月28日(土)

# 教育研究奨励助成金採用者

<p>工学部 物質生命化学科 特別助教 太田 佳宏</p>	<p>●研究課題 超均一な樹状型の高分子を造る新しい方法の開発に関する研究</p>
<p>工学部 機械工学科 特別助手 加藤木秀章</p>	<p>●研究課題 植物繊維をプラスチックと混ぜて作られる新材料(グリーンコンポジット)の熱による劣化を解明する研究</p>
<p>工学部 物質生命化学科 特別助教 齋藤 美和</p>	<p>●研究課題 鋳型を用いる方法でナノサイズの構造を整えた伝導性セラミックスを造り出す研究</p>
<p>外国語学部 国際文化交流学科 特任准教授 高木南欧子</p>	<p>●研究課題 熟達度に応じた学習コンテンツの制作と協調学習—神奈川大学を日本語で学ぶ試み—</p>



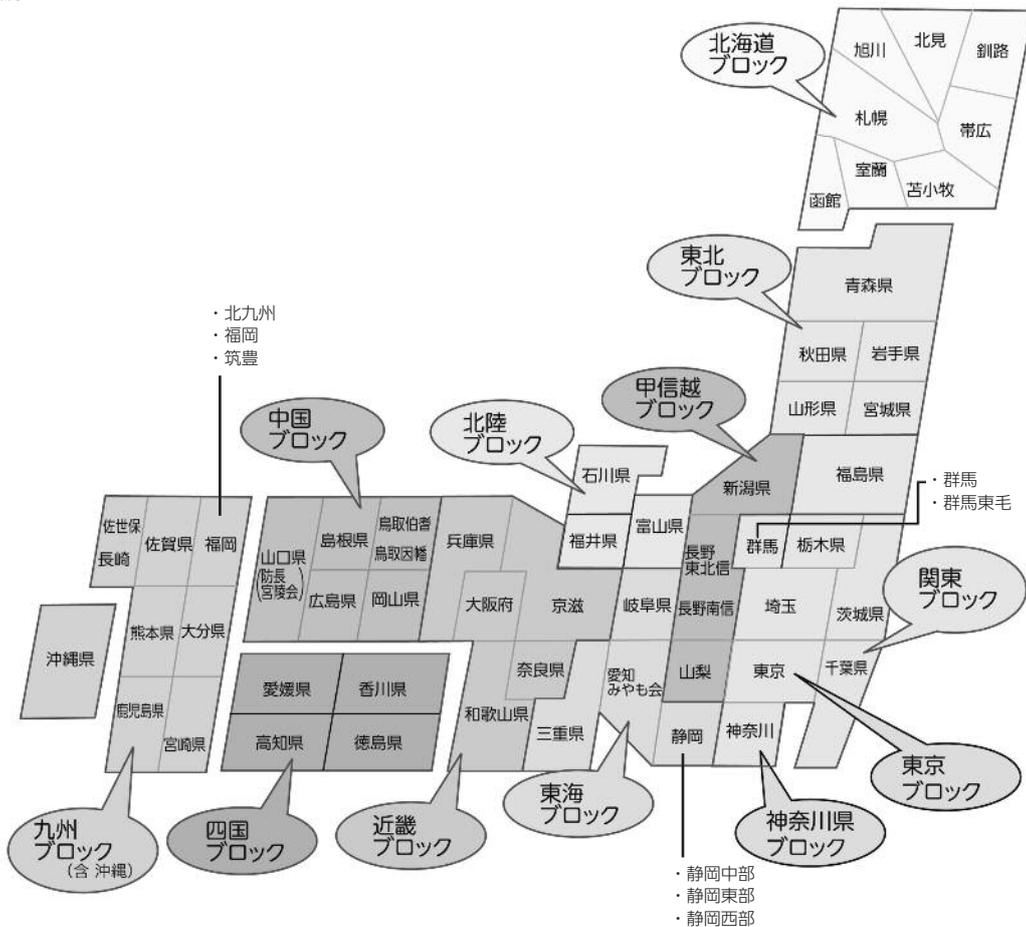
# 「ブロック会要領」の制定について

## ●制定の趣旨

平成25年4月1日施行の現行定款への移行に伴い、ブロック会議を規定する旧定款施行規則が廃止されたため、これに代わる「神奈川大学宮陵会ブロック会要領」を制定しました。

主な改正点は、つぎの通りです。

- ①各ブロック会に会長を置き、原則として各地域組織会長が持ち回りとする事。
- ②ブロック会議は、大学役員・本会役員との意見交換を充実させること。
- ③ブロック内の全会員を対象にブロック会の行事案内ができること。
- ④この案内について、担当地域組織事務局と協議して本会事務局が支援できること。
- ⑤従来の信越ブロックについては、山梨県を編入し甲信越ブロックとして再編し、また関東ブロックから神奈川県と東京都を分割して再編すること。



ブロック区分	地域組織
北海道ブロック	札幌 函館 旭川 室蘭 釧路 帯広 北見 苫小牧
東北ブロック	青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島
甲信越ブロック	新潟 山梨 長野東北信 長野南信
北陸ブロック	富山 石川 福井
東海ブロック	岐阜 静岡中部 静岡東部 静岡西部 愛知みやも会 三重
近畿ブロック	京滋 大阪 兵庫 奈良 和歌山
中国ブロック	鳥取伯耆 鳥取因幡 島根 岡山 広島 山口(防長)
四国ブロック	徳島 香川 愛媛 高知
九州ブロック	福岡 筑豊 北九州 佐賀 長崎 佐世保 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄
関東ブロック	茨城 栃木 群馬 群馬東毛 (埼玉) 千葉
神奈川県ブロック	神奈川区 横浜西・中 南区 保土ヶ谷・旭区 磯子区 戸塚・栄区 港南区 横浜北 瀬谷・泉区 相模原 三浦半島 平塚市 藤沢 茅ヶ崎 寒川 秦野市 南足柄 箱根町 津久井
東京ブロック	東京大田連合会 八王子 町田 西多摩

(海外)バンコク・ニューヨーク・ロスアンゼルス・上海・大連・ロンドン

# 「全地域組織のホームページ（HP）立上げ事業について」

広報委員会の業務に「HPの管理運用に関する事項」と「宮陵会のPRに関する事項」がありますので、HP立上げ事業の考え方とHPの基本部分について、広報委員長の内藤から説明いたします。

## 1 全地域組織のHPの必要性について

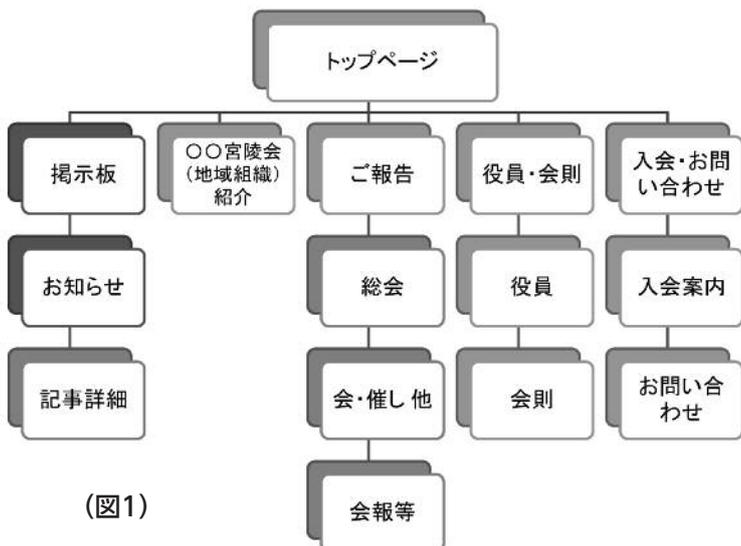
現在、102の地域組織のうちHPを運用している地域組織は、9組織という状況にあります。HPについては、以前から課題になっていましたが、費用対効果や日々の管理・情報の更新等を誰がどのように担当するのか等を考えると、踏み出せない状況にありました。昨年秋に卒業後間もない卒業生と学生、計8名と話をする機会がありました。その時、宮陵会の存在を聞いたところ、まったく知らない、または会の名称は知っているが何をしているかは知らないというショッキングな回答でした。さらに宮陵会へのアクションの方法が分からないという意見もありました。地域組織の悩みの1つに、若い卒業生が入ってこないという意見をしばしば聞きますが、このように認知度が低い状態では当然の結果だと思いました。若い人達はスマートフォンやPCを駆使し情報収集能力は長けているため、宮陵会本部や地域組織のHPを積極的に宣伝し、若い人達に関心を示す情報や活用状況を工夫してPRすれば、HPを見る可能性が十分あると感じました。HPは、地域組織の活性化を図るために会員間の情報共有ツールとして利用するだけでなく、若い卒業生に対する参加促進や準会員（学生）への認知度向上を図るための強力なツールだと確信しています。平成27年度の事業計画に新規事業として「全地域組織のHP立上げ」を取り上げていただきました。

## 2 HPのサイトマップ (図1参照)

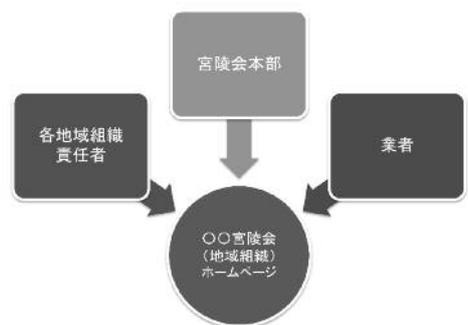
例として図1ではHPで紹介する内容の概要を示しました。地域組織によって内容はさまざまだと思いますが、基本は定める予定ですので、地域組織によっては、新たに検討して決めていただくような場面があるのではないかと予想しております。なお、現在HPを運営されている9地域組織につきましては、①新しいHPは作らず現状のHPを引き継ぐ ②新しいHPは他の地域組織と同様に立上げますが、現在のHPは残し、リンクさせる ③新しいHPを立上げ、現在のHPの中身から必要な部分を移行させる（現在のHPは残し、リンクさせる）、という3つの選択肢を準備する予定です。

## 3 情報の更新について (図2参照)

情報の更新につきましては、図2のとおり各地域組織のHP責任者（決めていただきます）、宮陵会本部、業者（HP制作会社）の3者で行うように計画しています。各地域組織には、情報更新操作マニュアルを作成し配布する予定です。また、各地域組織のHP責任者にはマニュアルに沿って操作方法を映像で見ていただく機会を設けたいと思います。本年の秋を目途にHPを立上げ、運用を開始したいと考えております。皆様のご理解とご協力があって初めて成功し、運用が軌道に乗るものと認識しておりますので、重ねて皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



(図1)

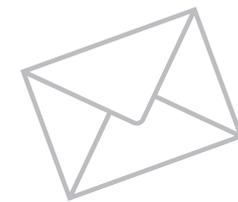


(図2)

# 地域組織だより

北海道ブロック会議(帯広)  
東北ブロック会議(青森県)  
北陸ブロック会議(福井県)  
近畿ブロック会議(兵庫県)  
中国ブロック会議(広島県)  
四国ブロック会議(徳島県)  
九州ブロック会議(宮崎県)

筑豊総会  
北九州総会  
佐賀県総会  
長崎総会  
佐世保総会  
熊本県総会  
大分県総会  
鹿児島県総会  
同学会大連総会  
磯子区総会  
神奈川区総会  
磯子区総会  
保土ヶ谷・旭区総会  
戸塚・栄区総会  
横浜北総会  
港南区総会  
相模原総会  
秦野市総会  
箱根町総会  
平塚市総会  
西多摩総会  
南足柄総会  
三浦半島総会  
津久井総会  
茅ヶ崎・寒川総会  
神奈川大学学内総会  
川本工業総会  
横浜信用金庫総会  
社労士総会  
三十路総会  
三三電総会  
三三会総会  
珊瑚の会  
原陵会総会  
ボクシング部OB会総会  
陸上競技部OB会総会  
バスケットボール部OB会総会  
空手部OB会総会  
柔道部OB・OG会総会  
レスリング部OB会総会  
ラグビー部OB会総会  
卓球部OB会総会  
ヨット部OB会総会  
学士山岳会総会  
硬式野球部OB会総会  
写真研究部OB会総会  
吹奏楽部OB会総会



札幌総会  
函館総会  
室蘭総会  
苫小牧総会  
旭川総会  
北見総会  
岩手県総会  
秋田県総会  
秋田県鹿角地区会  
山形県総会  
山形県庄内地区会  
山形県置賜地区会  
宮城県総会  
宮城県石巻地区会  
福島県総会  
新潟県総会  
千葉県総会  
茨城県総会  
栃木県臨時総会  
群馬県総会  
群馬県毛織総会  
静岡県総会  
静岡県西部総会  
愛知県やま会総会  
岐阜県総会  
三重県総会  
大阪府総会  
和歌山県総会  
奈良県総会  
京滋総会  
岡山県総会  
山口防長総会  
鳥取伯耆総会  
鳥取因幡総会  
島根県総会  
香川県総会  
愛媛県総会  
愛媛県宇和島地区会  
愛媛県大洲・喜多・八西地区会  
高知県総会  
福岡総会

## 北海道ブロック会議 (帯広)

平成26年9月6日



- ① 常務理事 正野 幸延
- ② 秘書室 関口 絢子
- ③ 副会長 宇野 峰雪
- ④ 専務理事 佐藤 武
- ⑤ 帯広フシントンホテル

### 東北ブロック会議 (青森県)

平成26年11月8日

- ① 理事長 正野 幸延
- ② 秘書室 関口 絢子
- ③ 副会長 宇野 峰雪
- ④ 事務局 根本 郁恵
- ⑤ アラスカ会館 47名



- ① この度は、帯広宮陵会総会とともに北海道ブロック会議を開催いたしました。
- ② 道内7つの宮陵会より34名の会員の参加と大学および宮陵会様より正野常務理事の他4名の方々の御臨席を賜り盛会に開催することができました。
- ③ 正野常務理事より大学の近況についてお話を頂きました。
- ④ 道内各会より現況報告を頂き、同窓の絆を深めた有意義な会議でありました。
- ⑤ 平成27年5月 役員会
- ⑥ 平成27年7月 総会開催
- ⑦ 平成27年9月 北海道ブロック会議出席

- ① 大学・宮陵会からの出席者
  - ② 開催場所
  - ③ 参加人数
  - ④ 開催コメント
  - ⑤ 活動(年間予定)
- ※神奈川大学・宮陵会は省略致しました。

## 北陸ブロック会議 (福井県)

平成26年9月20日

- ① 学長 石積 勝
- ② 副会長 大場 憲治
- ③ 専務理事 平能 孝一
- ④ 福井県織協ビル8階 47名



最初に大学から石積学長、宮陵会から大場副会長及び平能専務理事、記念講演に名誉教授中田信哉先生と大学関係者4名のお越しを頂き誠に有難うございました。

当日は福井県宮陵会総会、北陸ブロック会議、中田先生の記念講演会及び交流会(懇親会)とスムーズに日程を消化することが出来ました。これも参加いただきました4名の大学関係者はじめすべての方のご協力の賜と重ねてお礼申し上げます。

さて、今年度は我々福井県宮陵会が幹事となった18回目の北陸ブロック会議でしたが、記念講演をぜひもう一度中田先生にお願いしたいとの会員の強い要望があり、定年退職後ではありましたが先生にお願いいたしましたところ宮陵会事務局のご協力の下、中田先生の講演会が実現できましたことを厚くお礼申し上げます。

講演後会員より「やっぱり中田先生の講演は面白い」と評判でした。計画いたしました事務局としても大変うれしく、充実したブロック会議であったと思います。

- ① 計画いたしました事務局としても大変うれしく、充実したブロック会議であったと思います。
- ② 4月11日(金) 26年度第1回役員会(参加者12名)
- ③ 北陸ブロック会議について
- ④ 6月1日(日) 神大吹奏楽部全沢公演鑑賞 鑑賞券購入者7名(チケット枚数16枚)
- ⑤ 6月29日(日) 第8回福井県宮陵会親睦ゴルフコンパへ開催 参加者8名
- ⑥ 開催場所 山代ゴルフ倶楽部 優勝者 三好慶和

### 近畿ブロック会議 (兵庫県)

平成26年7月13日

- ① 学長 石積 勝
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ シーサイドホテル舞子ビラ神戸

### 中国ブロック会議 (広島県)

平成26年11月29日

- ① 理事長 正野 幸延
- ② 秘書室長 瀬田 高央
- ③ 会長 狩野 七郎
- ④ 事務局 宮内 弘美
- ⑤ ホテルグランヴィア広島

- ① 7月20日(日) 26年度神奈川大学後援会福井父母懇談会参加
- ② 開催場所 福井パレスホテル 参加者 岩木副会長 山本事務局次長 福井県大学OB对抗ゴルフ大会参加者4名 成績第7位
- ③ 開催場所 フォレスト福井ゴルフクラブ
- ④ 9月2日(火) 26年度第2回役員会(参加者14名)
- ⑤ 北陸ブロック会議最終打合せ
- ⑥ 9月20日(土) 神奈川大学宮陵会第18回北陸ブロック会議開催
- ⑦ 12月初旬 26年度第3回役員会 北陸ブロック会議反省会
- ⑧ 27年1月3日(土) テレビで箱根駅伝を応援する集い開催

### 中国ブロック会議 (広島県)

平成26年11月29日

- ① 昨日と同じ会場にて開催。当日は午前10時から近畿ブロック会議を総会前に会場別室にて開催後、11:00より兵庫県宮陵会を開催。本部からは宇野峰雪氏より宮陵会の取りくみ、学長の石積勝氏からは大学の今後の方向性を聞き大変参考になりました。又、講演では工学部江上正教授より宇宙エレベーターについての話しを聞かせて頂き大変興味もてました。又、各地区会員との交流、そして今後の宮陵会活動について有意義な意見交換ができました。
- ② 役員会 年5〜6回(平成25年4月1日〜26年3月31日間は6回開催)
- ③ 各地区宮陵会参加(近畿ブロック内)
- ④ 兵庫県宮陵会総会開催
- ⑤ 兵庫県宮陵会新年会開催
- ⑥ 神奈川大学スポーツ応援(近畿地区にて開催分)
- ⑦ ゴルフコンパへの開催
- ⑧ 兵庫県内の各ブロック(但馬、播磨、北摂、神戸、淡路、訪問)

④ ③ 92名  
大学から正野幸延理事長、瀬田秘書室長、宮陵会から狩野七郎会長、宮内弘美事務局員のご出席をいただき現在の大学、宮陵会のそれぞれの現状報告を受けた。

理事長の神奈川大学の将来創立100年・150年に向けての進むべき姿・方向について中・長期構想「量から質への転換」や特に地方では関心度の高い箱根駅伝への大学の5ヶ年計画など大変熱き意欲あるお言葉を拝聴し、又、狩野会長からは創始者米田学長の会館建設への取り組みをお聞きし速く離れた地方会員のわれわれも母校への思いを新たに致しました。

また、総会後の懇親会でテーブル表示を今回はじめて六角橋・白楽・反町・栗田谷など、なつかしい地名表示にしたことを狩野会長からお褒めのお言葉を頂き計画立案した係の者は大変喜んだಿದೆ。

⑤ 17日支部総会開催（平成26年11月29日開催）  
・役員会の開催（年3回程度）  
・総会企画運営委員会の開催（総会準備のため3回程度開催予定）  
・神奈川大学後援会主催の父母懇談会への出席  
・平成26年「神奈川大学宮陵会中国ブロック会議」総会開催（平成26年11月29日）  
・一般社団法人神奈川大学宮陵会主催の「全国地域組織代表者会議」への出席  
・広島県宮陵会会員親睦ゴルフコンペ開催  
・組織活性化を目的とした若年層の集い（平成会） 結成

④ ③ ② ①  
1 学長 石積 勝  
2 建築学科教授 重村 力  
3 専務理事 平能 孝一  
4 ホテルグランドパレス 59名  
④ 四県持ち回りで四国ブロック会を毎年開催しております。  
石積学長は忙しいなか、時間を遣

**四国ブロック会議  
(徳島県)**  
平成26年11月8日



38回四国ブロック会議 徳島大会

り繰りし、駆け付けていただき感謝しております。  
南海トラフ大地震が危惧されている今日、地震における防災、減災、復興の大家である重村力先生の講演を受講できたことは非常にラッキーでした。  
新鮮味を感じ、大学で講義を受けている錯覚すら覚えました。

⑤ 11月 総会  
10月 親睦ゴルフ  
8月 役員会  
6月 役員会  
④ 11月 役員会  
11月 総会

**九州ブロック会議  
(宮崎県)**  
平成26年10月25日

④ ③ ② ①  
1 常務理事 小林 孝吉  
2 副会長 大場 憲治  
3 宮崎市 ホテルメリージュ 72名  
④ 第38回九州ブロック会議（宮崎大会）開催  
ご来賓（大学・小林常務理事、宮陵会・大場副会長）2名と九州各県より46名、担当の宮崎県より26名の総勢74名が参加し第38回九州ブロック会議が開催されました。  
ご来賓より大学の近況や箱根駅伝情報などのご挨拶を頂き、議事は九州ブロック会議宮陵会と他地



38回九州ブロック会議 宮崎大会

区の交流事業の報告や来年度は鹿児島での開催が決議されました。  
また、支部活動に貢献された、津田滋氏（福岡S39電気）と長山登志男氏（宮崎S38貿易）に宮陵会より表彰状が授与されました。

懇親会では太鼓の演奏や歌謡ライブのアトラクションもあり盛会の内に終了しました。  
翌26日（日）には記念ゴルフコンペを宮崎レイクサイドGCで開催しました。（参加28名）

⑤ 1月 新年会  
8月 役員会  
9月 役員会  
10月 役員会  
11月 総会

**札幌総会**  
平成26年6月7日

④ ③ ② ①  
1 総務部長 原田 浩行  
2 理事 久保 清治  
3 札幌プリンスホテル 国際館パミール 72名  
④ 午後4時より開催された札幌宮陵会総会は、鈴木英司会長の挨拶につき、母校神奈川大学より原田浩行総務部長が出席され大学の現



札幌総会

況等が報告されました。また、神奈川大学宮陵会からは久保清治理事が出席され、お祝いの言葉と同窓会活動の現況等が報告されました。続いて、平成25年度活動報告、決算、平成26年度事業計画、予算が審議され全会一致で承認されました。引き続き行われた講演会は卒業生の酪農学園大学教授發地喜久治氏が「TPP交渉の行方と日本の食料・農業・生活への影響」と題し熱く語られました。懇親会は、同日に開催された父母懇談会で来札された近藤真吾神奈川大学後援会副会長の乾杯に続き、サスビシヤス・フロイデのアカペラグループ、ピンコゲーム等の盛り沢山のアトラクションで楽しく、賑やかな時間を過ごしました。

また、九州ブロック会長の津田滋氏から、九州ブロックの活動を兼ね地域組織のあり方についてお話がありました。総会のべは、恒例の出席者全員による校歌斉唱で終了しました。その後、出席者全員で記念写真撮影を行い、札幌の夜景を一望できる28階のラウンジでの二次会へと移行し交流を更に深めました。札幌宮陵会のホームページでは総会の模様などを年度順に公開しておりますのでご覧下さい。

⑤ 6月 札幌宮陵会総会  
7月 父母懇談会参加  
8月 親睦ゴルフ大会  
夏 のビール会

**函館総会**  
平成26年11月14日

④ ③ ② ①  
1 事務局次長 稲垣 俊博  
2 専務理事 平能 孝一  
3 和食 居酒屋 いちい 22名  
④ 今回は、長年O.B経営の「ホテルテトラ」から、料理の評判の店での会合に変更致しました。  
初顔の人から、数年ぶりの参加者等集まって頂き有難い結果となりました。

「マンネリの打破」と出来る事から手をつけたのが効を奏したと思われまし。

⑤ 今回の総会で、函館No1現役高校生で、5000m陸上選手を探すべく、全員に情報提供をお願いし、稲垣事務局次長の方へ、フィードバックする予定です。



神奈川大学函館宮陵会定期総会 平成26年11月14日 於 和食居酒屋いちい

**室蘭総会**  
平成26年9月27日

④ ③ ② ①  
1 内部監査室長 増子 義典  
2 副会長 大場 憲治  
3 理事 永田 晴彦



神奈川大学室蘭宮陵会総会 懇親会

④ ③ ② ①  
1 鳥辰本店 19名  
④ 大学・宮陵会より3名の出席をして頂き有難うございます。  
今回、室蘭宮陵会の総会を宮陵会会員で室蘭宮陵会の相談役で室蘭中央町にて室蘭焼き鳥の店を経営して居られる堀江様のご好意で中央町 鳥辰本店で開催いたしました。

増子様、大場様には大学のご宮陵会のことあれこれ報告戴き大学の変わりように感心して聞いておりました。また理事の永田様から駅伝の実力今回は上位間違いなしとの報告で参加者一同テレビ観戦に力が入ると盛り上がっておりました。今回会長は門山氏が今年限りで会長を辞任し新会長に（47年外語卒）泉澤高次氏が次期会長に決まりました。

また、会員増強では登録ながら平成卒業生は2名しか登録がなく若い世代の会員取り込みが問題をかかえております。今回は19名の参加者で新人の方も居られ毎年徐々に参加者も増加しております。  
北海道ブロック会議への参加  
室蘭宮陵会総会・懇親会の開催（10月）  
親睦ゴルフコンペ  
親睦パークゴルフ大会

**苫小牧総会**  
平成26年5月31日

④ ③ ② ①  
1 経営政策部次長 相良 秀生  
2 専務理事 平能 孝一



④ ③ ②  
 ① 苦小牧市「北のあざや」  
 17名

神奈川大学より相良次長、宮陵会より平能専務理事の出席を賜り、5月31日 苦小牧宮陵会の総会を総勢19名が出席し開催。役員改選期であり、現役員も一期継続で承認され、また昨年度、苦小牧宮陵会にて開催された北海道ブロック会議の報告等がありました。二次会にも来賓はじめ、11名が出席され、六角橋、白楽などの思い出話で盛り上がりました。

④ ③ ②  
 ① 旭川総会  
 平成26年10月10日

教育支援センター事務部長 松岡 博之  
 副会長 大場 憲治  
 旭川ランドホテル 大場 憲治  
 18名  
 総会に初めて参加された人、十数年ぶりに参加された人など顔ぶれに変化がありました。2年後の北海道ブロック会議の当番に向けて組織固めと総会参加者増加を誓いました。現役世代の参加を増やすことを目的に、懇親会には会員の属する会社・団体等の資料配布を行って説明する機会を設けることが確認されました。また、南北300kmに及ぶ地域組織をまとめる

⑤  
 平成26年10月11日…ゴルフコンペ  
 平成27年1月…新年会（予定）  
 平成27年夏…パークゴルフ大会（予定）

⑤  
 ④ ③ ②  
 ① 北見総会  
 平成26年6月14日

事務局次長 勇 真一郎  
 専務理事 平能 孝一  
 ホテル 黒部 17名  
 今年度の総会は神奈川大学、宮陵会からのご臨席を賜り北見市での開催となりました。橋爪会長挨拶の後、専務局長、平能専務理事から大学及び宮陵会の現状についてお話を伺い、その後、北見宮陵会会員の自己紹介を終え議事に入りました。



⑤  
 H26年9月  
 第17回北海道ブロック会議（帯広宮陵会）  
 会長、幹事長参加予定

⑤  
 ④ ③ ②  
 ① 岩手県総会  
 平成26年11月22日

情報システム推進部長 田島 和久  
 専務理事 宇久田 進治  
 ホテルメトロポリタン盛岡 ニューイング 22名  
 今年度は、3・11東日本大震災後も多少復興したこともあり、「新年交賀会」を被災地・宮古市で初めて開催。少しばかりでも被災会員の激励と被災地経済波及を行うことが出来た。

⑤  
 2月 新年交賀会  
 5月 レクリエーション交流会（ゴルフコンペ・ボーリング等）  
 8月 納涼ビアパーティー（岩手出身3年・4年にも案内）  
 11月 臨時総会  
 11月 宮陵会「東北ブロック会議」宮城県主催

⑤  
 ④ ③ ②  
 ① 秋田県総会  
 平成26年9月20日

事務局次長兼平塚事務部長 佐藤 武  
 アキタパークホテル 24名  
 1、秋田県宮陵会のホームページ開設について検討  
 2、卒業生の参加と秋田県宮陵会の活動状況の発信の為に、参加者の固定化  
 3、プロックで開催  
 H27年中央開催・H28年東北開催・H29年南開催予定  
 3、次年度有志によるゴルフ交流会を東北・中央・南の3ブ

⑤  
 ロックで開催  
 平成26年度役員会  
 平成26年9月11日（土）  
 東北ブロック会議（青森市）  
 平成26年11月8日（土）  
 東北地区鹿角会総会  
 平成26年11月29日（土）  
 新年会（アキタパークホテル）  
 平成27年1月24日（土）  
 役員会（予定）  
 平成27年3月14日（土）  
 安井誠悦氏を励ます会（予定）  
 平成27年3月14日（土）  
 （昭和57卒・経済/秋田市議会議員選挙出馬）

⑤  
 ④ ③ ②  
 ① 秋田県鹿角地区会  
 平成26年11月22日

ホテル茅茹荘 9名  
 総会は、秋田県宮陵会高橋智徳会長（S44建築）の御出席を頂き定刻（16:00）に始まり、秋田県宮陵会の活動報告並びに東北ブロック会議の報告後審議に入り、平成25年度決算も原案可決となった。会議中に会員の意見として、通年行事の開催について要望があり、この実行について努力することを申し合わせました。

⑤  
 花嶋 とみ子  
 専務理事 平能 孝一  
 ザ・リヴィントン 19名

⑤  
 ④ ③ ②  
 ① 山形県総会  
 平成26年10月25日

理事 正野 幸延  
 事務局次長兼経営政策部長  
 1、目的  
 神奈川大学山形県宮陵会会員の交流と親睦を図り相互の「絆」を深め、神奈川大学の進展と維持を願い、これらに必要な事業並びに活動を推進する事を目的とする。  
 2、具体的行動  
 A 県内四地区が独自に積極的な活動を行い、地区内の会員と在校生との交流・向上を推進する。  
 B 大学本部を通し本部及び

- 全国支部の情報の発信を御願ひし活用する。
- C 大学本部からの課外活動（スポーツ・文化・体験等）の依頼には積極的に協力して行く。
- D 在校生及び保護者との交流を深め充実を図る。
- E 創設50周年（平成30年）記念行事の活動基金の積み立て等はないか。

### 山形県庄内地区会

平成26年8月3日

- ② 長山 平
- ③ 12名
- ④ 会議資料通り平成25年度の決算、平成26年度の予算について承認され、役員改選については新任として副幹事長に五十嵐栄一氏、幹事に上原正明氏が承認されました。

その他の役員については別紙の通りとなりました。会則の改正につきましては地区活動に際しても本部より助成金が支払われることにより、年会費を従来の¥2,000から¥1,000とする事が承認されました。その他では更なる地区会の発展の為、役員一丸となり会員の拡充に向けて、名簿の確認と声掛け等による活動を進める事を申し合わせました。

その後、地区会員の親睦を図るため懇親会へと続き、10月に新庄市で開催される山形県宮陵会の成功に向けて庄内地区会員が協力して参加することを確認し20時30分閉会となりました。

### 山形県置賜地区会

平成26年7月23日

- ② 松川 河川敷
- ③ 10名
- ④ 昨年引き続き2回目の開催となりました置賜地区会ですが、晴天にも恵まれ、年代問わず、当時の思い出話に花がさき大変にぎやかで楽しい会となりました。

- ⑤ 置賜地区会ヒアパーティー
- 毎年10月頃
- ④ 大学対抗ボウリング大会
- （忘年会、新年会はやったり、やらなかつたりです。）



### 宮城県総会

平成26年11月1日

- ① 事務局次長 勇 真一郎
- ② 会長 狩野 七郎
- ③ ホテルレオパレス仙台
- ④ 30名
- ⑤ 今年度の県総会は、東北ブロック会議の関係から1週間繰り上げ、11月第1土曜日の開催となりました。

総会は、30名出席の下、今年も在校当時の応援団長小林保博氏（S37電卒）の指揮による校歌斉唱に始まり、浅野県会長の挨拶後、ご来賓の母校事務局勇次長と宮陵会狩野会長様から各々「現状と将来構想」等のご挨拶を賜り、その後、浅野県会長の議長で議事に入り、「平成25年度事業・収支決算報告」、「平成26年度事業計画（案）・収支予算（案）」が承認されました。

特に審議中、平成26年度は県宮陵会の活動を広く周知するために「ホームページ」を開設し、一定の成果が上がっていること。また、平成27年度は「東北ブロック会議の宮城開催」や母校「吹奏楽部の仙台演奏会開催」に伴う支援・協力について要請があり、具体化を図ることとしました。

議事終了後、中屋猛様（S37電卒）から「神奈川大学85年の道程」～六角橋に教育の道を拓く～の講話があり、創立者米田吉盛先生の教育に対する思いから「横浜



平成26年度 神奈川大学宮城県宮陵会総会

### 宮城県石巻地区会

平成26年7月12日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 石巻市内
- ③ 10名
- ④ 学院」が設立され、「横浜専門学校」「神奈川大学」への変遷の歴史について、改めて感銘を受けたから聴講しました。

総会終了後、懇親会に入りました。新たな顔も見受けられ、旧交を深められました。

この楽しみを会員に行き渡るよう、お互いに声掛け合せて誘い合うことを確認し最後に翌日（11月2日）開催の「全日本大学駅伝」と「箱根駅伝」のシード権獲得を目指し、応援歌を斉唱してエールを贈り、盛会のうちにお開きとなりました。

- ⑤ 1、「宮城県宮陵会総会」の開催 平成27年11月14日（土）予定
- 2、宮陵会「東北ブロック会議」の開催 平成27年11月14日（土）予定
- 3、「仙台・気仙沼・石巻・仙北」地区会議及び食卓会の開催
- 4、宮陵会事業への女性会員及び若年会員の参加意識の啓蒙
- 5、会員名簿の整備及び管理
- 6、会員間による同業種、異業種の交流及び情報交換の促進
- 7、懇親ゴルフコンペの開催（4月・10月）
- 8、その他

（1）東北ブロック会議対応  
（2）吹奏楽部仙台公演対応

### 福島県総会

平成26年11月21日

- ① 内部監査室長 増子 義典
- ② 副会長 大場 憲治
- ③ ホテル辰巳屋
- ④ 17名
- ⑤ 出席者は開催地である福島市近郊からが多く、残念ながら浜通り方面からの出席はありませんでした。藤田会長から、宮陵会員である佐藤藤平福島県知事の勇退報告があり、また、活性化の方法等が議論されました。

神大OBである、石巻市長の「亀山紘さんを囲む会」ということで、石巻地区長の神農太三郎さん（S38経）のお世話にて石巻にて開催いたしました。出席者は10名、そのうち1名は石巻市東松島在住の遠藤雅子さん（短大・商科卒）が初めて参加されました。

石巻その後の復興の状況、今後の石巻地区の地域組織活動の活性化についてなど、忌憚のない意見交換が行われました。



神奈川大学福島県宮陵会



出席された総勢26名で新潟駅前「新潟東急イン」で開催いたしました。

5月31日に開催された吹奏楽部演奏会の素晴らしい演奏の話題で大いに盛り上がりしました。

11月 第33回 総会 開催予定

### 千葉県総会

平成26年10月25日

- ① 研究支援部次長 田口 澄也
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ 居酒屋 酔虎伝
- ④ 53名
- ⑤ 大学側から研究支援部次長の田口氏、宮陵会副会長の宇野氏を迎えての「千葉の集い」であった。まず始めに本会会長の佐藤より挨拶があり、物故者7名の黙祷を行う。続いて来賓者の紹介、大学側から宮陵会からコメントを頂き、宴会となる。宴会余興（三味線フラメンコギター）では盛り上がり。箱根駅伝予選通過1位という事もあり、大学スポーツ活動の関心も高かった。宮陵会役員の



### 茨城県総会

平成26年6月15日

- ① 情報システム推進部長 田島 和久
- ② 専務理事 宇久田 進治
- ③ ホテル グランド東雲
- ④ 30名
- ⑤ 6月15日（日）開催地県南という事で、つくば市グランド東雲にて宮陵会総会を開催しました。各地区より30名の参加の中で総会、懇親会とお互いが懇親を深めさせて頂きました。また本部より宇久田専務理事、田島部長にもご出席を頂き、大学の貴重な近況報告も頂き、有意義なひと時でした。



懇親会で定例になりました自己PR紹介も個々人、独自のパフォーマンスにて毎回楽しみのひとつになりました。

今回は役員改選もあり、新会長が桜田寿一から高瀬親史に改選されたことを報告します。

7月13日（日）12時、桜田前会長の慰労会予定

水戸地区 地区会にて夏の暑気払い（7月予定）忘年会（12月予定）

東北地区 今期より新会長が東北  
なので次期開催も含めて地区会の  
動きも出てくると思われまます。  
その他の地区（県南、鹿行、県  
西）は特になし

**栃木県臨時総会**  
平成26年12月20日

- ② 宇都宮市 ザ・フレアバー  
28名
- ③ 平成26年度の総会では5月31日に実  
施済みであり、その後半年間の活  
動内容を会員に報告する。  
その中で、今年度の新規入会員、  
今回初参加会員の紹介を行う。  
また、役員（会計監事）退会・後  
任の承認を行う。（今回の臨時総  
会の主題）
- ④ 5月31日 平成26年度総会  
6月28日 2014関東学生トラ  
イアスロン選手権那須  
大会へ参加する神大生  
へスポーツドリンク差  
入れ  
8月10日 神大主催の父母懇親会  
へ出席  
11月1日 平成26年度ゴルフコンペ  
12月20日 平成26年度臨時総会・  
忘年会



**群馬県総会**  
平成26年7月5日

- ① 事務局次長 勇 真一郎  
会長 狩野 七郎  
② エテルナ高崎  
38名
- ③ 宮陵会群馬支部として再結成され  
てから10周年の記念総会となりま

す。  
これを記念して群馬東毛宮陵会の  
伊藤正幸会長をお招きしての開催  
となります。  
又、参加者に神大グッズの記念品  
を贈ります。

**群馬東毛総会**  
平成26年6月28日

- ① 教育支援センター事務部長  
理事 松岡 博之  
会田 彰
- ② 太田グランドホテル  
23名
- ③ 昭和30年卒から平成20年代まで幅  
広い年令の参加者により平成26  
年度総会が行われ25年度事業、会計  
報告及び26年度事業計画 予算の  
賛同を以て承認された。
- ④ 宮陵会本部、大会当局からは会田  
様、松岡様のご来席を頂き新同窓  
会の計画や学生の文化・体育活動  
の状況も報告頂き、特に先の全日  
本大学野球選手権大会の準優勝を  
弾みに箱根駅伝での悲願のシード  
権に向かつての期待が高まった。  
会田様、松岡様には遠路お越し下  
さり、大変ありがとございました。  
⑤ 懇親会も和やかに進み、歓談・カ  
ラオケ等で盛り上がり、最後に神



大校歌の大合唱で今年の活動の推  
進に向かつて終宴となった。  
4月 新年度第1回役員会  
6月 太田市 大学交流ゴルフ大会  
群馬東毛宮陵会平成26年度  
総会  
⑤ 太田市 大学ジャズフェス  
ティバル・神大カレッジサ  
ウンズオーケストラ出演  
9月 第2回役員会  
10月 群馬東毛宮陵会親睦ゴルフ  
神大ホームカミングデー参加  
11月 大学箱根駅伝 応援  
群馬東毛宮陵会新年会  
その他適宜親睦イベントを  
計画し活動の幅を広げるこ  
ととする。

**静岡西部総会**  
平成26年9月19日

- ① 国際センター事務部長  
理事 池原 治  
会田 彰
- ② オークラクトシティ浜松  
29名
- ③ 本年度は宮陵会より会田様、大学  
より池原様をお迎えし、総会及び  
懇親会を開催致しました。また、  
特別講演会として浜松では観光寺  
院として有名な龍潭寺の住職であ  
る武藤氏（昭和53年工学部卒）を  
お迎えし、歴史上でも有名な名門  
井伊家の出身にまつわる話をいた  
だきました。
- ④ 懇親会では、同窓生が所属するベ  
リ・ダンスの素晴らしい踊りを鑑  
賞するなど、和やかな雰囲気の中、  
楽しく親睦を深める事が出来  
ました。



⑤ 年間に4回（6月、7月、9月、  
11月）神大ミーティングを開催  
し、総会の打ち合わせや宮陵会活  
性化について意見交換を行って  
います。  
また、上記以外に女性部役員会を  
開催し、今後の女性部活性化につ  
いて話し合っております。

**愛知みやも会総会**  
平成26年6月21日

- ① 事務局次長兼平塚事務部長  
専務理事 佐藤 武  
② 東京第一ホテル錦  
20名
- ③ 本年度総会は、6月21日（土）に大  
学宮陵会より佐藤武様の出席を賜  
り、東京第一ホテル錦にて開催し  
た。総会では、会長が議長を務め  
各議案の説明、報告をし、承認され  
ました。当会が昭和11年に設立さ  
れ、2年後には80周年を迎えま  
す。伝統ある当会をますます活性  
化し、卒業生の結束をより強くす  
る為、記念総会の開催を実施出来  
る様、宮陵会のごさらなる援  
助をお願いする事を依頼しました。  
又、愛知県南部卒業生にも、参加  
出来る様に秋頃に県人会（南部中  
心）を開催し、総会参加増を計る  
ことを報告された。その後、佐藤  
様より、大学の現状を報告して戴  
き、懇親会に入りました。
- ④ 春期ゴルフコンペ  
⑤ 春期役員会  
・初夏ゴルフコンペ  
・定時総会  
・秋期ゴルフコンペ



・愛知県南部地域限定懇親会  
（予定）  
⑤ 平成26年9月20日

**岐阜県総会**  
平成26年9月20日

- ① 学修進路支援部第二部（就職）  
事務部長 大塚 順子  
副会長 吉村 時子  
岐阜キャススリン  
25名
- ② 会長挨拶に続き大学、宮陵会ご来  
賓の方よりそれぞれの近況と今後  
についてご説明を頂きました。そ  
の後、収支報告、監査報告、役員  
紹介とスミーズに進行し、総会を  
終了しました。
- ③ 写真撮影後、懇親会に移り、歓談  
の中で当総会出席者が勤務する瑞  
浪市の中京高校が全国軟式野球で  
記録に残る延長戦を制し優勝した  
こと。また、全日本大学駅伝（伊  
勢路 出場決定など、なごやかな  
雰囲気や盛況のうちに終えること  
ができました。
- ④ 平成26年9月20日 総会終了後第  
1回役員会開  
催  
次年度活動計  
画と概略日程  
を決定  
第2回役員会  
開催



専務理事 佐藤 武  
⑤ ホテルグリーンパーク津  
19名  
④ 本年度の通常総会を、例年通り津  
駅前「ホテルグリーンパーク津」  
にて開催いたしました。  
③ 神奈川大学宮陵会からは、専務理  
事佐藤武様のご出席をいただき、  
現在の大学・宮陵会の現状につ  
いてのお話をいただきました。

**三重県総会**  
平成26年5月25日

- ① 事務局次長兼平塚事務部長  
9月 総会開催  
9月 総会準備事  
項の打合せ
- ② 情報発信・神奈川大学三重県宮  
陵会HPでの情報発  
信とメールの活用を  
推進する  
アドレス登録者には  
メールの送受信によ  
る情報交換をおこな  
う  
総会報告・交流会案  
内・報告はHP掲載  
とメール配信による  
・年1回会員確認も兼  
ねて文書にて「総会



案内」及び「Mm  
NEWS」を送る

（2014年）

4月27日 第36回 交流会予定  
4月下旬 第1回 役員会・総会  
準備

5月25日 総会・懇親会（ホテル  
グリーンパーク連）

6月中旬 第13号 Mm NEWS  
発行

7月下旬 第37回 交流会  
8月下旬 第37回 役員会・交  
流会準備

10月下旬 第38回 交流会  
11月初旬 第46回 全日本大学  
伝対校選手権大会・沿  
道応援

2014年前期  
「全国地域組織代表者会議」  
2014年後期  
「神奈川大学後援会父母懇談会」  
（2015年）

1月2〜3日 ※第91回箱根駅伝  
1月下旬 第39回 交流会  
3月下旬 第3回 役員会・総会準備

**大阪府総会**

平成26年9月20日

① 理事 事務局長 小林 孝吉  
副会長 宇野 峰雪

② ハートンホール及びハートンホテ  
ル

③ 46名

④ ・今年、本会が再建総会から30  
年を迎えたことから、「再建30  
周年記念総会」として開催し  
た。記念事業の一環として初め  
て会報を発行し、総会参加者に  
配布すると共に全会員に送付す  
ることとした。

・総会では役員の改選に伴い、新  
任役員2名を含め会長以下新役  
員を選任し本会の更なる発展を  
期して新体制がスタートした。

・講演会では、学校法人の理事で  
事務局長の小林孝吉氏による  
「神奈川大学の現状と将来構想  
について」の講演をいただき、躍  
進する母校の大きなビジョン  
に出席者全員が感銘を受けた。

・懇親会では平成卒5名の精鋭



と家族参加の6名を加えて総勢  
46名の出席となり大いに盛り上  
がり、和やかな雰囲気の中、懇  
親の輪が広がり本会の明日を確  
信した。

⑤ 1、再建30周年記念総会  
平成26年9月20日

2、再建30周年記念事業  
会報の発行その他

3、近畿ブロック会議に参加（幹  
事・兵庫県）

4、地区会（北摂会・志年会の  
開催

平成26年7月13日

5、各種同好会の活動  
平成26年12月6日（土）予定

① ひろく旅する会 国内・  
海外で検討中

② スポーツ同好会 会長林  
ゴルフコンペの開催（年3回  
予定）

6、宮陵会関西倶楽部定例会の開  
催（毎月第4金曜PM6時より  
大阪市北区 毎日インテネオ  
「Lounge」にて

7、神奈川大学後援会主催の地区  
父母懇談会に出席  
平成26年7月5日 大阪第一  
ホテル

年間を通じて、近畿地区内  
で開催される母校出場の諸大会  
への応援参加  
（サッカー・シヨートトラッ  
クスビードスケート等）

箱根駅伝応援の集い（大阪に  
て）

**和歌山県総会**

平成26年6月14日

① 管財部長 金丸 嘉男  
理事 会田 彰

② ホテルグランヴィア和歌山  
19名

③ 興会長の挨拶で始まり神奈川大管  
財部長丸部長より、大学の歴史資  
料室の公開、女子寮や新しい学部  
の創設等中期実行計画についての  
説明がありました。

④ 宮陵会会田理事からは、宮陵会総  
会の模様、宮陵会会館の建設、ス  
ポーツ振興策、寄附金問題等の説  
明がありました。

⑤ 懇親会は参加者19名と少なかつた  
が、例年通り和気語で楽しく時  
を過ごし、来年（6月27日）の再  
会を期しました。

なお役員改選があり、新たに会長  
に森川知治氏、幹事に木下二郎  
氏、会計幹事に松本好史氏が選ば  
れました。

⑥ H26年度予定  
H26・9月1日 会報「神和会」  
23号発行

⑦ H26・10月 ゴルフ大会  
（予定）

⑧ H27・2月 新年会（予定）  
H27・6月27日 神奈川大学和歌  
山県宮陵会総会



**奈良県総会**

平成26年9月27日

① 図書館事務部長 堀江 美由紀  
副会長 吉村 時子

① 榎原観光ホテル  
7名

② 26年度総会は新たな試みとして、  
会員体験談「私が見た日本と外  
国の違い」と題して講話を頂い  
た。参加者から興味を湧かす話  
非常に良かったとの好評を得た。

③ 次年度以降も継続できるよう努力  
することを決定、ただ27年度は近  
畿ブロック会議の担当幹事である  
ことから他の催しとなることを  
報告。

④ なお、27年度ブロック会議は新た  
な方法で実施されることを報告し  
了解を得た。

⑤ 総会 9月末〜10月初



**京滋総会**

平成26年6月22日

① 事務局次長兼平塚事務部長  
専務理事 佐藤 武

② 京都新阪急ホテル  
21名

③ ・支部総会で昨年度の事業報告・  
会計報告及び監査報告、役員改  
選等議題はすべて承認されまし  
た。

④ ・神奈川大学名誉教授北岡先生に  
よりご講演をしていただきました。

⑤ ・その後懇親会では、兵庫宮陵会  
より1名、大阪府宮陵会より1  
名のご参加もいただき懇親を固  
めていただきました。

⑥ ・毎年総会と新年会だけの活動で  
あり参加人数も少なく今後の活  
動の在り方について役員の間で  
議論を重ねております。その一

**岡山県総会**

平成26年5月17日

① 広報部長 水上 晃  
副会長 吉村 時子

② ホテルエクセル岡山  
32名

③ 第14回岡山県宮陵会総会は今  
年で14回目となる総会には32名が参  
加。

④ 同日に行われたゴルフ大会も、天  
候にも恵まれ、楽しくまわるこ  
とができました。

⑤ 毎回、新しい方の参加があり、懇  
親会では、交流を深めることがで  
きました。



**山口防長総会**

平成27年2月21日

① 事務局次長兼平塚事務部長  
専務理事 佐藤 武

② 山口グランドホテル  
21名

③ 佐藤専務理事を迎え、学校、宮陵  
会本部の近況説明を受け、卒業生  
として誇りが持てました。今回は  
駅伝チームの現状と将来像を知る  
ため、元陸上部、現在の陸上部支  
部で活躍している、河上康雄氏の  
具体的な話を聴くことにしまし  
た。箱根の成績が気になる。講演  
後の質問や叱咤激励もあり来年に  
大いに期待することができた。

④ 初めて参加した者、数年ぶりに参  
加した者と近年にない盛り上がり  
があった。

⑤ 9月 周南地区発足会  
28年2月 総会



**鳥取青総会**

平成26年7月5日

① 健康科学スポーツ支援部長  
辻 洋一





**鳥取因幡総会**  
平成26年8月23日

① 事務局次長兼平塚事務部長  
27年1月2日 新年互礼会、箱根  
駅伝テレビ応援  
訪問(数名予定)  
神大フェスタへの

② 副会長 宇野 峰雪  
③ 米子ニューアールホテル  
④ 宮陵会より副会長宇野峰雪様、大  
学より健康科学スポーツ支援部長  
辻洋一様の両名をお迎えいたし、  
第26回総会を開催しました。本年  
度は役員改選も行われ新役員によ  
る、益々の活動が期待されます。  
第7回目を迎える特別講演とし  
て、48年経済学科卒の米子市議会  
議員村井正氏による「米子市政の  
今後」を会員一同、有意義に拝聴い  
たし、場は懇親会へ移りました。  
⑤ 26年7月5日 総会、懇親会  
26年11月1日、2日 総会、懇親会



**鳥根県総会**  
平成27年1月31日

① 学修進路支援部第一部(教務)  
事務局次長 吉原 勇樹  
② 専務理事 平能 孝一  
③ 大橋館  
④ 23名  
⑤ 26年5月15日に亡くなった赤水芳  
仁前会長へ黙祷を捧げた後、坪内  
邦至新会長を選任しました。  
大学、宮陵会より大学の近況報告  
を受けた後、杯を交わして懇親会  
を深めました。  
⑥ 新年会を兼ねた総会が同窓生の集  
まる場所になっています。出雲市  
で開催される駅伝に駅伝チームが  
参加する機会には県下から卒業生  
が応援に来る為、箱根の一層  
の健闘を望みます。

**香川県総会**  
平成27年1月3日



① 事務局次長 勇 真一郎  
② オークラホテル高松  
③ 45名  
④ 平成27年1月3日(土) 正午から  
香川県宮陵会総会を開催した。  
総会終了後、写真撮影を行い午後  
1時から懇親会を実施。  
⑤ 箱根駅伝復路を会場大型スクリー  
ンで応援観戦した後、初めて参加  
した3人の紹介を始めて神大グ  
ッズ争奪のジャンケンゲームやカ  
ラオケなど会員相互の親睦と交流  
を深め合った。参加者を増やして  
いくには、会員の一人ひとりが友  
人・知人を勧誘していくことが大  
切であると改めて実感した総会で  
あった。

27・1・3 総会・懇親会  
会報「神大レポート  
第11号」を発行

11・8・9 第20回四国プロ  
ツク会議・交流会に  
参加  
4・26 役員会の開催  
9・7 2014日本学生ト  
ライアスロン選手権  
10・18・19 観音寺大会応援  
神奈川大学訪問  
(香川県宮陵会とし  
てホームカミングデ  
ー参加)

① 会報「神大レポート  
第10号」を発行  
② 香川丸亀国際ハーフ  
マラソン大会応援  
③ 四国新聞「あの日あ  
の時」に総会写真を  
掲載  
④ 26・1・3 総会・懇親会  
⑤ 会報「神大レポート  
第11号」を発行



平成27年1月3日神奈川大学 香川県宮陵会総会 (オークラホテル高松)

**愛媛県宇和島地区**  
平成26年6月14日



① 施設部長 飯田 泰弘  
② 専務理事 平能 孝一  
③ 国際ホテル松山  
④ 16名  
⑤ 2月 香川丸亀国際ハーフ  
マラソン大会応援  
4月 役員会  
5・8月 夏季親睦行事  
9月 2015日本学生ト  
ライアスロン選手権  
11月 観音寺大会応援  
四国プロツク会  
(愛媛県)

**愛媛県総会**  
平成27年2月14日

① 施設部長 飯田 泰弘  
② 専務理事 平能 孝一  
③ 国際ホテル松山  
④ 16名  
⑤ 2月 香川丸亀国際ハーフ  
マラソン大会応援  
4月 役員会  
5・8月 夏季親睦行事  
9月 2015日本学生ト  
ライアスロン選手権  
11月 観音寺大会応援  
四国プロツク会  
(愛媛県)

**愛媛県大洲・喜多・八西総会**  
平成27年1月17日

① 事務局次長兼平塚事務部長  
② 専務理事 佐藤 武  
③ ホテル日航高知旭口イヤル  
④ 26名  
⑤ 文化講演会 高知県田野町長(S  
45貿易卒)  
「神奈川大学を卒業してからの私  
の人生」を演題にして役場での仕  
事、ライフワークの空手道場の設  
立43年間を中心に面白く話しをい  
ただいた。  
⑥ 10月の高知県宮陵会  
宮陵会有志による親睦ゴルフ大会  
の実施



① 事務局次長兼平塚事務部長  
② 専務理事 佐藤 武  
③ ホテル日航高知旭口イヤル  
④ 26名  
⑤ 文化講演会 高知県田野町長(S  
45貿易卒)  
「神奈川大学を卒業してからの私  
の人生」を演題にして役場での仕  
事、ライフワークの空手道場の設  
立43年間を中心に面白く話しをい  
ただいた。  
⑥ 10月の高知県宮陵会  
宮陵会有志による親睦ゴルフ大会  
の実施

**高知県宮陵会**  
平成26年10月4日

① 事務局次長兼平塚事務部長  
② 専務理事 佐藤 武  
③ ホテル日航高知旭口イヤル  
④ 26名  
⑤ 文化講演会 高知県田野町長(S  
45貿易卒)  
「神奈川大学を卒業してからの私  
の人生」を演題にして役場での仕  
事、ライフワークの空手道場の設  
立43年間を中心に面白く話しをい  
ただいた。  
⑥ 10月の高知県宮陵会  
宮陵会有志による親睦ゴルフ大会  
の実施

**福岡県総会**  
平成26年7月12日

① 事務局次長兼平塚事務部長  
② 専務理事 佐藤 武  
③ 華風 福寿飯店  
④ 18名  
⑤ 日頃より役員一体となって、新会  
員の参加獲得に努めてきたこと  
で平成26年総会参加会員の半数以  
上が平成卒業生と現役世代とな  
り、いっしょ以上に活気ある会とな  
りました。今後も気軽に参加しや  
すいイベントを企画して少しずつ  
総会の参加者を増やしたいと思  
います。

① 事務局次長兼平塚事務部長  
② 専務理事 佐藤 武  
③ 華風 福寿飯店  
④ 18名  
⑤ 日頃より役員一体となって、新会  
員の参加獲得に努めてきたこと  
で平成26年総会参加会員の半数以  
上が平成卒業生と現役世代とな  
り、いっしょ以上に活気ある会とな  
りました。今後も気軽に参加しや  
すいイベントを企画して少しずつ  
総会の参加者を増やしたいと思  
います。

① 事務局次長兼平塚事務部長  
② 専務理事 佐藤 武  
③ 華風 福寿飯店  
④ 18名  
⑤ 日頃より役員一体となって、新会  
員の参加獲得に努めてきたこと  
で平成26年総会参加会員の半数以  
上が平成卒業生と現役世代とな  
り、いっしょ以上に活気ある会とな  
りました。今後も気軽に参加しや  
すいイベントを企画して少しずつ  
総会の参加者を増やしたいと思  
います。



平成26年7月12日



8・9・10  
 ・本番 平成26年11月15日  
 ・神奈川大学父母懇談会  
 平成26年9月7日  
 ・他地区事業 筑豊宮陵会親善コ  
 ルフ 平成26年4月2日  
 ・九州ブロック会議（宮崎）  
 平成26年10月25日  
 ・九州ブロック会議ゴルフ  
 平成26年10月26日  
 ・北九州宮陵会総会  
 平成26年11月  
 ・筑豊宮陵会 平成27年2月  
 ・本学・宮陵会本部・本学サーク  
 ルからの申請イベント

**筑豊総会**  
 平成27年2月15日

- ① 秘書室長 瀬田 高央  
 理事 橋本 正俊  
 料亭「佐賀屋」  
 23名
- ② 2月15日、日曜正午から恒例とな  
 りました料亭「佐賀屋」にて総会  
 を開催致しました。
- ③ 昨年は16名でしたので、一人でも  
 多くの参加を目指した結果、北九  
 州宮陵会から5名、福岡宮陵会か  
 ら3名の友情参加があり、総勢23  
 名の出席で大いに語り、3時間が  
 あっという間に過ぎました。
- ④ 福岡、北九州の皆さんのよきこい  
 りで盛り上がり2次会も11名の参  
 加で来年の箱根駅伝の奮起を期待  
 して6時過ぎに散会となりました。
- ⑤ 4月2日(水) 福岡、北九州、筑豊  
 三地区対抗ゴルフ  
 会 西日本カントリー



7月12日 福岡宮陵会総会  
 10月25、26日 九州ブロック会議  
 リークラブ  
 8名参加  
 及びゴルフ会  
 3名参加  
 11月29日 北九州宮陵会総会  
 2名参加  
 12月18日 役員会開催 5名参加

**北九州総会**  
 平成26年11月29日

- ① 事務局次長 勇 真一郎  
 専務理事 平能 孝一  
 25名
- ② ホテル クラウンパレス小倉
- ③ 今年、総会前に「成年後見人制  
 度について」と題して司法書士を  
 招いて講演をして頂きました。皆  
 さんの関心が高く、沢山の質問が  
 ありました。
- ④ 懇親会では、「神奈川大学福岡宮  
 陵会応援隊」のメンバーが、神大  
 の校歌をアレンジした曲にあわせ  
 てよさこい踊りを披露してくれま  
 して、おおいに盛り上がりまし  
 た。
- ⑤ また、3月に北九州、筑豊、佐世  
 保の会員有志による、パンコクの  
 訪問、パンコク宮陵会との交流が  
 なされ、パンコク宮陵会会長「大  
 橋寅治郎氏（S38貿易）」（タイ日  
 本人会会長）」との会談の報告が  
 なされました。
- ⑥ 平成27年  
 2月2日(月) 企画委員会  
 事務局  
 3月28日(土) 役員会（観桜会）  
 観山荘別館  
 4月6日(月) 企画委員会  
 事務局  
 6月1日(月) 企画委員会



8月3日(月) 事務局  
 企画委員会  
 九州ブロック会議  
 9月 鹿兒島大会 鹿兒  
 島宮陵会担当  
 10月5日(月) 企画委員会  
 事務局  
 11月7日(土) 役員会  
 ホテル クラウン  
 パレス小倉  
 11月28日(土) 神奈川大学北九州  
 宮陵会総会  
 ホテル クラウン  
 パレス小倉  
 12月7日(月) 企画委員会  
 事務局

**佐賀県総会**  
 平成26年7月21日

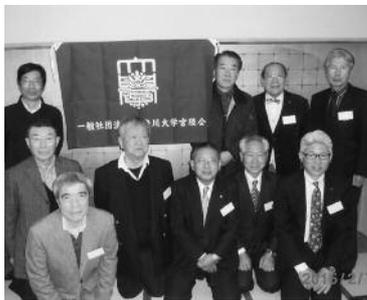
- ① 研究支援部次長 田口 澄也  
 理事 古川 勝彦  
 12名
- ② グランデ はがくれ
- ③ 上記来賓お二人のご臨席を賜り、  
 宮陵会本部及び大学の最新情報を  
 ご提供頂きました。
- ④ 今回は、本会に長年の功績があつ  
 た村松前事務局長の本部からの感  
 謝表彰が伝達され、終始和やかな  
 総会となりました。
- ⑤ また、初参加者も2名加わり、予  
 算、決算、本会規約の改正につい  
 ての議案を原案どおり全会一致で  
 承認可決、今後に繋がる総会とな  
 りました。
- ⑥ 支部総会（欠席者には資料の送



九州ブロック会議宮崎大会への参加  
 最新名簿による支部会員の振り起し  
 付)

**長崎総会**  
 平成27年2月7日

- ① 事務局次長 勇 真一郎  
 副会長 大場 憲治  
 9名
- ② 更紗
- ③ 本年度は昭和54年法律学科卒の林  
 田義史さんが長崎市万屋町で経営  
 する日本料理「更紗」での総会開  
 催でした。
- ④ 大学からは勇事務局次長、本部か  
 らは大場副会長に御出席いただき  
 ました。高名会長からの銘酒の差  
 入れもあり、皆さん程よく酔いも  
 まわり親睦も深まったようです。
- ⑤ 平戸市、松浦市、杵岐市、対馬  
 市、上五島町在住の会員は、距離  
 的に佐世保宮陵会の所属と思われ  
 ますので、本部を交えたすり合わ  
 せが必要です。
- ⑥ 今年の鹿兒島での九州ブロック会  
 議には長崎宮陵会としてできるだ  
 け補助をしますので、去年の宮崎



**佐世保総会**  
 平成26年2月6日

- ① 事務局次長 勇 真一郎  
 副会長 大場 憲治  
 10名
- ② 佐世保第一ホテル
- ③ オプザーバーとして九州ブロック  
 会会長、津田滋様（来佐3度目）  
 を迎え午後6時、平成26年度、取  
 支報告を進め、神奈川大学事務局  
 次長、勇真一郎様（昨年に続き）  
 より大学入試時に拘わらず来佐、  
 箱根駅伝に関するお詫びと説明  
 大学現状報告、宮陵会副会長大場  
 憲治様より今年の受験希望者数等  
 についてお話などありました。
- ④ 懇親会に入り、併せて活動報告  
 平成26年3月24日から28日、北九  
 州宮陵会、筑豊宮陵会一行（同  
 行）とパンコク宮陵会交流、パン  
 コク大橋会長、鈴木事務局長との  
 会話は喜んでいただきました。及  
 び平成26年10月25日、第38回九州  
 ブロック宮崎大会報告を致しまし  
 た。終始盛り上がり、次回鹿兒島  
 大会参加人数増えそうな雰囲気で  
 した。



平成27年2月28日鶴屋百貨店カ  
 ーネーションサロンにて神奈川大学  
 熊本宮陵会の60周年記念総会を  
 開催いたしました。宮陵会より宇  
 野副会長、大学より田島課長をお  
 迎えして総勢37名の総会となりま  
 した。

**大分県宮陵会**  
 平成26年9月13日

- ① 総務部次長 能重 幸夫  
 専務理事 平能 孝一  
 ホテル キャッスル大分  
 28名
- ② 総会を平成26年9月13日に開催し  
 ました。
- ③ 大学の近況報告、宮陵会本部報  
 告、平成25年度の大分での事業報  
 告、会計報告、監査報告の後、懇  
 親会も行いました。
- ④ 大分の会員の出席者は28人でした。  
 1、会準備役員会（平成26年6月  
 21日）の開催。  
 2、平成26年9月13日 平成26年

**熊本県総会**  
 平成27年2月28日

- ① 経営政策課長 田島 陸浩  
 副会長 宇野 峰雪
- ② 鶴屋百貨店カーネーションサロン



度神奈川大学大分県宮陵会総会の開催。  
3、平成26年10月25日・26日九州地区宮陵会ブロック会議宮崎大会及びゴルフ会に参加。

### 鹿児島県総会 平成26年11月9日

- 1 事務局長兼平塚事務部長 専務理事 佐藤 武
- 2 鹿児島県東急イン 21名
- 3 平成26年11月9日(日) 昨年と同じ鹿児島東急インにて総会を開催した。
- 4 今回も日曜日であったが出席者数は少なめであった。



### 同学会大連総会 平成26年9月13日

1 事務局長 勇 真一郎

当県宮陵会の総会出席人数は毎年同じ人数位のくり返しであるが、現会長よりそろそろ執行部の若返りをしようという提案があり、来年九州ブロック会議が当鹿児島県である機会に役員交替する方向で進める事となった。  
最後に来年のブロック会議の実行委員長に山中憲幸氏(S60建築卒)を任命し、鹿児島大会の成功を期して終了した。



### 磯子区総会 平成27年1月25日

- 1 国際センター事務部長 池原 治
- 2 専務理事 宇久田進治
- 3 横浜市社会教育コーナー 15名
- 4 平成27年1月25日(日) 午後2時より5時まで、横浜市社会教育センターで磯子区宮陵会 平成26年度総会が行われました。

- 1 理事 内藤 正久
- 2 日本料理「大和」 15名
- 3 秋山憲治教授(経済学部)の講演会も同時に開催しました。講演会は、会員以外にも公開して行い、会員も含め約50人が聴講しました。大連の大学教員や大学生も多数が参加しました。
- 4 経営学部3年生で東北財経大学に交換留学中の大崎祐輔君も参加。  
大崎君と交換で来年4月から神大へ留学する秦玉珠さんも参加しました。さらに、神大への留学に興味を持っている東北財経大学4年生の高冉さんにも参加してもらいました。
- 5 会員による食事で交流を深めました。

### 神奈川地区総会 平成26年12月6日

- 1 学生生活支援部事務部長 村川 浩幸
- 2 副会長 宇野 峰雪
- 3 神奈川大学横浜キャンパス8号館 841教室
- 4 今年も若い世代の出席を得られ、幹事にも期待できる人材を確認でき、収獲のある総会となりました。大学からは学生部事務部長村川氏、本部からは宇野副会長の出席を賜り、懐かしい8号館41教室で総会を行いました。
- 5 総会では、収支決算報告、活動報告から始まり、予算、活動計画まで滞りなく承認されました。懇親会場も思い出深き10号館2F食堂に移し、来賓の村川事務部長より大学の学生の課外活動を主に報告いただき、本部からは宇野副会長より宮陵会の現状をお知らせいただきました。その後宴会に移り、学生ロスガトスによるスペイン舞

国際センター事務部長池原治様、宮陵会専務理事宇久田進治様を迎え、会員15名の参加のもと、総会が執り行われました。  
議事は26年度事業報告・決算報告・監査報告と進み、平成27年度の事業計画・予算計画を審議いたしました。役員改選があり、長田会長が退任され、条新会長が選出されました。  
今回は、講演会等は行わず、懇親会が和やかな雰囲気の中、会員相互の親睦・意見交換が行われました。  
平成27年1月 通常総会  
原則毎月 定例会  
(磯子区杉田劇場 会議室)

### 保土ヶ谷・旭区総会 平成26年6月28日

- 1 事務局長兼平塚事務部長 佐藤 武
- 2 神奈川大学横浜キャンパス1号館 804会議室
- 3 飯田事務局長の司会進行により開催、山下会長の挨拶、出席者の自己紹介の後、杉野副会長の議長に選出され、議事に入った。平成26年度活動及び決算・監査報告、平成26年度事業計画 予算案ともに審議の結果、原案どおり承認された。
- 4 総会への出席者は相変わらず少ないが、新規参加者が4名あつたこと、平成20年卒業生の若手が参加されたことは、先行きに明るい兆しと期待しています。今後、より多くの参加となるよう総会以外の企画を計画していきたいと考えています。



### 戸塚・栄区宮陵会 平成26年4月12日

- 1 事務局長兼財務部長 永和田 隆一
- 2 専務理事 平能 孝一
- 3 神奈川大学横浜キャンパス1号館 301会議室
- 4 大学より永和田事務局長、宮陵会より平能専務理事の御出席を頂き、母校にて開催いたしました。審議事項は無事承認され、総会終



### 横浜北総会 平成26年5月17日

- 1 秘書室長 瀬田 高央
- 2 専務理事 平能 孝一
- 3 神奈川大学横浜キャンパス1号館 502会議室
- 4 総会では25年度の事業報告、会計並びに監査報告、26年度の事業計画及び収支予算等議案はすべて承認されました。  
ご臨席賜りました瀬田室長より大学の現状説明があり、特に吹奏楽部、硬式野球部、陸上競技部、水泳部、山岳部、レスリング部などの活躍に驚かされました。
- 5 終了後、完成しました新3号館を見学して、19号館ラックスホールにて懇親会を開催いたしました。  
I 重点施策





会員の増強と事業の更なる充実をはかるため年4回の役員会を開催する。

- II 一般施策
- 1、役員会、懇親会の開催
- 2、会員相互間親睦のための施策（旅行、ウォーキング、囲碁、将棋など趣味の会）
- 3、文化・教養講座の開催
- 4、社会・地域貢献としての活動
- 5、「東京箱根間往復大学駅伝」の応援
- 6、定時総会（第8回）の開催
- 7、大学・宮陵会本部が開催する行事への参加

**港区総会**

平成26年4月12日

- ① 事務局次長兼財務部長 永和田 隆一
- ② 専務理事 平能 孝一
- ③ 神奈川大学横浜キャンパス1号館8階会議室
- ④ 総会は庄子忠宏会長の挨拶、25年度事業報告、決算報告、監査報告、26年度事業計画、予算案を承認。総会の前に新3号館の施設を見学。特に大学の歴史展示ホールは楽しく見せていただいた。懇親会は8階の学食で戸塚・栄区宮陵会と合同で開催。こちらも楽しく交流しました。
- ⑤ 5月 大岡川清掃ボランティア活動



区内進会員を招待しての交流納涼会

- 10月 箱根駅伝予選会応援
- 11月 開校の地を訪ねるシリーズ 大倉精神文化研究所 創立者米田吉盛先生の墓参
- 12月 箱根保養所で忘年会
- 1月 箱根駅伝応援・権太坂と箱根山頂

**相模原総会**

平成26年11月22日

- ① 事務局次長兼財務部長 永和田 隆一
- ② 理事 橋本 正俊
- ③ 江戸前寿司 近成
- ④ 26名
- ⑤ 高橋一行氏の進行により総会が開催された。

- 1、会長挨拶 会長 桐生 忠一氏 挨拶の中で、相模原宮陵会の活性化を図るため、市役所の本学出身者との協同や大学職員の積極的参加（本学出身者に限らず）の必要性についてお話があった。
- 2、来賓挨拶 宮陵会理事 橋本 正俊 氏
- 3、大学の近況報告 事務局 永和田 隆一 氏
- 4、議長選出 慣例に基づき桐生会長が議長として選出された。
- 5、総会議題



（2）予算案・事業計画（案）について【承認】

- （3）会則の改正について【承認】
- （4）役員改選【承認】また、今回の現役職者以外参加者全員が、幹事として就任することについて諮り、全会一致で承認した。
- 閉会の辞 副会長 菊池 則男氏 総会後に懇親会を開催し、会員相互の親睦を図った。
- ⑤ 1、箱根駅伝応援・新年会 平成27年1月2日、3日 箱根湯本駅前、応援ポイント 新年会 かつば天国
- 2、近隣宮陵会との交流
- 3、総会・懇親会
- 4、その他

**秦野市総会**

平成26年6月29日

- ① 図書館事務部長 堀江 美由紀
- ② 専務理事 平能 孝一
- ③ グランドホテル神奈中『東光苑』13名
- ④ 平成26年度総会は、会（旧名称・秦野支部）活動再開後三回目となり、前回同様、交通の便がよい場所で開催しました。開催通知の方法は、往復はがきを送付しました。回を重ねるごとに、出欠回答が増え、出席者も微増し、それな



りに意義のある総会となりました。

- ① 神奈川大学秦野市宮陵会総会（6月29日）
- ② 神奈川大学秦野市宮陵会親睦旅行（9月中旬）
- ③ 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス大学祭（平塚祭）宮陵会ブース出展支援（10月25日、26日）
- ④ 第91回東京箱根間往復大学駅伝競走沿道応援（1月2日、3日）

**箱根町総会**

平成26年9月25日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 箱根町湯本 ホテルおかだ 7名
- ③ 平成26年度総会を箱根町湯本のホテルおかだを会場として開催いたしました。
- ④ 平能専務理事にご来席頂き、宮陵会の一般社団法人化等の運営に



ついでご説明をいただきました。又、学生の駅伝等諸活動のご報告があり、箱根駅伝への応援を地元としてもっと盛り上げる活動の活性化を図ることとしました。

- ① 箱根駅伝応援
- ② 箱根町宮陵会総会開催
- ③ 箱根駅伝応援については、例年同様に応援ポイントとなっている平塚湘南海岸公園付近の沿道にて1/25/1/3の両日実施。
- ④ 復路の応援終了後、ホテルのマイクロパスにて総会及び新年懇親会場へ移動。副会長原田恵介氏の司会進行で開会、会長挨拶、来賓紹介に続き黒部事務局長より事業計画（案）等の説明、副会長兼会計二見氏から会計報告を説明、会員拡大の継続的推進、交流事業の検討、大学事業への協力説明を行い承認された。
- ⑤ 総会終了後、ゴール迄、スクリーンにて応援、にぎやかに懇親会を実施しました。

**平塚市総会**

平成27年1月3日

- ① 総務部長 原田 浩行
- ② 専務理事 佐藤 武
- ③ ホテルサンライフガーデン 石垣 26名
- ④ 箱根駅伝応援については、例年同様に応援ポイントとなっている平塚湘南海岸公園付近の沿道にて1/25/1/3の両日実施。
- ⑤ 復路の応援終了後、ホテルのマイクロパスにて総会及び新年懇親会場へ移動。副会長原田恵介氏の司会進行で開会、会長挨拶、来賓紹介に続き黒部事務局長より事業計画（案）等の説明、副会長兼会計二見氏から会計報告を説明、会員拡大の継続的推進、交流事業の検討、大学事業への協力説明を行い承認された。



平成27年1月3日（土）ホテルサンライフガーデン

- 2、平塚市宮陵会事業
- 3、宮陵会事業の協力
- 4、全国支部長会議に参加
- 5、箱根駅伝応援

**西多摩総会**

平成26年10月5日

- ① 管財部長 金丸 壽男
- ② 専務理事 平能 孝一
- ③ パレスホテル立川 5名
- ④ 駅伝予選会前に総会を開催しました。
- ⑤ 会員の予選会への期待や関心が高いが会合への参加者は限定されています。



・宮陵会と大学からの資料の限定  
会員への発送

### 南足柄総会

平成26年6月14日

- ① 事務局次長兼平塚事務部長  
専務理事 佐藤 武
  - ② 南足柄市女性センター会議室  
11名
  - ③ 平成11年6月の設立総会後、今回  
で16回目の総会を無事終了するこ  
とができました。
  - ④ 発足以後、当会に貢献された前支  
部長（神部秀さん）が感謝表彰を  
受けられましたこと大変、有難く  
思います。
  - ⑤ 新会長（山本俊雄さん）も2年目に  
入り、活動をより充実させたいと  
の考えでありますので、宮陵会本  
部の力添えをお願いいたします。
- 1、会則に基づき、名簿の整理及  
び会報の発行
  - 2、会員相互の親睦行事の計画
  - 3、東京箱根間往復駅伝競走の応  
援
  - 4、その他、必要に応じて行事を  
行う。



### 三浦半島総会

平成26年6月15日

- ① 施設部長 飯田 泰弘  
副会長 宇野 峰雪  
横須賀セントラルホテル  
50名
- ② 総会では、事業報告及び収支決算  
報告を例年通り提出し、会則の変  
更については、「75歳以上の会員  
については、10,000円納付  
で終身会員となる。」との変更を  
提案し、いずれも承認可決をしま  
した。
- ③ 総会の都度、講演を行っています  
が、今回も神奈川大学卒前内閣官  
房副長官の斉藤劉氏による「首相  
官邸のよもやま話」と題して、講  
演をいただき、大変好評でありま  
した。
- ④ 懇親会では、飯田部長及び宇野副  
会長の祝辞をいただき、乾杯をし  
てから懇親に移り、その後、今回  
はジンダイノベーションから学  
生が参加したことによって、自己  
紹介をしたり、また、「ゴルフ  
会」「歩こう会」のサークル活動  
の状況等についても報告し、いつ  
もとは違った賑わいになり、瞬く  
間に終了時間となり、最後に全員  
で校歌を斉唱しました。
- ⑤ ・親睦を深めながら母校の発展に  
寄与し、会員増強への基盤づく  
りを図る。（具体的にはホーム



### 津久井総会

平成26年5月18日

- ① 人事部長 手戸 俊彰  
理事 会田 彰
- ② 道志ふれあいセンター  
12名
- ③ 今年度の総会は当初2月16日の予  
定でしたが、大雪の為中止とな  
り、出席者少数ではありますが、  
日程の都合で5月18日となりまし  
た。例年通り、昨年の活動報告と  
今年度の活動計画及び予算関係を  
審議し無事終了。
- ④ 行
- ⑤ (1) 津久井宮陵会報第26号の発  
行  
(2) 米田吉盛教育奨学金、神大  
スポーツ・文化振興会への  
寄付  
(3) 第4回留学生招待パーベキ  
ユ一大会（5月17日）  
(4) 平成26年度総会（27年2月  
予定）



**津久井総会**  
平成27年2月22日

- ① 総務部長 原田 浩行  
専務理事 宇久田 進治
- ② 西青山地域センター  
7名
- ③ 平成27年2月22日、緑区にある西青山地域センターにて実施しました。
- ④ 昨年同様、地域在住卒業生の意識が弱く6名の出席でしたが、学校と宮陵会より上記の方の出席を頂き、学校の現況及び来年の箱根駅伝の話しを聞き充実した時間を過ごしました。
- ⑤ 1、会報の発行（27年1月20日発行）  
2、総会開催（2月22日実施）  
3、バーベキュー大会  
4、母校への寄与

**茅ヶ崎・寒川宮陵会**

平成27年1月25日

- ① 経営政策部次長 相良 秀生  
専務理事 平能 孝一  
和風レストランちそう
- ② 平成27年1月25日、神奈川大学より相良秀生様、宮陵会より平能孝一様の出席をいただき、総勢36名で第6回総会及び懇親会を茅ヶ崎市市民文化会館内にある「和風レストランちそう」で開催しました。
- ③ 総会では、会則の一部を改正し、役員に顧問を設け、前会長の石井昭氏が就任したほか、昨年7月に亡くなられた監査の新倉弘保氏に



替わり、相良秀生氏が就任しました。  
また、代議員に小坂谷義夫会長と三留豊正副会長が選出された件を報告しました。  
⑤ 総会及び懇親会を開催すると共に、神奈川大学運動部及び学生ボランティア活動を応援してまいります。

**神奈川大学学内総会**

平成26年6月25日

- ① 理事長 伊藤 文保  
常務理事 正野 幸延  
会長 狩野 七郎
- ② スカイビル27階 横浜クルーズ・クルーズ「ヨコハマ1+2」  
41名
- ③ 例年通り、6月に総会（横浜クルーズ・クルーズ）を開催した。定刻には定足数に達しなかったため、予定より10分遅れての開催となった（会員203名、委任状63名、出席41名）。2013年度事業報告、会計監査ならびに2014年度事業計画、予算が審議され、賛成多数で承認された。役員改選（案）、会則の一部改正（会費の値上げ）を賛成多数で可決した。会長・内田青蔵教授（建築学科）、庶務・田中浩紀（平塚学生課）、市原宏樹（就職課）、赤井昭二（物質生命科学科）が改選、フルメンバーで活動することが承認された。全ての議案が承認され総会が閉会となった。その後、懇親会の会場内をセッティングして懇親会を開催した。恒例のビンゴ大会では、ハプニングもあったが、年に一度の親睦をはかった。参加者79名と盛会に終わった。
- ④ 2014年6月25日・2014年度学内宮陵会総会（於 横浜クルーズ・クルーズ）  
2014年8月下旬・納涼親睦野球観戦  
2014年10月18日・箱根駅伝予選会応援  
2014年10月25・26日・平塚祭での本部活動の支援  
2014年11月1・2日・神大フエスタでの本部活動の支援および全国大学駅伝応援（テレビ中継の

放映）

2015年1月2・3日・箱根駅伝の応援  
その他・年度末までにHPの立ち上げを実現、役員の増加へ、実質的な活動メンバーの増員を図る。

**川本工業総会**

平成26年10月8日

- ① 理事 会田 彰  
かながわ労働プラザ  
14名
- ② 平成26年度定期総会を開催するにあたり、宮陵会本部より会田彰理事様をお迎えし、宮陵会の運営に関する丁寧なご報告を頂いた。
- ③ 総会は25年度事業報告・26年度事業計画を報告し、大学との良い関係を保ち、大学へ学生獲得のリクルート活動を活発に行い、神奈川大学川本工業宮陵会の発展につなげることを確認した。又、新規会員2名の自己紹介と久しぶりに出席した方々の近況を伺った。引き続き、懇親会に移り神奈川大学の校歌をBGMにして、親睦をはかり、記念撮影等有意義な時間をすごした。
- ④ 6月7日 定時総会 参加  
9月17日 幹事会  
9月24日 宮陵会本部 訪問  
10月8日 定期総会  
懇親会 開催  
10月18日 工学部建築学科 創設50周年総会式典 参加  
10月19日 ホームカミングデー 参加  
11月 幹事会



### 横浜信用金庫総会

平成26年11月7日

- ① 理事 会田 彰
- ② ブリーズベイホテル
- ③ 53名
- ④ 11月7日(金)に神奈川大校学生会横浜信用金庫支部による総会を開催し、役員改選を行い、賛成多数で承認された。
- ⑤ 今年度16回目となる校友会に会田理事と横浜信用金庫職員53名が出席し、会は盛大に行われました。今年度、当金庫は5名の神奈川大出身の新入職員を迎えました。今後更に人数を増やして校友会の発展につなげたい所存です。

### 社労士総会

平成26年10月4日

- ① 専務理事 宇久田 進治
- ② 神奈川大学 横浜キャンパス3号館305講堂
- ③ 29名
- ④ 総会は、昨年度の事業報告、決算報告、一部会則変更、役員の選任等を審議し終了した。研修会は、佐藤重夫氏が「労働環境の変化による労働法改正」について講演があり、労働時間、非正規雇用、外国人労働者等問題について会員間で活発な討議が交わされた。懇親会は、大学より山崎大学院法学研究学科長、坂本法学部准教授、宮陵会より宇久田専務理事



のご出席を頂いた。交流のある他大学社労士会より、本年度は早大(稲門会)、中大(白門会)、日大(桜門会)の代表者のご出席を頂き、和やかに盛況のうちに催すことができた。

⑤ 毎年、法学部と共同で開催している学生向け講演「社会保険労務士はいま」を、①社労士資格が人生を変えた主婦が社会復帰をするとき②社労士の魅力と在学中の資格取得をめざした学生時代の過ごし方と題してOB社労士による講演を、今年は総会当日10月4日に行いました。また他大学社労士OB会との交流もより一層盛んに行っております。

### 三十路会総会

平成26年10月19日

- ① 会長 狩野 七郎
- ② 神奈川大学横浜キャンパス20号館110号室
- ③ 12名
- ④ 第20回神奈川大学ホームカミングデーが盛会に催され、終了後、我々の三十路会総会が催されたが、予定された20名程の出席者が当日近くになり、急病や体調不良により欠席者が増え12名と少々淋しい総会となりましたが(一年には勝てません！)
- ⑤ 幸い宮陵会狩野会長の大学、宮陵会の近況の報告を聞かせて頂き、かつまた三十路会の現状報告や学生との交流関係等々を中心に和やかな内に皆様が楽しみにしている



二次会の席に移動しました。

⑤ 三十路会会員の平均年齢は御存知のごとく82才、84才の老齢者が多く当時の世代が写し出される。したがって遠隔地に住まれる方々が多く、集合活動は不可能にちかく母校のある横浜を基点に集合可能な方々と老体にもちうって会食会を開くのがやっと、したがって今年も隔月(年6回)を開く予定です。

### 三三電云総会

平成26年10月19日

- ① 神奈川大学横浜キャンパス 20号館201号室
- ② 15名
- ③ 昭和33年電気科卒業以来56年、支部設立40年、年齢も80才になりました。
- ④ 体力的にもこれ継続する事が困難と判断し三三電支部を出席者15名の賛同を得て解散する事になりました。
- ⑤ 大変、長い間宮陵会又は会員の皆様にはご協力いただき御礼申し上げます。
- ⑥ 今後、ホームカミングデー又、各自がそれぞれ親睦の場をもうけ末永く継続する予定です。



平成26年10月19日 第20回 ホームカミングデー 三三電云

### 三三三会総会

平成26年5月10日

- ① 副会長 大場 憲治
- ② 崎陽軒本店



- ③ 22名
- ④ 第30回 神奈川大学三三三会総会にご来賓 一般社団法人神奈川大学宮陵会副会長大場憲治様を迎え、式次第に則り活動報告及び会計報告後、総会議事第1号議案「三三三会宮陵会地域組織の存続」及び「名称改訂」の件を審議の結果

本件は一般社団法人移行による従来の支部から地域組織に変更を鑑み、卒業後56年、設立35年目として80歳という高齢ともなり節目の今回を機会に組織の脱会を決議した。

但し、三三三会は継続し交流親睦を図るものとした。

次に懇親会に入り、皆近況を語り終わり校歌斉唱として集合写真撮影を以って和やかな内に閉会した。

### 珊瑚の会総会

平成27年3月5日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学横浜キャンパス19号館ラックスホール
- ③ 48名
- ④ 第24回総会は本校入試の最中、新役員初の総会を行うこととなり、宮陵会からは専務理事平能孝一様のご出席を頂き、26年度の活動及び会計報告が行われ、その他の議題も差し障りなく次の懇親会へと進み、磯邊晃氏(経)の乾杯の音





第十四回 珊瑚の会総会

頭で懇談に入り、遠くは沖縄、宮城の方々と楽しいひと時を興じ、3時間余りを短く感じながら再会を誓って散会。

- ⑤ 5月 箱根仙石原一泊旅行
- 7月 浅草 寄席
- 9月 キリンビバレッジ暑気払い
- 10月 神大ホームカミングデー参加
- 12月 幹事会の次回総会打合せ及び忘年会
- 3月 珊瑚の会総会

**原陵会総会**

平成26年7月12日

- ① 理事 久保 清治
  - 理事 中野 健一
  - ② 鎌倉 長勝寺
  - ③ 55名
  - ④ 今年度の総会は、原先生令夫人にもご出席いただき、先生の7回忌を兼ね、鎌倉長勝寺にて開催。当日は遠方からも多数参加があり、しめやかに法要・墓参が執り行われました。
- 総会・会食の席上、今回は1回生（昭30年卒）の二宮忠夫氏に「原ゼミ発祥と原先生との出会い」と題したレポートにより、60年前の大学の状況及び原ゼミのルーツについて貴重なレクチャーをしていただいた。
- また「原陵」30周年記念誌・40周年記念誌に掲載された原先生の巻頭言が全員に配布されたこともあり、在りし日の先生を偲びつつ、先生への感謝の念を心新たに大い



平成26年11月29日

- ⑤ 1月 各回生職域Gごとの新年会
  - 3月 役員会
  - 7月 原先生の墓参り
  - 10月 役員会、各回生・職域Gによる懇親会
  - 12月 総会・講演会
- （次回は27年12月予定）

**ボクシング部OB会総会**

平成26年11月29日

- ① 事務局次長兼平塚事務部長 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学横浜キャンパス1号館 8階ストップオーバー
- ③ 17名
- ④ 今年もOB出席17名と少なく、寂しい総会となりました。しかし、『総会に参加するOBが少ない』という問題に対し、坂本部長、参



平成26年11月29日

加して頂いたOBから貴重な意見を頂く事が出来ました。来年の総会に活かしていければと考えています。

4月・毎年開催される関東大学トーナメント（3部）の試合案内 11月後半or12月前半・ボクシング部OB総会

**陸上競技部OB会総会**

平成26年6月8日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学横浜キャンパス1号館 804会議室
- ③ 18名
- ④ 平成26年度陸上競技部OB会総会はOB18名の出席で開催されました。

当日は、今後の活動内容や現役側からの報告に対し活発な意見交換が行われました。

総会終了後、一般社団法人神奈川大学宮陵会専務理事 平能 孝一氏、陸上競技部現役部員94名を迎え、懇親会を行いました。一般社団法人神奈川大学宮陵会専務理事 平能 孝一氏をはじめ来賓の皆様から現役部員に向けて激励のお言葉を頂戴しました。

総勢100名を超える参加者で、最後には全体で校歌斉唱をし、OB・学生との交流を持つことができました。

- ⑤ 平成26年
- 4月 日本体育大学長距離記録会 応援
- 横浜市市民体育大会応援 理事会開催
- 5月 第93回関東学生陸上競技対校選手権大会エントリー報告
- 第93回関東学生陸上競技対校選手権大会応援 理事会開催
- 平成26年度定例総会の通知 発送
- 第46回全日本大学駅伝対校選手権大会・関東推薦校選考会エントリー報告
- 第46回全日本大学駅伝対校選手権大会・関東推薦校選考会応援
- 平成26年度定例総会
- 6月

- 7月 平成26年度定例総会報告の通知発送
- 8月 長距離夏季合宿視察
- 9月 長距離夏季合宿視察
- 10月 第91回東京箱根間往復大学駅伝競走大会予選会応援
- 11月 理事会開催（役員会懇親会を開催）
- 12月 第91回東京箱根間往復大学駅伝競走大会支援のお願い
- 平成27年 日本体育大学長距離記録会 応援
- 1月 第91回東京箱根間往復大学駅伝競走大会応援
- 3月 短距離選抜合宿視察

**バスケットボール部OB会総会**  
平成26年7月5日

- ① 副会長 宇野 峰雪
- ② 神奈川大学横浜キャンパス1号館 8F ストップオーバー
- ③ 14名
- ④ OB会藤井洋新会長新体制になって初めての総会、懇親会という事で組織活動を現役空手道部のバックアップをメインで考えていく事の確認をしました。
- ⑤ 来年度創部75周年を迎えますので、会員への連絡強化を行い、来年度の総会をイベントとして実施を考えております。
- 総会終了後懇親会出席者
  - ・ボクシング部 海藤監督、林コーチ
  - ・アイスホッケー部 根本監督
  - ・江口マネージャー、太田OB
  - ・東大空手部OB会 芝田博先輩
  - ・現役員22名



- ① 会報の発行（年一回）平成27年1月発行
- ② 道場木札修繕
- ③ 現役学生及び指導者へのフォロー
  - ・平塚校学生及び指導者への交通費補助
  - ・合宿差し入れ
- ④ 公募制推薦入学学生募集プロジェクト活動
- ⑤ OB親睦ゴルフ会 7月13日開催

- 6、創部75周年記念イベント（来年度）
- ① 事務局次長兼平塚事務部長 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学横浜キャンパス17号館 215教室
- ③ 9名
- ④ 平成26年度総会が上記のとおり開催され、事務局提案の平成26年度事業報告ならびに決算および平成27年度事業計画ならびに予算が承認されました。
- ⑤ その他としてホームページ開設準備が決定しました。
- 1月 OB・OG会役員会・新年会
- 2月 役員会
- 3月 役員会
- 4月 OB・OG会役員会
- 6月 宮陵会総会
- 7月 新入部員歓迎会
- 8月 役員会
- 9月 役員会
- 10月 地区総会（九州地区）ホームカミングデー
- 11月 OB・OG会総会案内状発送
- 12月 役員会
- 1月 OB・OG会総会・納会
- OB・OG会役員会・新年会



神奈川大学柔道部納会 於 ラックスホール 平成26年12月6日

- ① 事務局次長兼平塚事務部長 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス11号館第1会議室
- ③ 17名
- ④ OB会幹部が代わり、平塚キャンパスでの総会は2回目になる。人数が少ない中、何とか乗り切る事が出来、今後の財産となった。今後の課題はやはり参加者をより多く確保していく事である。
- ⑤ 平成25年11月 総会後懇親会
- 平成25年12月 会報発行（総会報告）
- 平成26年1月 幹部打合せ
- 平成26年3月 卒業生送別会参加
- 平成26年5月 リーグ戦差し入れ
- 平成26年6月 後援会BQ参加
- 平成26年7月 幹部打合せ
- 平成26年8月 会報発行
- 平成26年10月 幹部打合せ
- 平成26年11月 総会

- ① 事務局次長兼平塚事務部長 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学付属中山キャンパス 28名
- ③ 61回目になるラグビー部OB会総会は、体育棟ミーティングルームに於いて神奈川大学宮陵会から専務理事の佐藤武様、神奈川大学理学部学部長の日野晶也様、同名誉教授の齊藤直樹様の出席をいただき開催された。
- ④ 開催に先立ち物故会員に1分間の黙祷がさげられた。総会は、議



**ラグビー部OB会総会**  
平成26年4月26日



事案件を審議し総て承認された。グラウンドではゴールポストを背にOB・現役の集合写真の撮影後、OB・現役の混成戦はフルタイム(60分)の試合であった。出場OBのS50卒吉野氏は若い者に引けを取らずがんばり、H25卒の若手まで10名が久々の汗を流し、皆満足であった。

⑤

- 1、年数回の役員会を開催し、会の運営全般を協議し実行する。
- 2、会報は、年1回、会員名簿は2年に1回、偶数年に発行する。
- 3、会費・寄付金の徴収活動には督促活動を含め、力を入れている。
- 4、現役部の維持支援態勢を継続し、試合の観戦応援をする中で会員の連帯感を醸成する。

さらに地区OB会開催を推進する。  
5、未連絡会員の確認活動を継続し、会員の移動情報を把握し、住所不明会員の発掘活動をする。

**卓球部OB会総会**

平成26年11月8日

- ① 事務局次長兼平塚事務部長 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学横浜キャンパス19号館 ラックスホール
- ③ 本年度の総会は若手OBの参加が多く、活気ある内容となりました。神奈川大学宮陵会からは大変お忙しい中、佐藤専務理事にご出席いただき、宮陵会館の建設計画など、神奈川大学の現状等具体的な詳しいお話をいただきました。総会では、宮陵会同好組織としての会則改正を参加者全員の賛成により決議し、懇親会では、現役幹部を招待し懇親をはかり大いに盛り上がりました。
- ④ 1、会員名簿の作成(役員、監督、コーチ一覧を添えて送付)
- ⑤ 2、今総会で承認された新会則の送付
- 3、会員への総会の状況報告
- 4、卓球部の試合の「応援&懇親会」の開催
- 5、近隣高校招待試合の継続(OB会創設50周年記念行事の継続)



6、親睦ゴルフ大会の開催  
7、定例総会の開催

**ヨット部OB総会**

平成26年9月7日

- ① 理事 古川 勝彦
- ② 葉山新港
- ③ 29名
- ④ 本年度の総会は例年の江ノ島ヨットハーバーではなく、葉山新港にて開催いたしました。初めての開催場所ではありましたが、当日は多数のOB・OGの皆様に参加していただきました。午前10時より総会を開始し、天候不順のため、OBによるヨットレースは出来なかつたものの、その後バーベキューを行い、学校関係者の皆様やOB・OG、現役部員との交流を図りました。
- ⑤ 平成26年6月 第1回役員会
- 平成26年6月 新入生歓迎コンパ
- 平成26年9月 OB総会
- 平成26年12月 第2回役員会・納会
- 平成27年2月 第3回役員会・追い出しコンパ

**学士山岳会総会**

平成26年6月22日

- ① 専務理事 宇久田 進治
- ② 神奈川大学横浜キャンパス1号館 301号室
- ③ 18名
- ④ 去る6月22日(日)、第13回総会が、横浜キャンパス本館301号



室にて開催された。  
宮陵会より宇久田専務理事のご臨席を賜り、近年の大学を取り巻く社会的環境や現状のお話を伺った後、議事に入った。主な事業については、現役部員の獲得と育成、スポーツライミング部門でワールドカップ参戦への支援。G&G計画の再検討と継続推進が審議の中心となり、会計報告、次年度予算案とともに全会一致で承認された。また、予てより懸案であった若返りを図る役員的人事については、執行部案に一部修正を加えて、承認され、来春のヒマラヤ未踏峰遠征に向けた組織づくりも固まり、夢に向かって総会を終了した。その後本館8階にて現役を加えての懇親会となり、大変盛り上がりを見せ、最後に、全員で肩を組んでの円陣をつくり部歌を熱唱し、気合を入れる恒例のシユプレヒコールで閉会した。

- ⑤ 主な事業は
- ・ 新人募集と育成山行の実施
  - ・ ボルダリングワールドカップ参戦への支援
  - ・ トレイルランニング、皇居マラソンへの参戦と大会運営のバックアップ
  - ・ 日中韓3ヶ国学生交流親善登山の参加
  - ・ 合宿、フリークライミング練習による現役部員の強化、育成
  - ・ 大学生支援部主催による、課外活動への協力
  - ・ G & G計画達成のためのヒマラヤ未踏峰への遠征隊派遣
  - ・ 上部団体との交流による若手青年部の強化、育成への協力

**硬式野球部OB会総会**  
平成26年11月8日

- ① 事務局次長兼平塚専務部長 専務理事 佐藤 武  
神奈川大学横浜キャンパス 生協ラックスホール  
43名
- ② 総会にご出席の佐藤専務理事から春季リーグ戦優勝、全日本大学野球選手権優勝の活躍に対する賞辞をいただき、監督からはOB会からの支援に対する謝辞が述べら



れ、有意義な総会・懇親会となった。参加した学生は各々に抱負を語り、来年の活躍を誓ってくれた。

- ⑤ 春季・秋季リーグ戦に向けた激励会の開催  
リーグ戦の応援  
親睦ゴルフ大会の開催  
定例総会・現役との懇親会の開催

**写真研究部OB会総会**  
平成26年9月20日

- ① 専務理事 宇久田 進治  
神奈川大学横浜キャンパス 1号館3階会議室  
13名
- ③ 平成26年度は久しぶりに大学にて開催の運びとなりました。前回大学にて開催（平成17年）から9年が過ぎました。箱根保養所での開催とは異なり、交通の便は良いのですが参加者の数は大きく下回りました。今回はその分、現役学生部員が8名参加となり、いつも



以上にOBと学生の交流が促進出来る事が収穫です。来年は再び箱根開催となりそうですが、レジャールームの内容になりそうです。

⑤ 1、通常は6月に総会開催。  
2、12月には、学生主催の「横浜四大学連合写真展」にOB会組織として協賛出品を行います。  
3、常設として「SNS」を独自に開設し、現在46名が有料にて登録し、写真日記の掲載、作品の発表、役員会議などを行っています。  
4、外部のOB向けにホームページも開設しています。

**吹奏楽部OB会総会**  
平成26年10月19日

- ① 専務理事 平能 孝一  
神奈川大学横浜キャンパス 20号館202教室  
22名
- ③ 総会前日の全日本吹奏楽コンクール26回目の金賞受賞。  
箱根駅伝予選会第一位通過を受けての明るいムードにつつまれたの総会となった。  
平成27年1月に開催の定期演奏会（サントリーホール）に向けOB会として支援する方向の決議をした。
- ⑤ 国内最高級クラス、サントリーホールでの第50回定期演奏会に向けての支援を年間の目標として活動した。  
OB会から又OB個人からの支援金をお願いをした。  
写真はOB会長から現役に寄付金を渡したものを。  
(中央は小澤音楽監督)





平塚・1号館



横浜・東屋



横浜・図書館



平塚・サーカムホールロビー



横浜・8号館 時計台とエレベーター

# 神大



平塚・空撮風景



横浜・1号館



横浜・1号館8階ラウンジ



平塚・手作りパン店(旧マクドナルド)



平塚・グラウンド



平塚・通学風景



横浜・10号館 大講堂(10-41)



横浜創立70周年記念オブジェ



横浜・新3号館



横浜・8号館 マップホール



平塚・サーカムホール前



横浜・授業風景



平塚・1号館大講堂前ロビー



横浜・通学風景



横浜・空撮風景

# 百景



平塚・キャンパスの秋



平塚・2号館前



横浜・授業風景



横浜・23号館と人工芝



横浜・10号館 食堂



横浜・図書館